

**第2期みとよ子ども未来応援計画
アンケート調査結果報告書**

**令和4年3月
三豊市**

目次

1	調査概要	1
	(1) 調査の目的	1
	(2) 対象者	1
	(3) 実施方法	1
	(4) 実施期間	1
	(5) 回収率	1
	(6) 留意点	2
2	調査結果（小学5年生・中学2年生）	3
	(1) 属性	3
	(2) 学習状況について	5
	(3) 将来について	11
	(4) 生活習慣について	15
	(5) こころの健康について	20
	(6) 性格について	23
	(7) 家庭環境について	25
	(8) ヤングケアラーについて	30
3	調査結果（小学5年生・中学2年生の保護者）	32
	(1) あなたやあなたのご家族について	32
	(2) お子さんの親について	38
	(3) お子さんのことについて	45
	(4) お子さんの健康状態について	49
	(5) ご家庭の経済状況について	52
	(6) ご家庭での生活について	66
	(7) お子さんとのかかわりについて	68
	(8) 近所づきあいや子育てについて	71
	(9) ヤングケアラーについて	78
	(10) その他	80

Ⅰ 調査概要

(1) 調査の目的

三豊市では、平成 30 年 3 月に「みとよ子ども未来応援計画」の策定を行い、子どもの貧困対策に関する各施策を推進していますが、上記計画が令和 4 年度に終了することから、これまでの施策の進捗状況について検証を加えながら、現行計画の基本理念、基本目標を継承しつつ、新たな課題や社会情勢の変化への対応も含めた「第 2 期みとよ子ども未来応援計画」を策定する必要があります。

本調査は、上記計画を実効性のあるものとするため、子育てをめぐる現状や子どもの貧困の状況を把握するとともに、国や県等の調査結果等との比較検討を行い、第 2 期計画の基礎資料を作成することを目的に実施したものです。

(2) 対象者

- ①三豊市立の小学校に通う小学 5 年生
- ②三豊市立・学校組合立の中学校に通う中学 2 年生
- ③上記、小学 5 年生または中学 2 年生の保護者

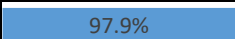

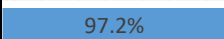
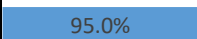
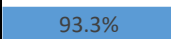
(3) 実施方法

小学校・中学校を通じて配布・回収

(4) 実施期間

令和 3 年 12 月 10 日（金）～12 月 22 日（水）

(5) 回収率

対象者	配布 件数	回収件数 (有効回答件数)	回収率 (有効回収率)	グラフ
児童・生徒	999 件	978 件 (977 件)	97.9% (97.8%)	
小学 5 年生	535 件	527 件 (526 件)	98.5% (98.3%)	
中学 2 年生	464 件	451 件 (451 件)	97.2% (97.2%)	
保護者	999 件	941 件 (934 件)	94.2% (93.5%)	
小学 5 年生	535 件	508 件 (503 件)	95.0% (94.0%)	
中学 2 年生	464 件	433 件 (431 件)	93.3% (92.9%)	

<内訳>

		配布件数	回収件数（有効回答件数）	
			児童・生徒	保護者
小学校	三豊市立上高瀬小学校	31件	31件 (31件)	31件 (31件)
	三豊市立勝間小学校	19件	18件 (18件)	18件 (18件)
	三豊市立比地小学校	25件	24件 (24件)	23件 (23件)
	三豊市立二ノ宮小学校	10件	10件 (10件)	10件 (10件)
	三豊市立麻小学校	26件	26件 (26件)	26件 (26件)
	三豊市立山本小学校	68件	68件 (68件)	62件 (62件)
	三豊市立大見小学校	26件	26件 (26件)	26件 (26件)
	三豊市立下高瀬小学校	36件	36件 (36件)	35件 (33件)
	三豊市立吉津小学校	18件	18件 (18件)	18件 (18件)
	三豊市立桑山小学校	23件	23件 (23件)	22件 (22件)
	三豊市立比地大小学校	25件	25件 (25件)	25件 (25件)
	三豊市立笠田小学校	21件	20件 (20件)	19件 (19件)
	三豊市立上高野小学校	11件	11件 (11件)	10件 (10件)
	三豊市立本山小学校	22件	22件 (22件)	18件 (18件)
	三豊市立松崎小学校	20件	20件 (20件)	20件 (20件)
	三豊市立詫間小学校	74件	73件 (72件)	70件 (67件)
	三豊市立仁尾小学校	47件	43件 (43件)	43件 (43件)
	三豊市立曾保小学校	3件	3件 (3件)	2件 (2件)
三豊市立財田小学校	30件	30件 (30件)	30件 (30件)	
中学校	三豊市立高瀬中学校	122件	115件 (115件)	104件 (104件)
	学校組合立三豊中学校	52件	52件 (52件)	52件 (52件)
	三豊市立三野津中学校	80件	79件 (79件)	76件 (75件)
	三豊市立豊中中学校	82件	81件 (81件)	78件 (78件)
	三豊市立詫間中学校	65件	65件 (65件)	64件 (64件)
	三豊市立仁尾中学校	40件	40件 (40件)	40件 (40件)
	三豊市立和光中学校	24件	19件 (19件)	19件 (18件)

(6) 留意点

分析結果を見る際の留意点は以下の通りとなっています。

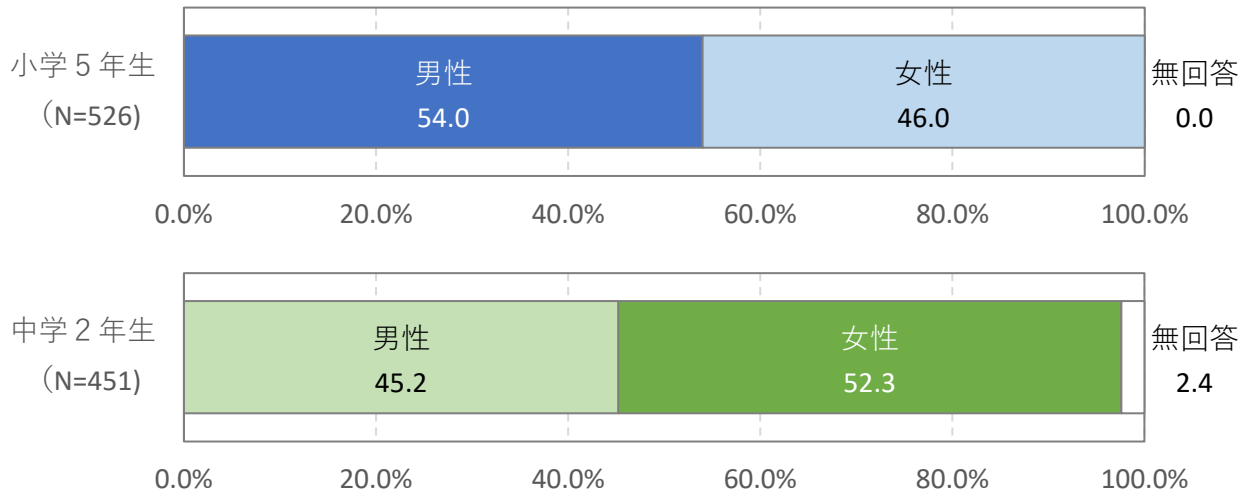
- ①「N」は「Number」の略で、比率算出の母数です。
- ②単数回答の場合、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記。このため、百分率の合計が100.0%とならない場合があります。
- ③複数回答のグラフの場合、「無回答」を非表示にしている場合があります。
- ④本文中の選択肢は省略して記載している場合があります。
- ⑤生活困難世帯の判定が不能な世帯の回答については、全体の数には含めていますが、世帯別のグラフ等では省略して記載しています。

2 調査結果(小学5年生・中学2年生)

(1) 属性

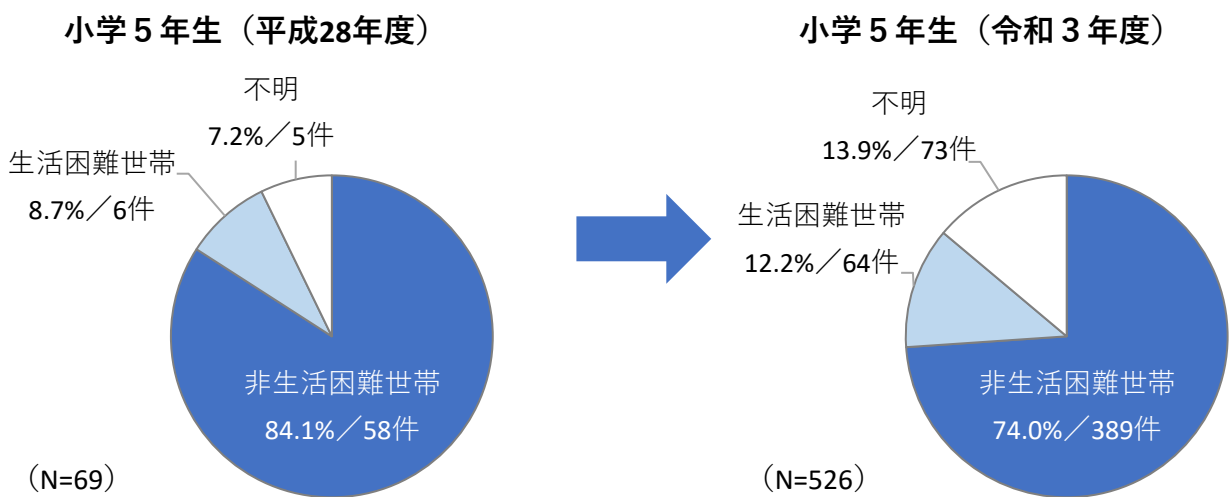
あなたの性別を教えてください。(あてはまる番号1つに○)【問1】

回答者の性別は、小学5年生は男性54.0%、女性46.0%、中学2年生は男性45.2%、女性52.3%となっています。

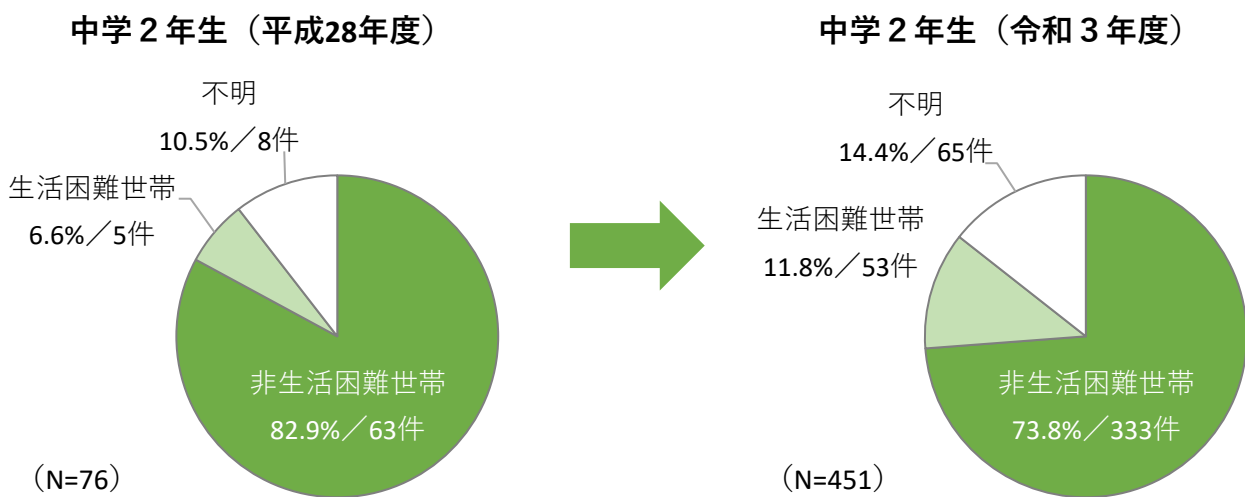


生活困難世帯・非生活困難世帯の判定【保護者の調査結果との突合より】

生活困難世帯は、小学5年生の12.2%、中学2年生の11.8%を占めています。平成28年度に香川県が「子どもの未来応援アンケート調査」を実施しましたが、三豊市の調査母数が少なく、貧困線も異なるため（122万円→127万円）、今回の調査との比較は行っていません。



※次頁以降の非生活困難世帯・生活困難世帯別のグラフでは「不明 (N=73)」を除いて表示していません。



※次頁以降の非生活困難世帯・生活困難世帯別のグラフでは「不明 (N=65)」を除いて表示していません。

【生活困難世帯の判定方法】

小学5年生・中学2年生のそれぞれの保護者の調査において世帯収入額と同一生計の家族の人数を聞いています。それらをもとに可処分所得を算出し、平成30年の貧困線（等価可処分所得の中央値の半分）にあたる127万円以下を生活困難世帯と判定しました。

また、生活困難世帯の判定が不能な世帯の調査結果は省略して記載しています。

※前回調査時の貧困線は122万円（平成25年）

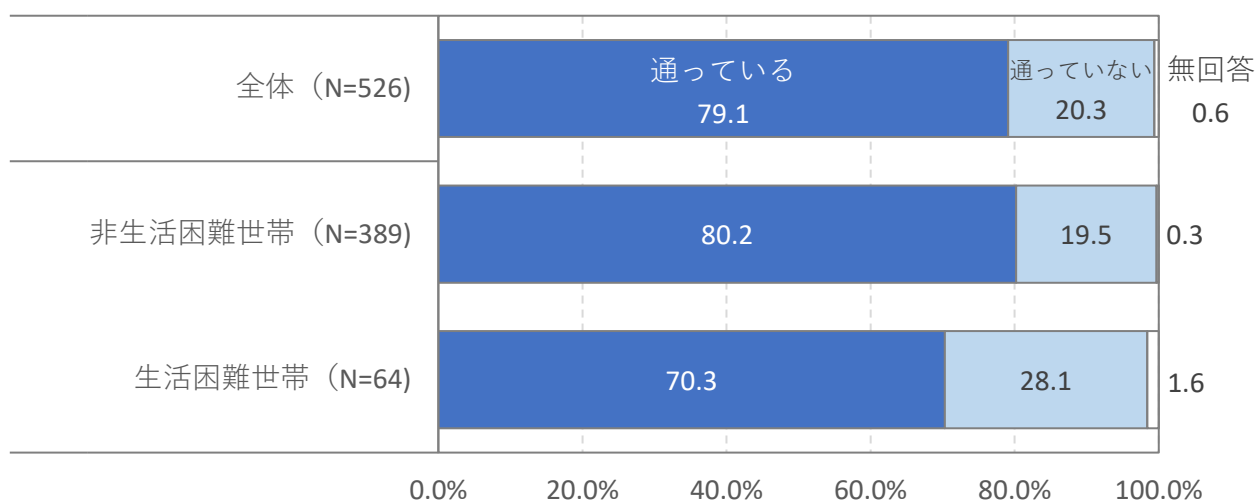
(2) 学習状況について

あなたは、学習塾や習い事（音楽、スポーツなど）に通っていますか。
 （あてはまる番号1つに○）【問2】

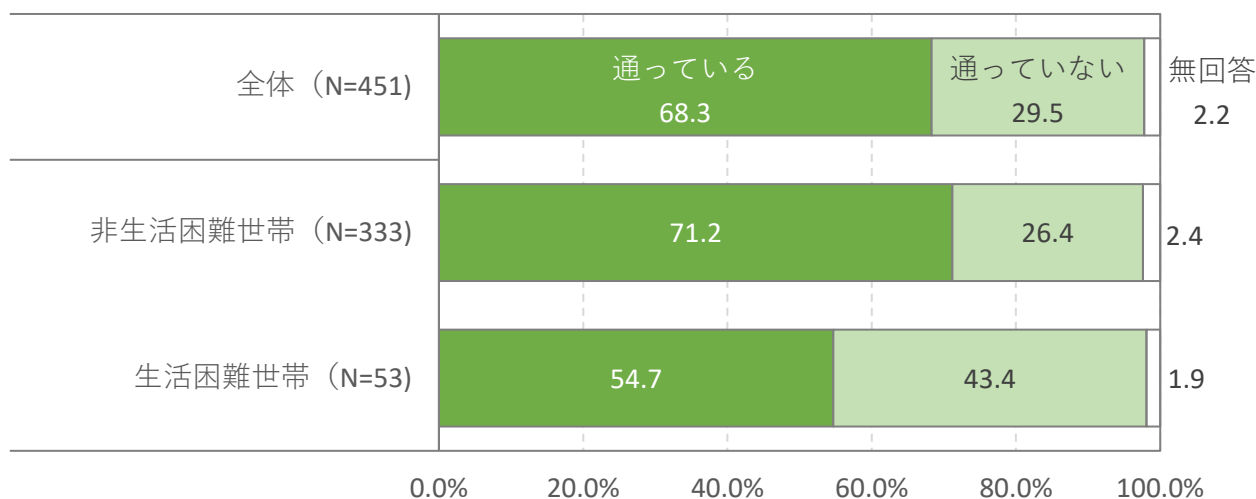
学習塾や習い事（音楽、スポーツなど）の状況をみると、小学5年生の79.1%、中学2年生の68.3%が「通っている」と答えています。

世帯別にみると、生活困難世帯では小学5年生は70.3%、中学2年生は54.7%が「通っている」と答えており、非生活困難世帯より小学5年生は9.9ポイント、中学2年生は16.5ポイント低くなっています。

小学5年生



中学2年生



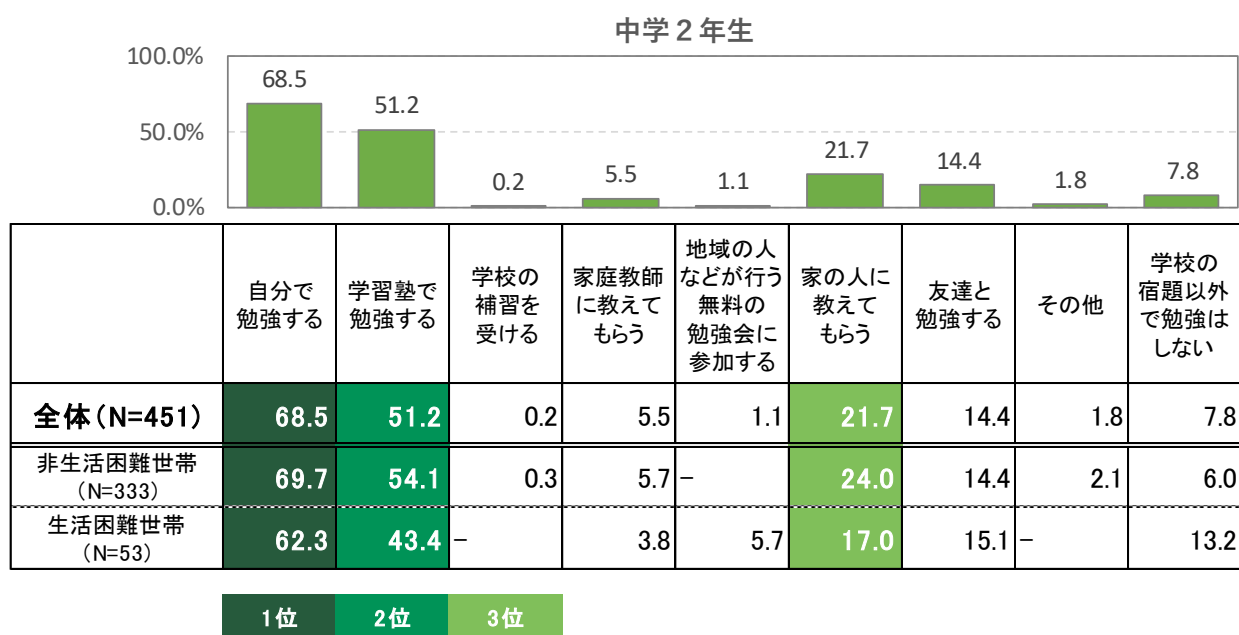
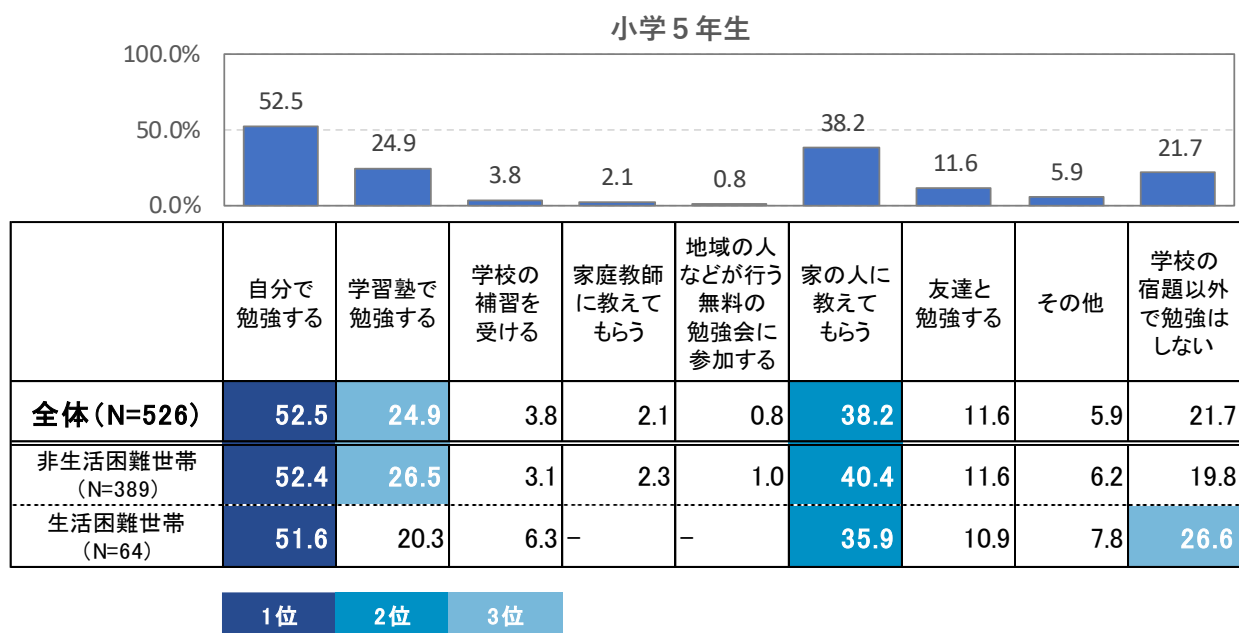
あなたは、ふだん学校の宿題以外で、どのように勉強をしていますか。

(あてはまる番号すべてに○)【問3】

学校の宿題以外の勉強の方法をみると、小学5年生・中学2年生ともに「自分で勉強する」が最も多く、次いで、小学5年生は「家の人に教えてもらう」、中学2年生は「学習塾で勉強する」となっています。

世帯別にみると、生活困難世帯では非生活困難世帯に比べ、小学5年生・中学2年生ともに「学校の宿題以外で勉強はしない」が多くなっています。また、小学5年生は「学校の補習を受ける」、中学2年生は「地域の人などが行う無料の勉強会に参加する」も多くなっています。

また、「学習塾で勉強する」と答えた生活困難世帯の児童生徒は、非生活困難世帯より小学5年生で6.2ポイント、中学2年生で10.7ポイント低くなっています。「家の人に教えてもらう」と答えた生活困難世帯の児童生徒は、非生活困難世帯より小学5年生で4.5ポイント、中学2年生で7.0ポイント低くなっています。



あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどのくらいの時間勉強をしますか。

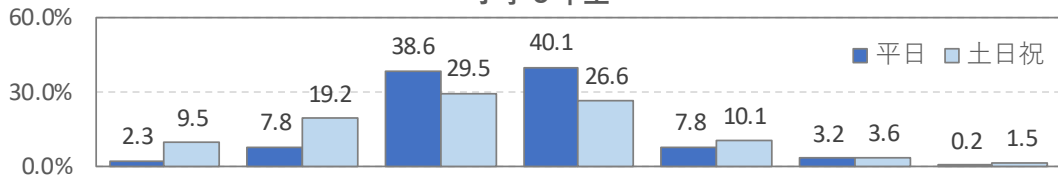
※学校の宿題をする時間や、学習塾などでの勉強時間も含まれます。

①学校がある日（平日）、②学校がない日（土日祝）（あてはまる番号それぞれ1つに○）【問4】

学校の授業以外の1日の勉強時間をみると、小学5年生では平日は「1時間～2時間未満」、土日祝は「30分～1時間未満」が最も多くなっています。中学2年生では平日・土日祝ともに「1時間～2時間未満」が最も多くなっています。

また、世帯別にみると、非生活困難世帯より生活困難世帯の勉強時間が少ない傾向にあります。

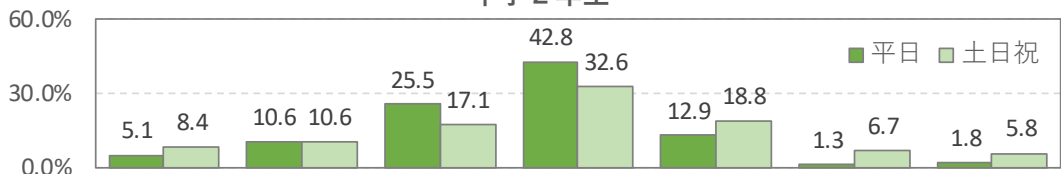
小学5年生



		まったくしない	30分未満	30分～1時間未満	1時間～2時間未満	2時間～3時間未満	3時間以上	無回答
平日	全体(N=526)	2.3	7.8	38.6	40.1	7.8	3.2	0.2
	非生活困難世帯(N=389)	2.1	6.4	40.1	40.1	8.0	3.3	-
	生活困難世帯(N=64)	1.6	12.5	31.3	42.2	9.4	3.1	-
土日祝	全体(N=526)	9.5	19.2	29.5	26.6	10.1	3.6	1.5
	非生活困難世帯(N=389)	8.7	19.0	28.3	28.3	10.3	3.9	1.5
	生活困難世帯(N=64)	10.9	20.3	34.4	25.0	7.8	-	1.6



中学2年生



		まったくしない	30分未満	30分～1時間未満	1時間～2時間未満	2時間～3時間未満	3時間以上	無回答
平日	全体(N=451)	5.1	10.6	25.5	42.8	12.9	1.3	1.8
	非生活困難世帯(N=333)	4.8	8.7	25.5	44.7	12.6	1.5	2.1
	生活困難世帯(N=53)	9.4	13.2	30.2	34.0	11.3	-	1.9
土日祝	全体(N=451)	8.4	10.6	17.1	32.6	18.8	6.7	5.8
	非生活困難世帯(N=333)	8.4	9.9	16.2	32.7	21.0	5.7	6.0
	生活困難世帯(N=53)	5.7	7.5	24.5	34.0	15.1	7.5	5.7



あなたは自分の成績についてどう思っていますか。(あてはまる番号1つに○)【問5】

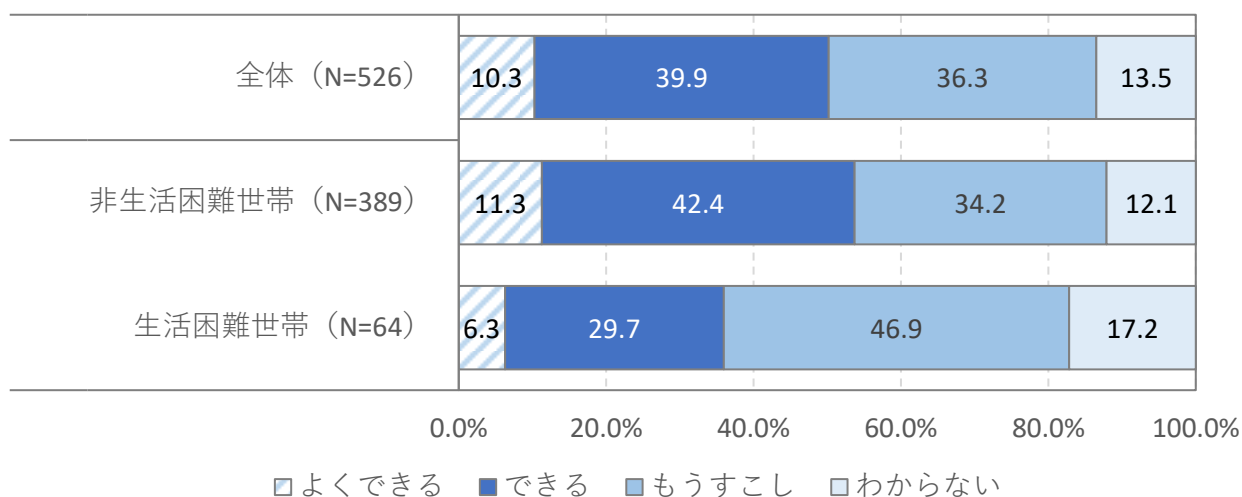
自分の成績についてどう思うかをみると、小学5年生は「できる」が39.9%と最も多く、次いで、「もうすこし」36.3%、「わからない」13.5%、「よくできる」10.3%の順となっています。

中学2年生は「努力を要する」が59.0%と半数以上を占めています。また、小学5年生は過半数が“できる(よくできる・できる)”と答えているのに対し、中学2年生は“達成できている(十分達成できている・ほぼ達成できている)”は3割弱に留まっています。

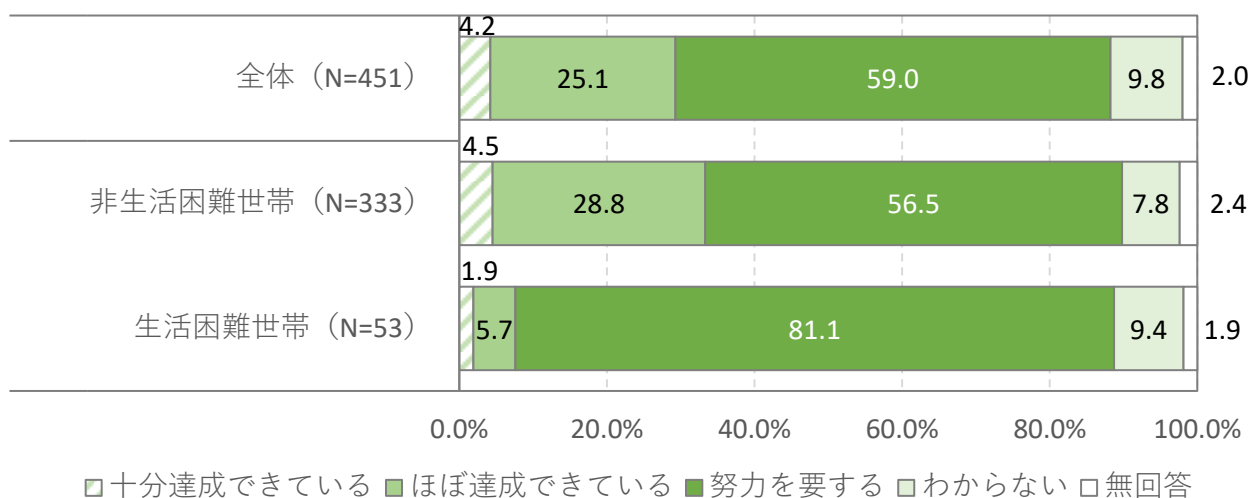
世帯別にみると、小学5年生の非生活困難世帯では「できる」が42.4%、生活困難世帯では「もうすこし」が46.9%で最も多くなっています。

中学2年生で「努力を要する」と答えた児童生徒をみると、非生活困難世帯の56.5%に対し、生活困難世帯では81.1%と24.6ポイントの差が見られます。

小学5年生



中学2年生



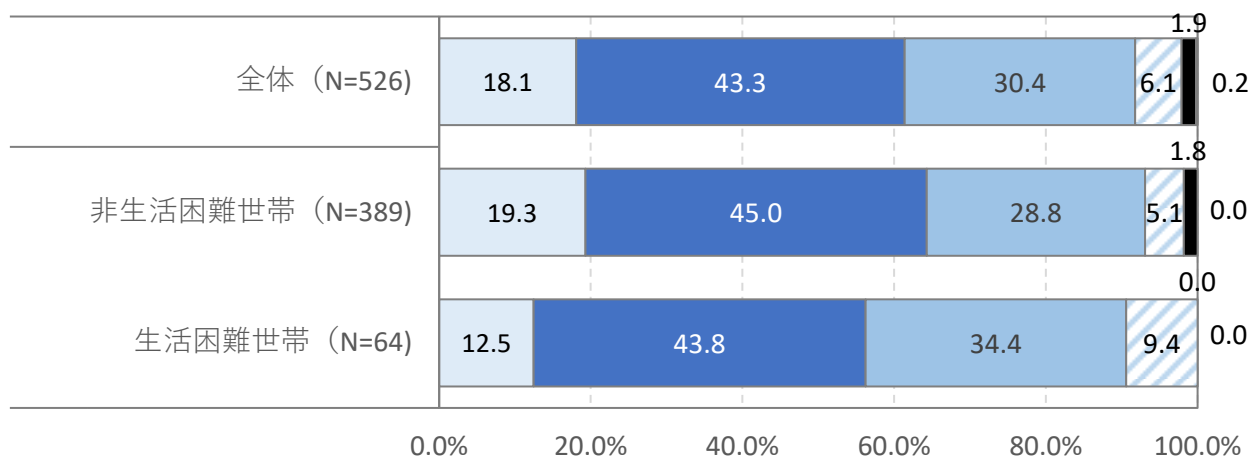
あなたは、学校の授業がわかりますか。(あてはまる番号1つに○)【問6(1)】

問6(1)の質問で「3. 教科によってはわからないことがある」～「5. ほとんどわからない」と答えた人に聞きます。いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。(あてはまる番号1つに○)【問6(2)】

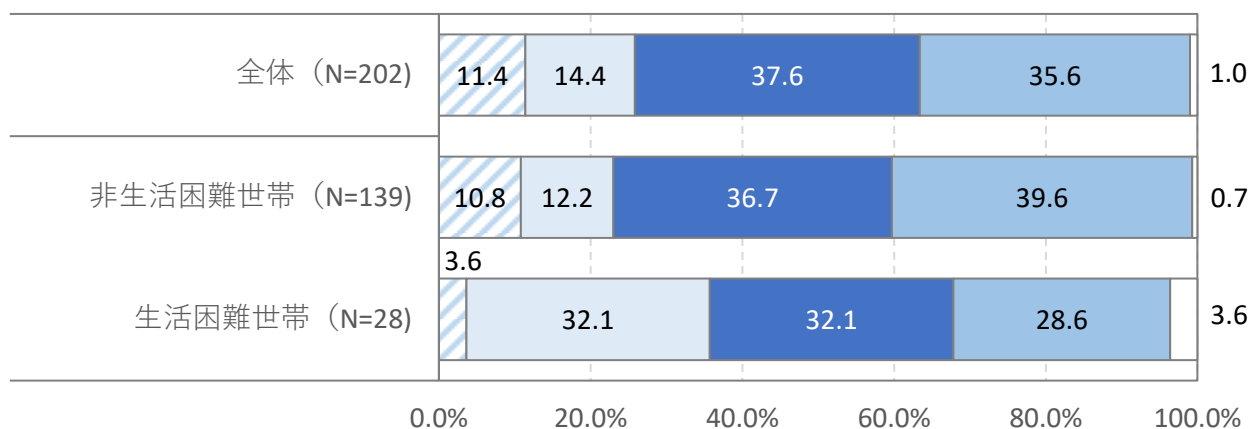
小学5年生の学校の授業の理解度をみると、「だいたいわかる」が43.3%と最も多く、次いで、「教科によってはわからないことがある」30.4%、「いつもわかる」18.1%の順となっています。世帯別にみると、「教科によってはわからないことがある」「わからないことが多い」と答えた児童生徒はいずれも非生活困難世帯より生活困難世帯が多くなっています。

また、いつごろから授業がわからなくなったかをたずねると、非生活困難世帯は「小学5年生になってから」が最も多く、生活困難世帯は「小学3年生のころ」「小学4年生のころ」が同率で最も多くなっています。

小学5年生



- いつもわかる
- だいたいわかる
- 教科によってはわからないことがある
- わからないことが多い
- ほとんどわからない
- 無回答



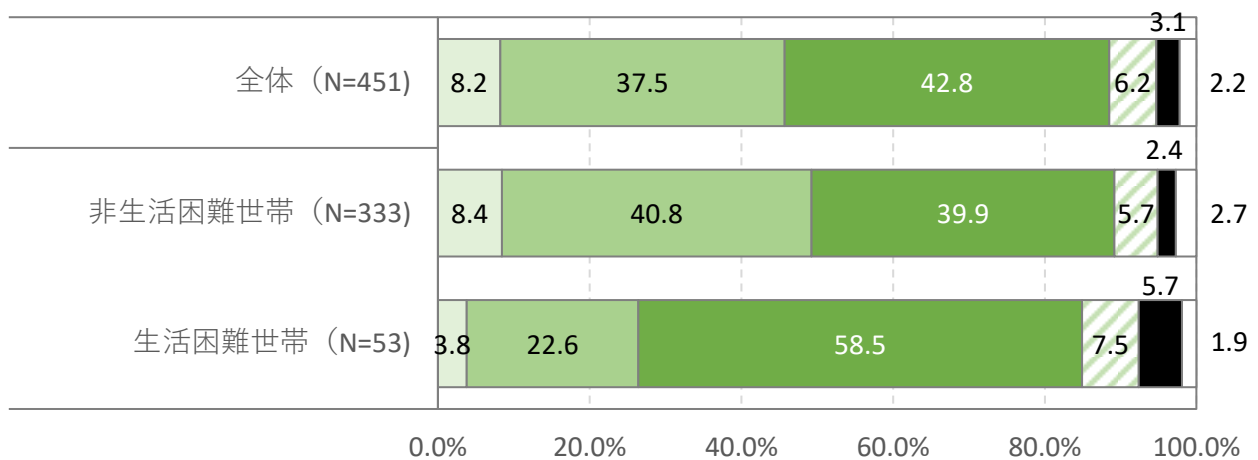
- 小学1・2年生のころ
- 小学3年生のころ
- 小学4年生のころ
- 小学5年生になってから
- 無回答

中学2年生の学校の授業の理解度をみると、「教科によってはわからないことがある」が42.8%と最も多く、次いで、「だいたいわかる」37.5%、「いつもわかる」8.2%の順となっています。

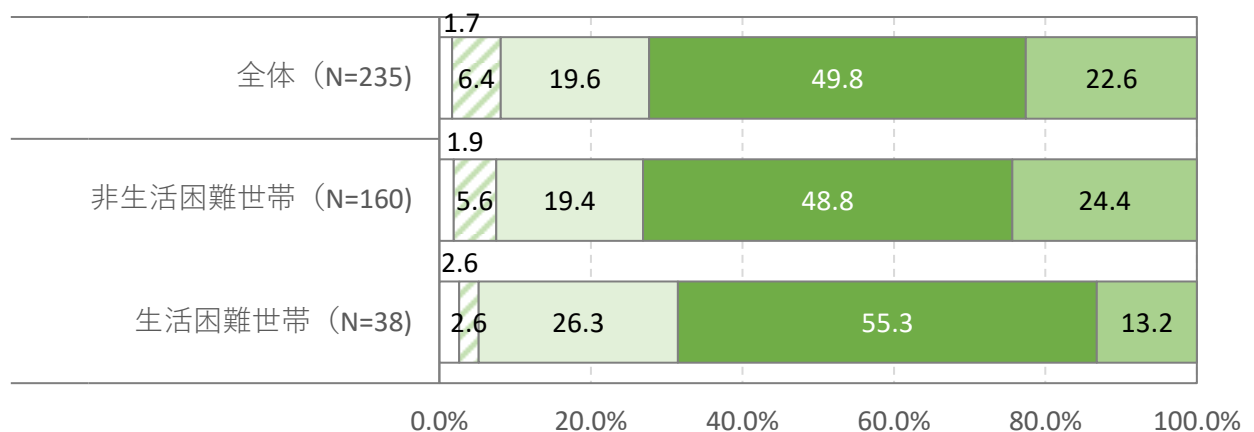
世帯別にみると、「教科によってはわからないことがある」「わからないことが多い」「ほとんどわからない」と答えた児童生徒はいずれも小学5年生同様、非生活困難世帯より生活困難世帯が多くなっています。

また、いつごろから授業がわからなくなったかをたずねると、非生活困難世帯・生活困難世帯ともに「中学1年生のころ」が最も多くなっています。次いで、非生活困難世帯では「中学2年生になってから」が多くなっているのに対し、生活困難世帯では「小学5・6年生のころ」が多く、非生活困難世帯より早い段階で授業の理解度が低くなっていることがわかります。

中学2年生



- いつもわかる
- 教科によってはわからないことがある
- ほとんどわからない
- だいたいわかる
- わからないことが多い
- 無回答



- 小学1・2年生のころ
- 小学3・4年生のころ
- 小学5・6年生のころ
- 中学1年生のころ
- 中学2年生になってから

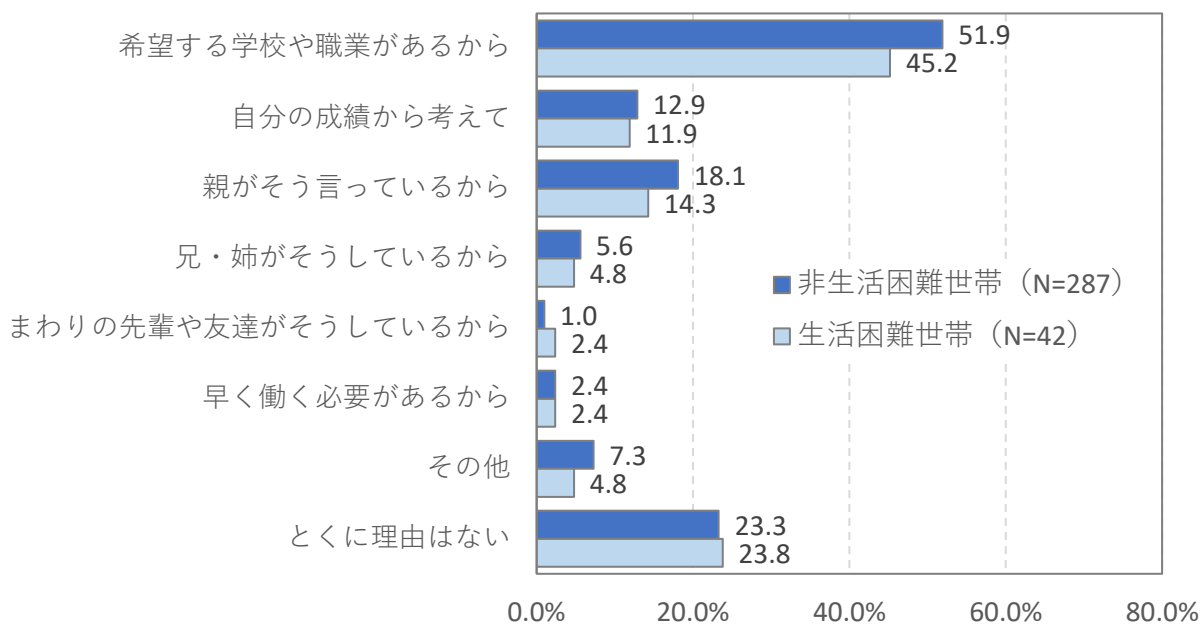
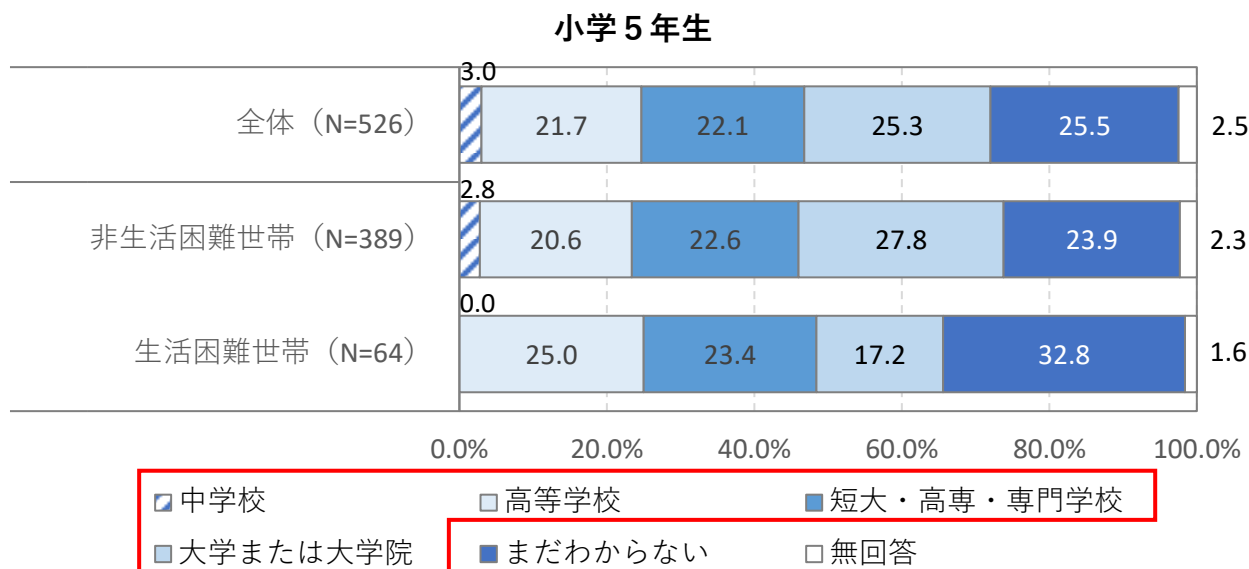
(3) 将来について

あなたは将来、どの段階まで進学したいですか。(あてはまる番号1つに○)【問7(1)】
 問7(1)の質問で「1. 中学校」～「4. 大学または大学院」と答えた場合、その理由を答えてください。(あてはまる番号すべてに○)【問7(1)】

小学5年生の将来の進学希望をみると、「まだわからない」が25.5%と最も多く、次いで、「大学または大学院」25.3%、「短大・高専・専門学校」22.1%の順となっています。

世帯別にみると、非生活困難世帯は「大学または大学院」、生活困難世帯は「まだわからない」が最も多くなっています。

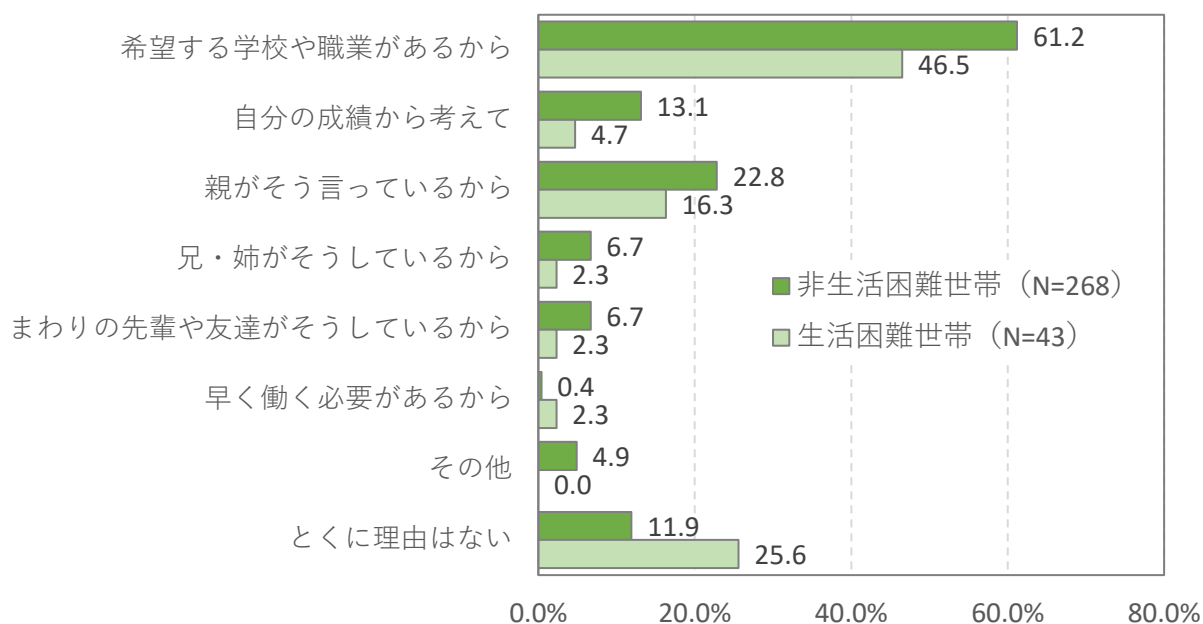
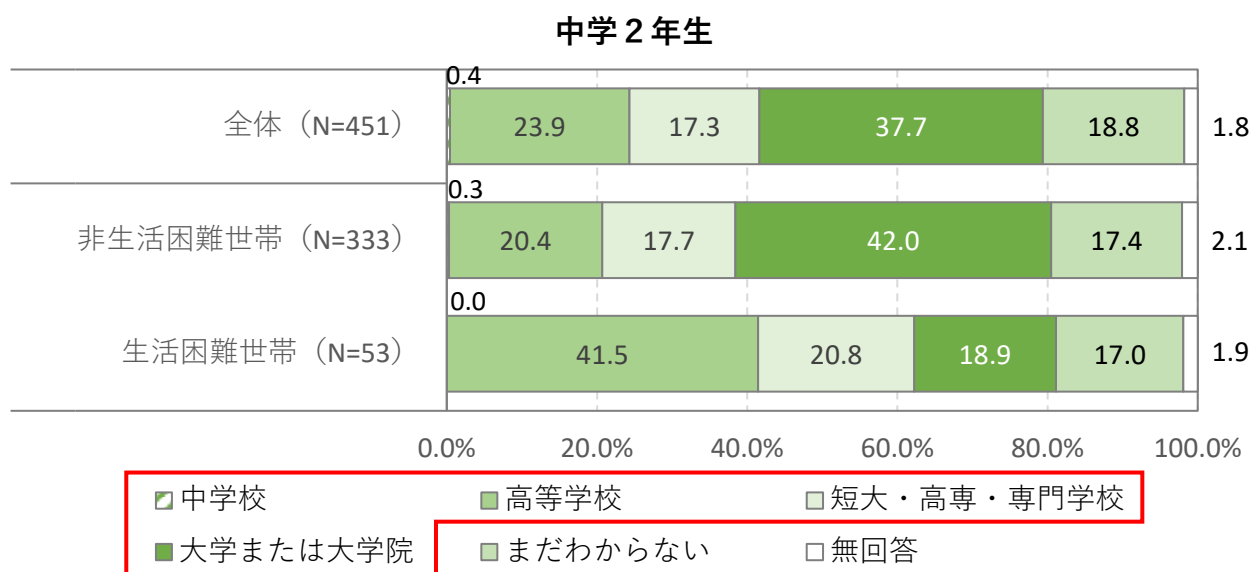
「中学校」「高等学校」「短大・高専・専門学校」「大学または大学院」それぞれの回答理由をたずねると、非生活困難世帯・生活困難世帯ともに約半数が「希望する学校や職業があるから」と答えており、次いで、約2割が「とくに理由はない」と答えています。



中学2年生の将来の進学希望をみると、「大学または大学院」が37.7%と最も多く、次いで、「高等学校」23.9%、「まだわからない」18.8%の順となっています。

世帯別にみると、非生活困難世帯では「大学または大学院」が約4割を占めているのに対し、生活困難世帯では「高等学校」が約4割を占めています。

「中学校」、「高等学校」、「短大・高専・専門学校」、「大学または大学院」それぞれの回答理由をたずねると、非生活困難世帯・生活困難世帯ともに「希望する学校や職業があるから」が最も多く、非生活困難世帯は61.2%、生活困難世帯は46.5%と14.7ポイントの差が見られます。また、「早く働く必要があるから」と答えた児童生徒は、非生活困難世帯より生活困難世帯が1.9ポイント高くなっています。



将来就きたい職業はありますか。(あてはまる番号1つに○)【問17(1)】

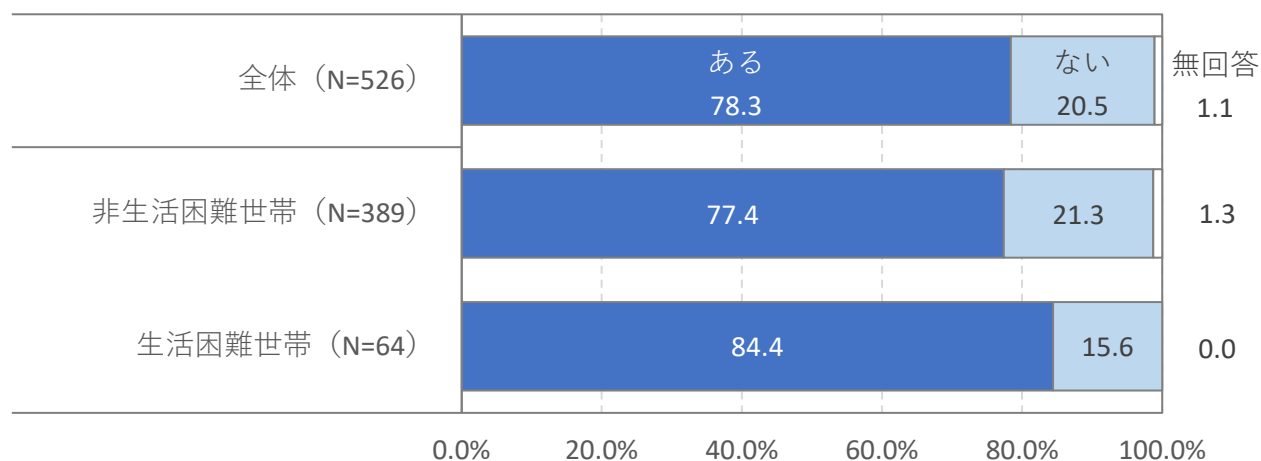
問17(1)の質問で「1. ある」と答えた人に聞きます。

将来就きたい職業は何ですか。(あてはまる番号1つに○)【問17(2)】

将来就きたい職業の有無をみると、小学5年生は「ある」78.3%、「ない」20.5%、中学2年生では「ある」61.0%、「ない」35.3%となっています。中学2年生では小学5年生に比べ、「ない」が約15ポイント高くなっています。

世帯別に将来就きたい職業が「ある」と答えた児童生徒をみると、小学5年生では生活困難世帯、中学2年生では非生活困難世帯に多くなっています。また、生活困難世帯では、小学5年生は84.4%、中学2年生は50.9%と30ポイント以上の差が見られます。

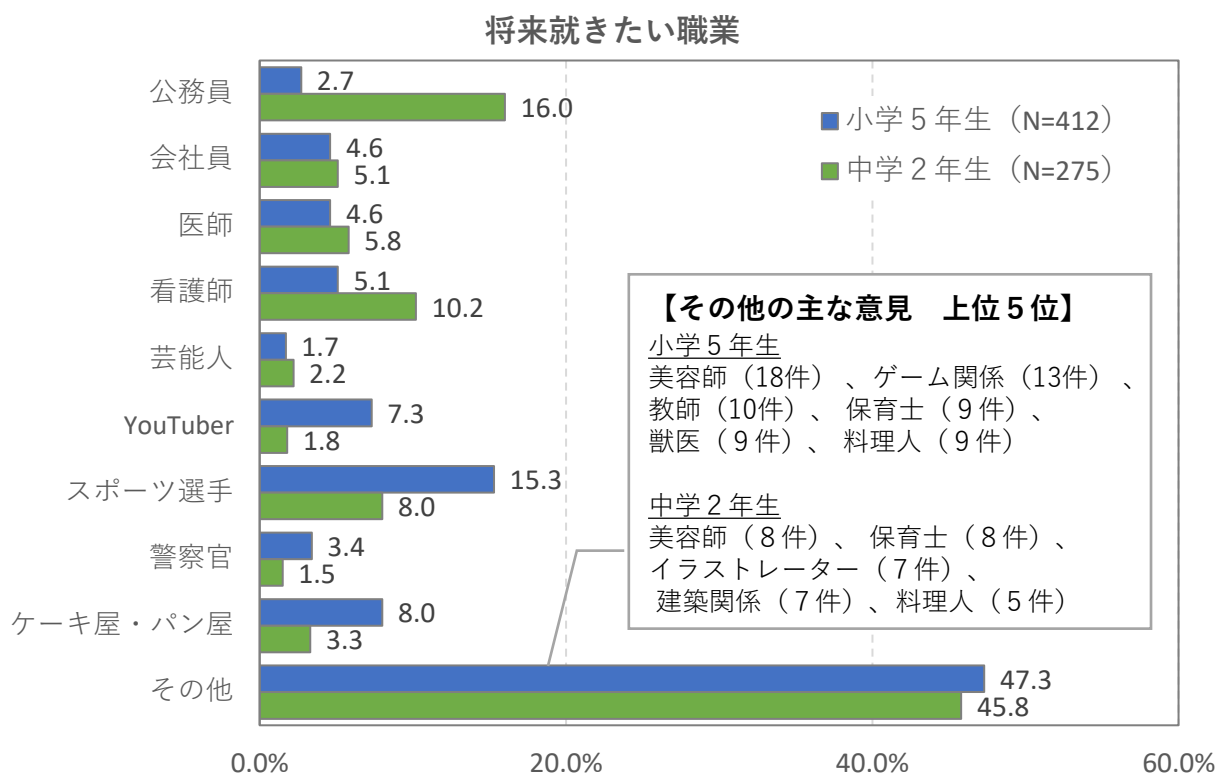
小学5年生



中学2年生

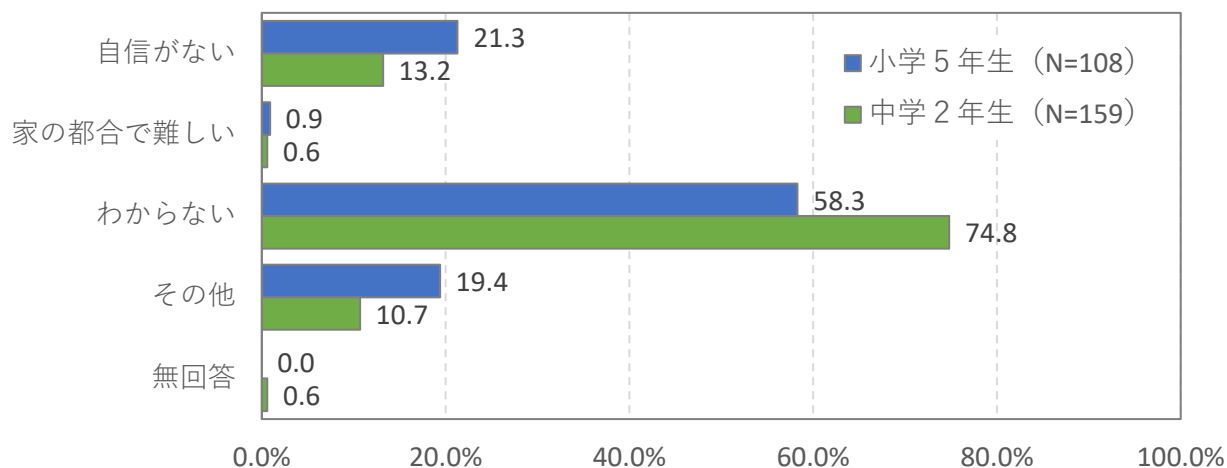


将来就きたい職業が「ある」と答えた児童生徒に、就きたい職業をたずねると、「その他」を除くと、小学5年生では「スポーツ選手」が最も多く、次いで、「ケーキ屋・パン屋」「YouTuber」、中学2年生では「公務員」が最も多く、次いで、「看護師」「スポーツ選手」となっています。また、「その他」の主な回答としては、小学5年生・中学2年生ともに「美容師」が最も多く挙がっています。



問17(1)の質問で「2. ない」と答えた人に聞きます。
 将来就きたい職業がない理由は何ですか。(あてはまる番号1つに○)【問17(3)】

将来就きたい職業が「ない」と答えた児童生徒に、その理由をたずねると、小学5年生・中学2年生ともに「わからない」が最も多くなっています。



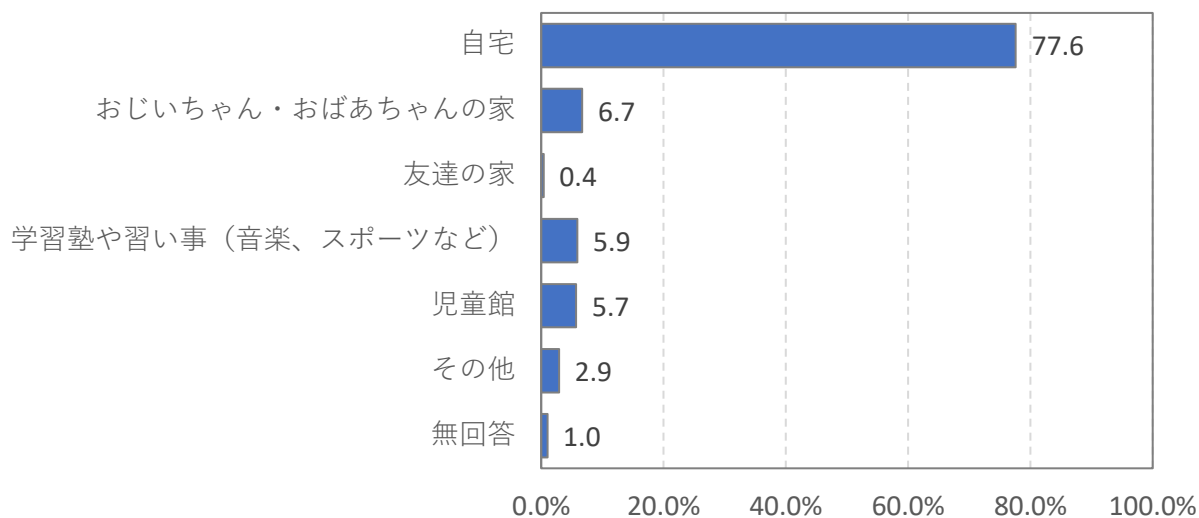
(4) 生活習慣について

あなたは、平日の放課後は主にどこで過ごしていますか。(あてはまる番号1つに○)【問16】

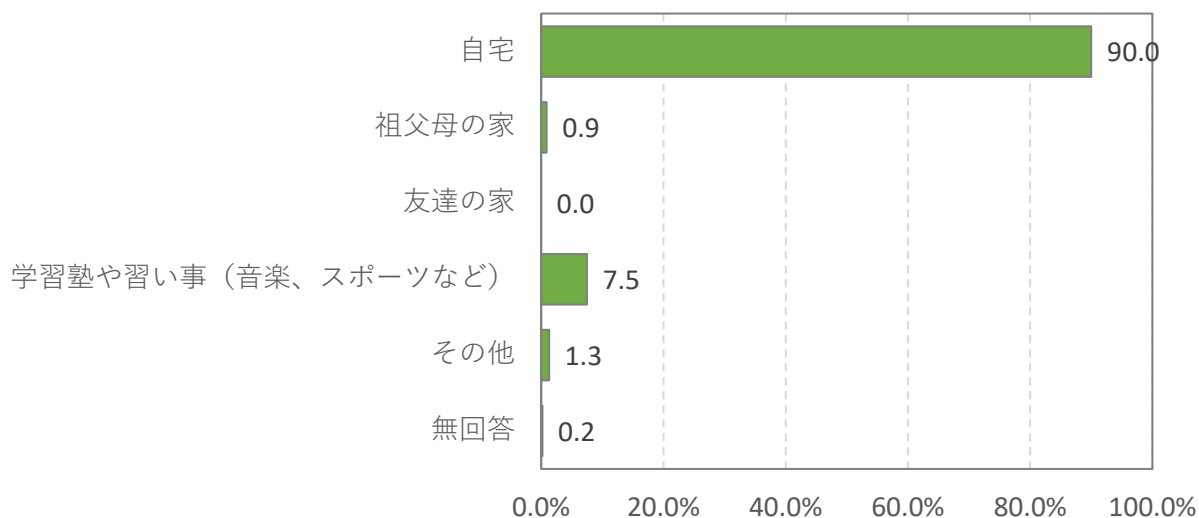
平日の放課後に主に過ごしている場所をみると、小学5年生・中学2年生ともに「自宅」が最も多く、小学5年生は77.6%、中学2年生は90.0%を占めています。

次いで、小学5年生は「おじいちゃん・おばあちゃんの家」、中学2年生は「学習塾や習い事（音楽、スポーツなど）」が多くなっています。

小学5年生 (N=526)



中学2年生 (N=451)



あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、放課後特別練習（陸上・水泳）※小学5年生、学校の部活動※中学2年生に参加していますか。（あてはまる番号1つに○）【問8（1）】

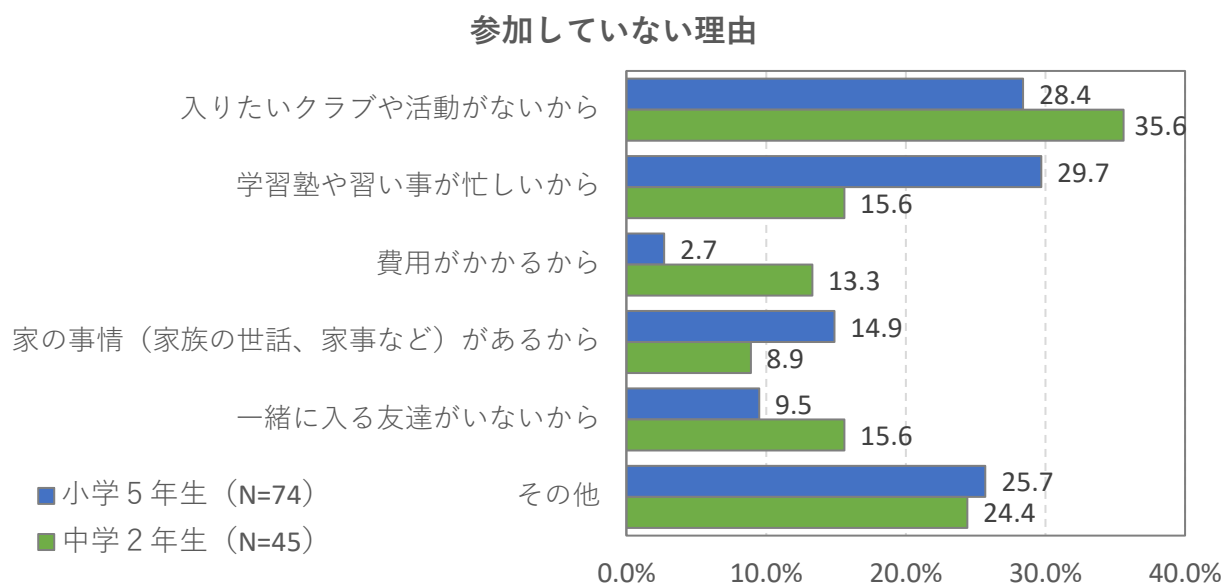
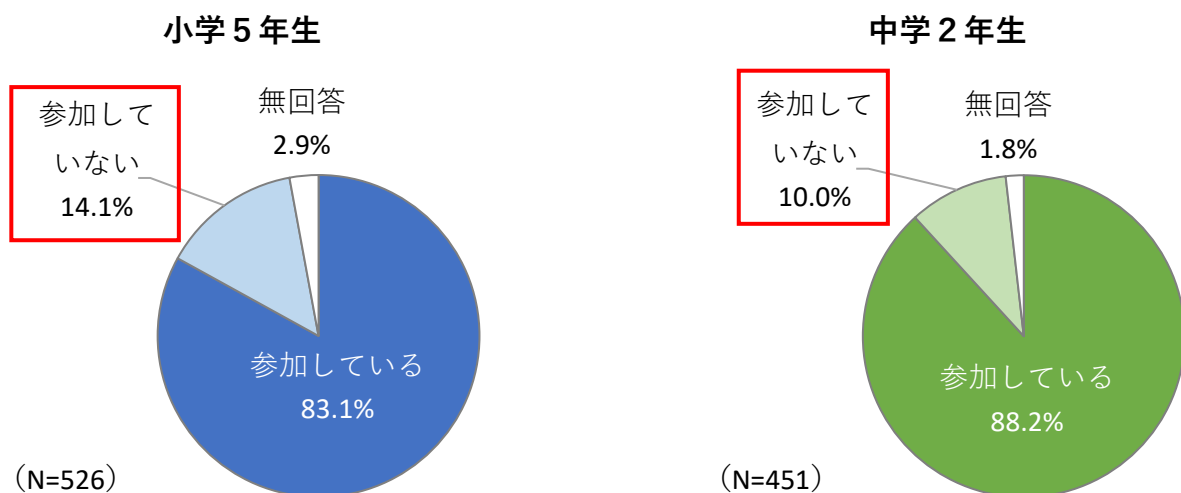
問8（1）の質問で「2. 参加していない」と答えた人に聞きます。

参加していない理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）【問8（2）】

地域のスポーツクラブや文化クラブ、放課後特別練習（陸上・水泳）※小学5年生、学校の部活動※中学2年生への参加状況をみると、小学5年生・中学2年生ともに「参加している」が8割以上を占めており、「参加していない」は約1割となっています。

「参加していない」と答えた理由をみると、小学5年生は「学習塾や習い事が忙しいから」「入りたいクラブや活動がないから」が約3割で多くっており、「学習塾や習い事が忙しいから」は、中学2年生と比べると14.1ポイント高くなっています。また、「家の事情（家族の世話、家事など）があるから」は14.9%を占めています。

中学2年生は「入りたいクラブや活動がないから」が35.6%と最も多くっており、「費用がかかるから」が小学5年生と比べると10.6ポイント高くなっています。また、「家の事情（家族の世話、家事など）があるから」は8.9%を占めています。



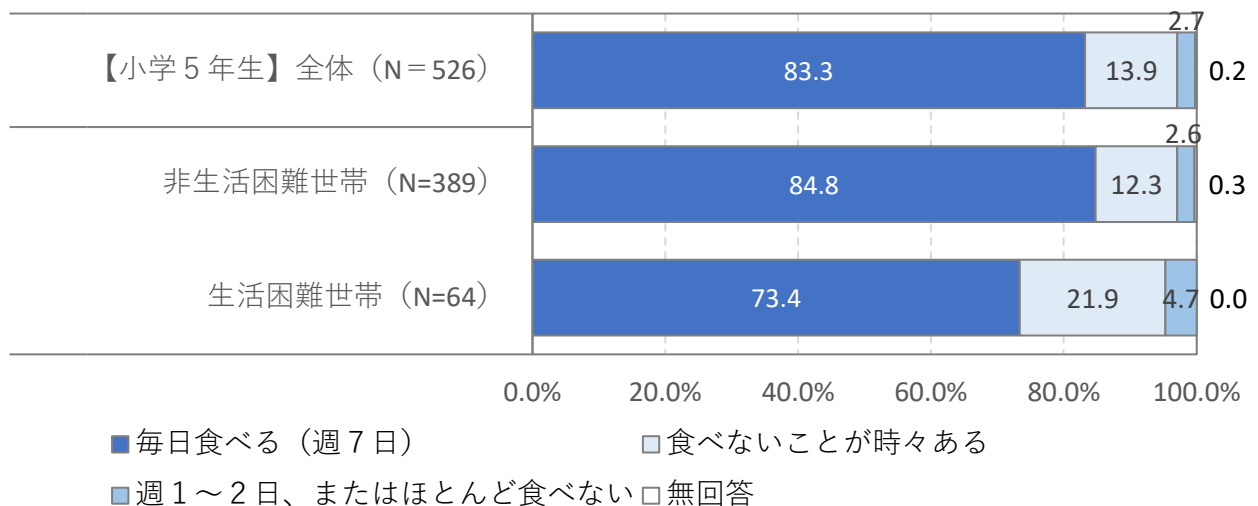
あなたは週にどのくらい食事をしていますか。(あてはまる番号それぞれ1つに○)【問9】

【朝食】

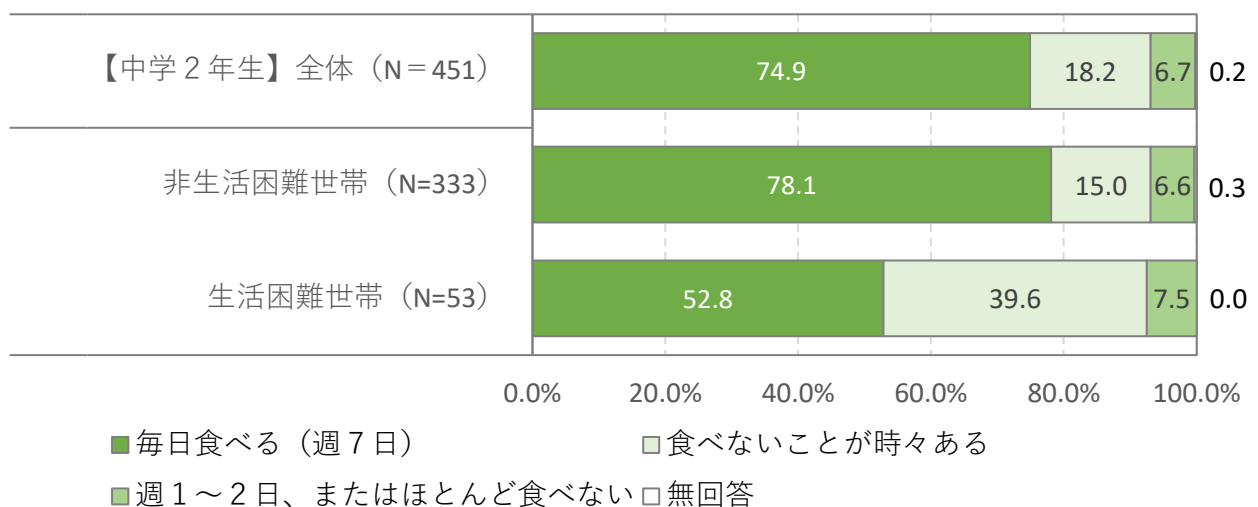
朝食の摂取状況をみると、小学5年生・中学2年生ともに「毎日食べる（週7日）」が最も多く、次いで、「食べないことが時々ある」、「週1～2日、またはほとんど食べない」となっています。「毎日食べる（週7日）」は、中学2年生が小学5年生より8.4ポイント低くなっています。

世帯別にみると、「毎日食べる（週7日）」と答えた児童生徒は非生活困難世帯に比べて生活困難世帯で減少しており、小学5年生は11.4ポイント、中学2年生は25.3ポイントの差が見られます。特に、中学2年生の生活困難世帯では「毎日食べる（週7日）」と答えた児童生徒が約半数、約4割が「食べないことが時々ある」と答えており、朝食の摂取率が低くなっています。

朝食の摂取状況



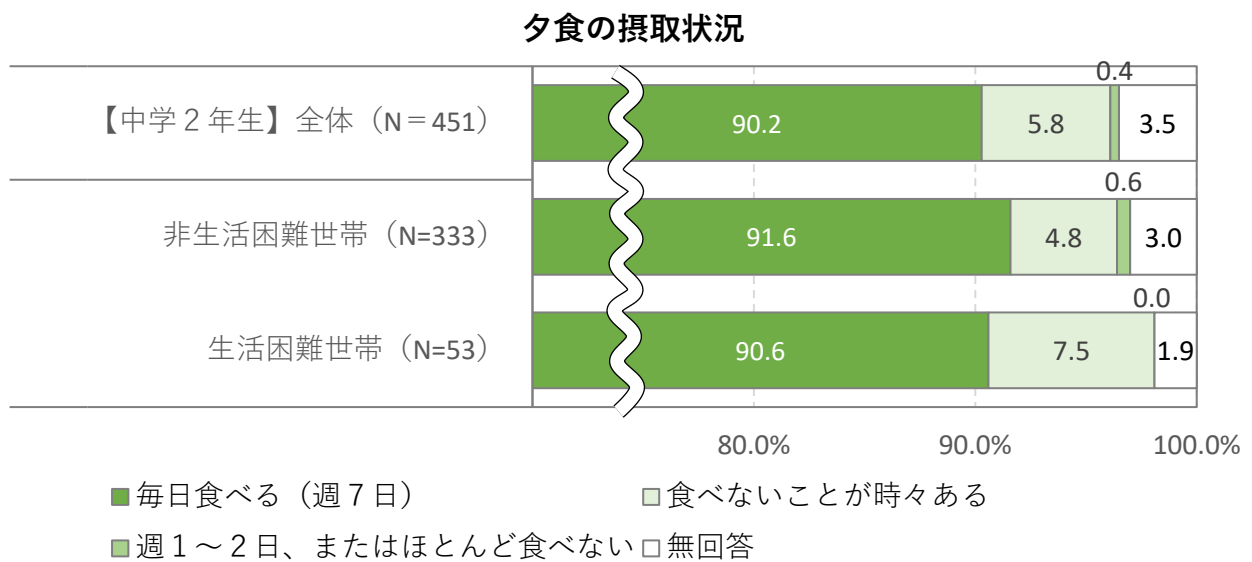
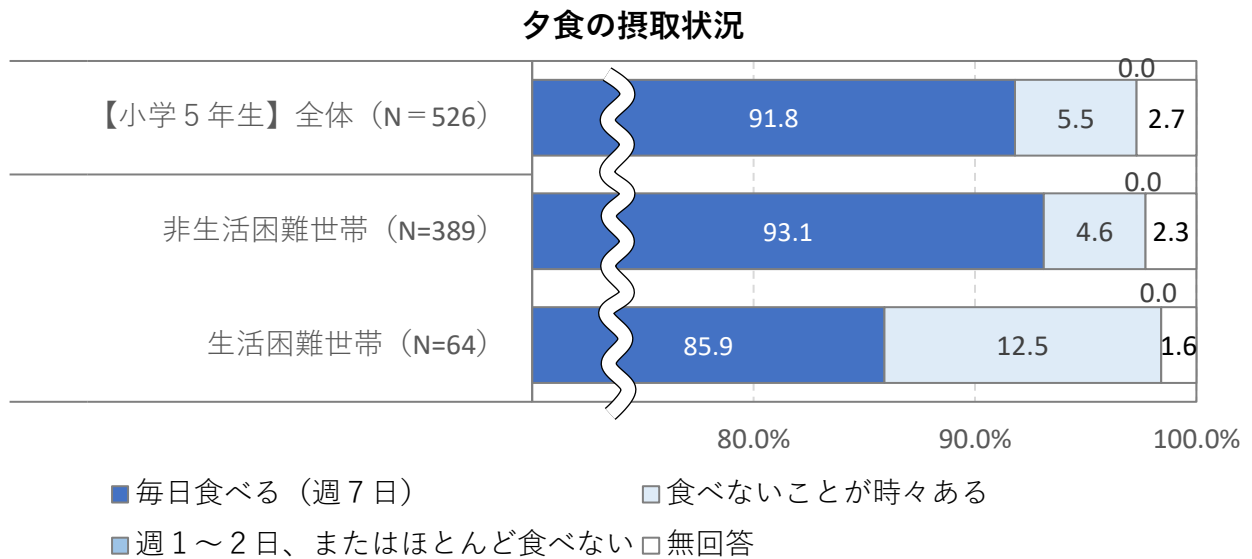
朝食の摂取状況



【夕食】

夕食の摂取状況をみると、小学5年生・中学2年生ともに「毎日食べる（週7日）」が最も多く9割以上を占めています。

世帯別にみると、「毎日食べる（週7日）」と答えた児童生徒は小学5年生・中学2年生ともに非生活困難世帯より生活困難世帯で減少しており、生活困難世帯は「食べないことが時々ある」と答えた小学5年生が12.5%、中学2年生が7.5%と多くなっています。



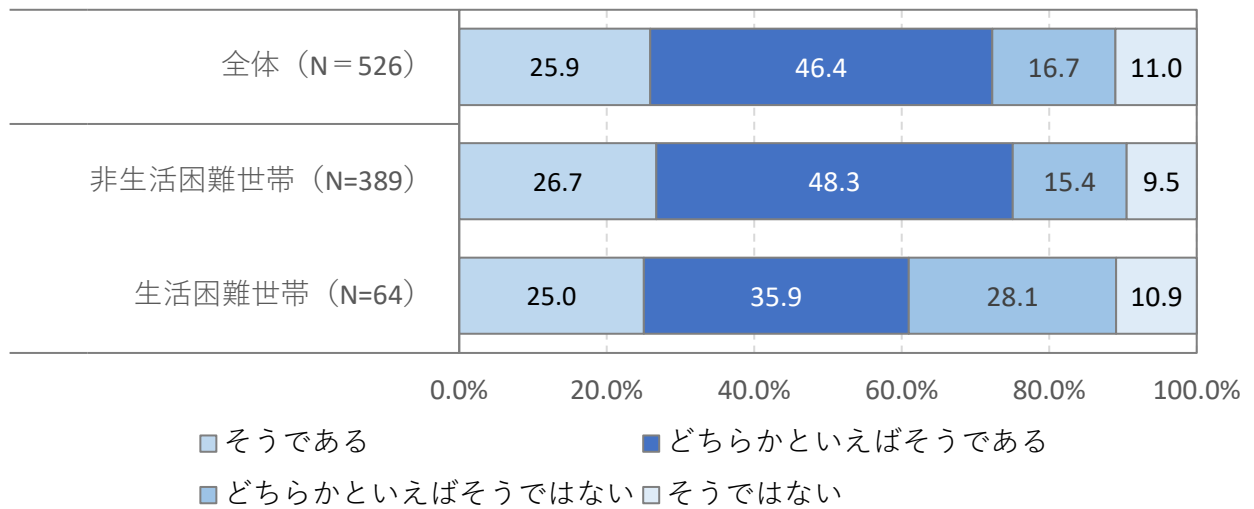
あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）、ほぼ同じ時刻に寝ていますか。（あてはまる番号1つに○）

【問 10】

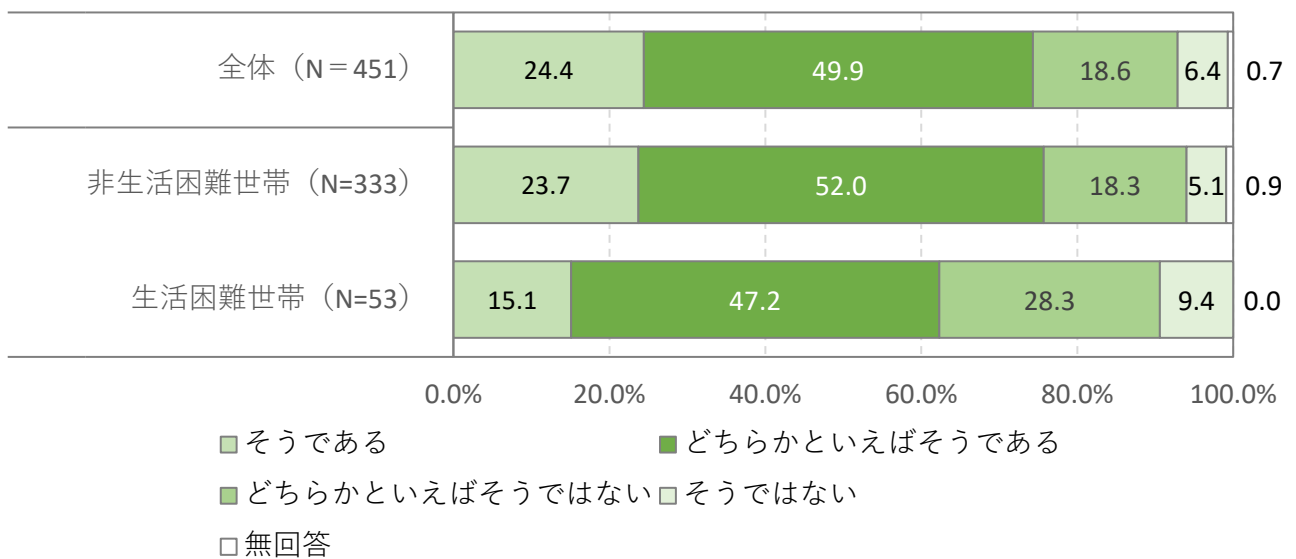
ふだん（月曜日～金曜日）の就寝時刻をみると、小学5年生・中学2年生ともに「どちらかといえばそうである」が最も多く、次いで、「そうである」「どちらかといえばそうではない」「そうではない」となっています。

世帯別にみると、小学5年生・中学2年生ともに「どちらかといえばそうではない」または「そうではない」と答えた“就寝時間が不規則な児童生徒”は非生活困難世帯より生活困難世帯に多くなっています。

小学5年生



中学2年生

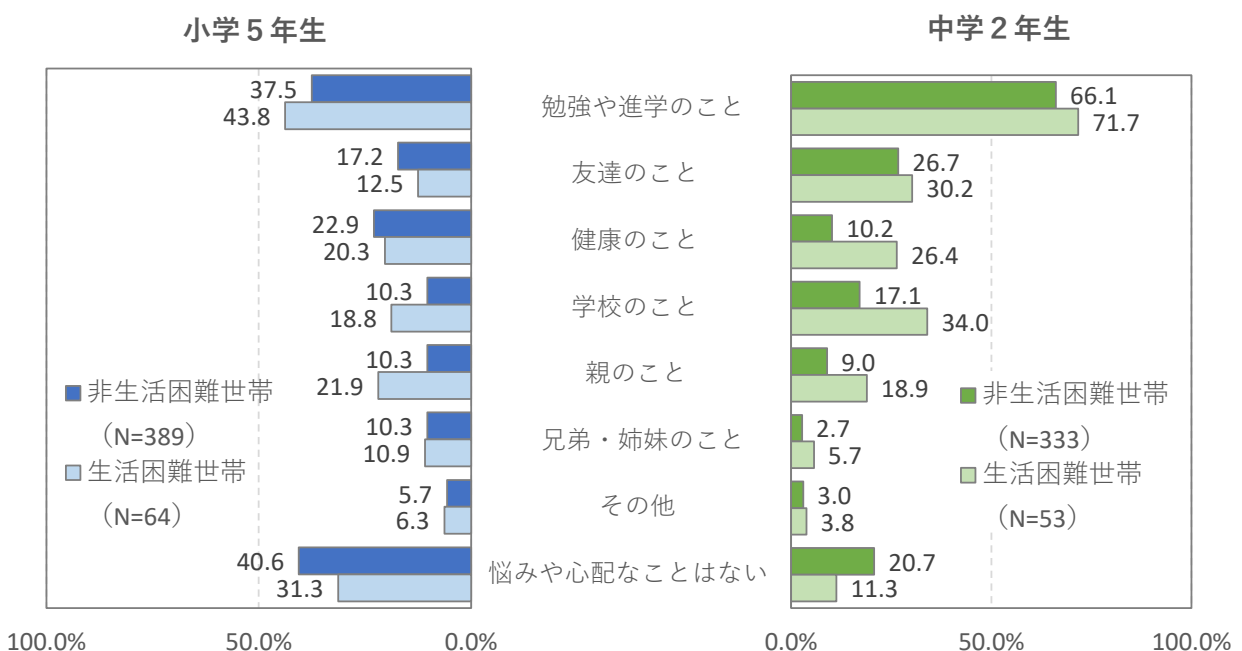
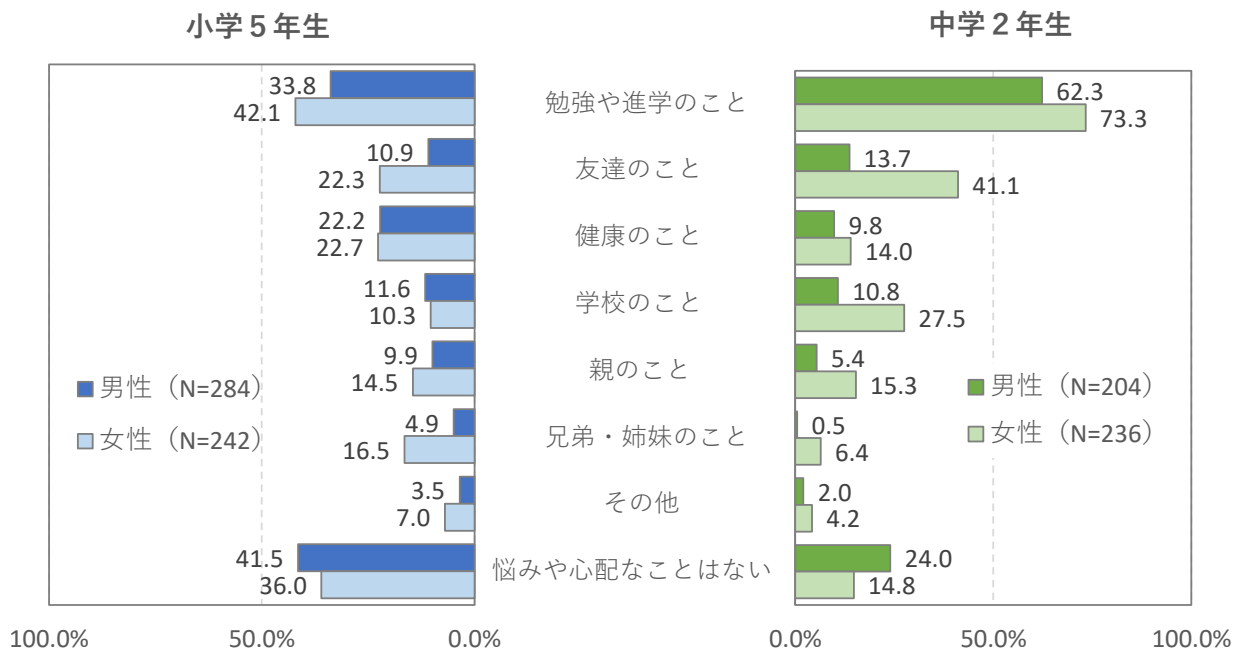


(5) こころの健康について

あなたは、悩みや心配なことがありますか。(あてはまる番号すべてに○)【問 18】

悩みや心配なことの有無をみると、小学5年生の男性は「悩みや心配なことはない」、女性は「勉強や進学のこと」、中学2年生は男性・女性ともに「勉強や進学のこと」が最も多くなっています。小学5年生に比べて、中学2年生では何らかの悩みを抱えていることが多いということがわかります。

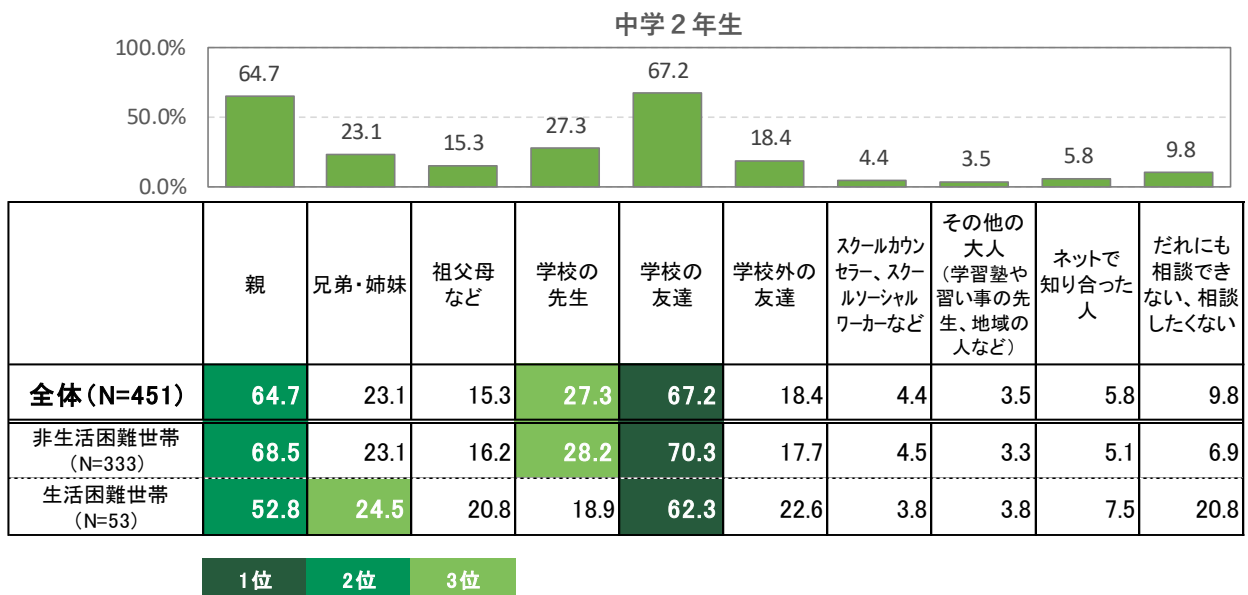
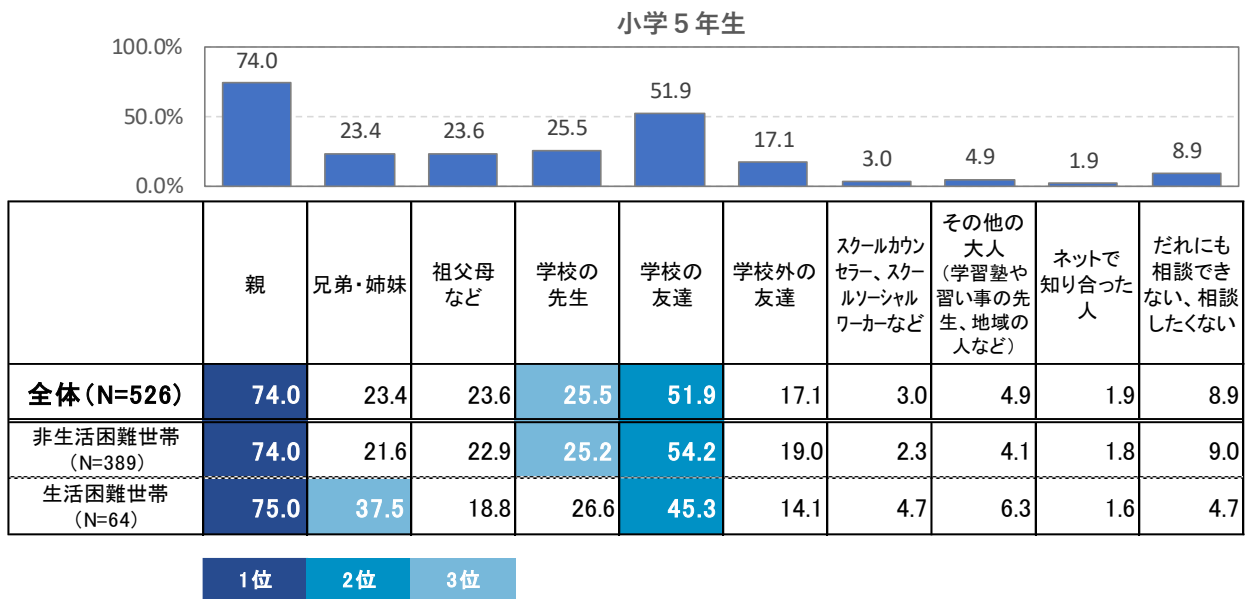
世帯別にみると、小学5年生・中学2年生ともに、ほぼすべての項目で非生活困難世帯より生活困難世帯の割合が高くなっています。



あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。
 (あてはまる番号すべてに○) 【問 11】

困っていることや悩みごとの相談相手を見ると、小学5年生は「親」、中学2年生は「学校の友達」が最も多くなっています。

世帯別にみると、小学5年生の生活困難世帯では「兄弟・姉妹」が非生活困難世帯より15.9ポイント高くなっています。また、中学2年生の生活困難世帯では「だれにも相談できない、相談したくない」が約2割を占めています。

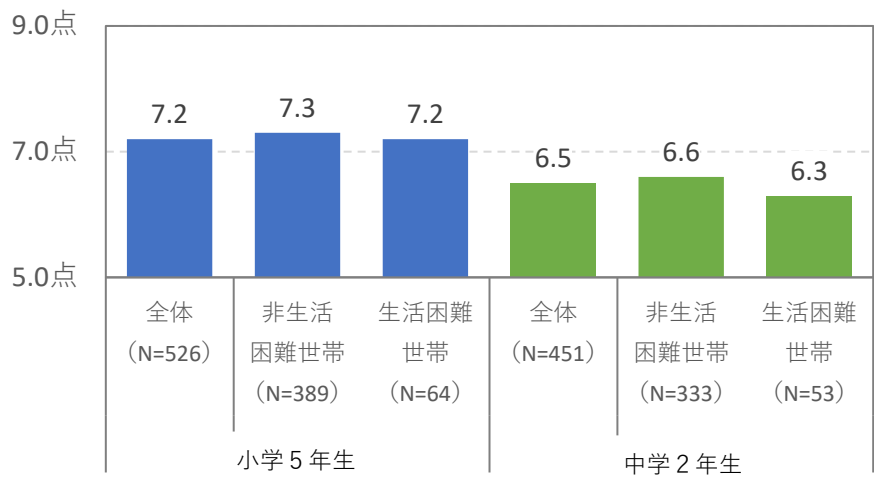


全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字で教えてください。（あてはまる番号1つに○）

【問 12】

最近の生活について、満足度（平均点）をみると、小学5年生は7.2点、中学2年生は6.5点と小学5年生の方が高くなっています。

また、世帯別では、小学5年生、中学2年生ともに大きな差は見られません。



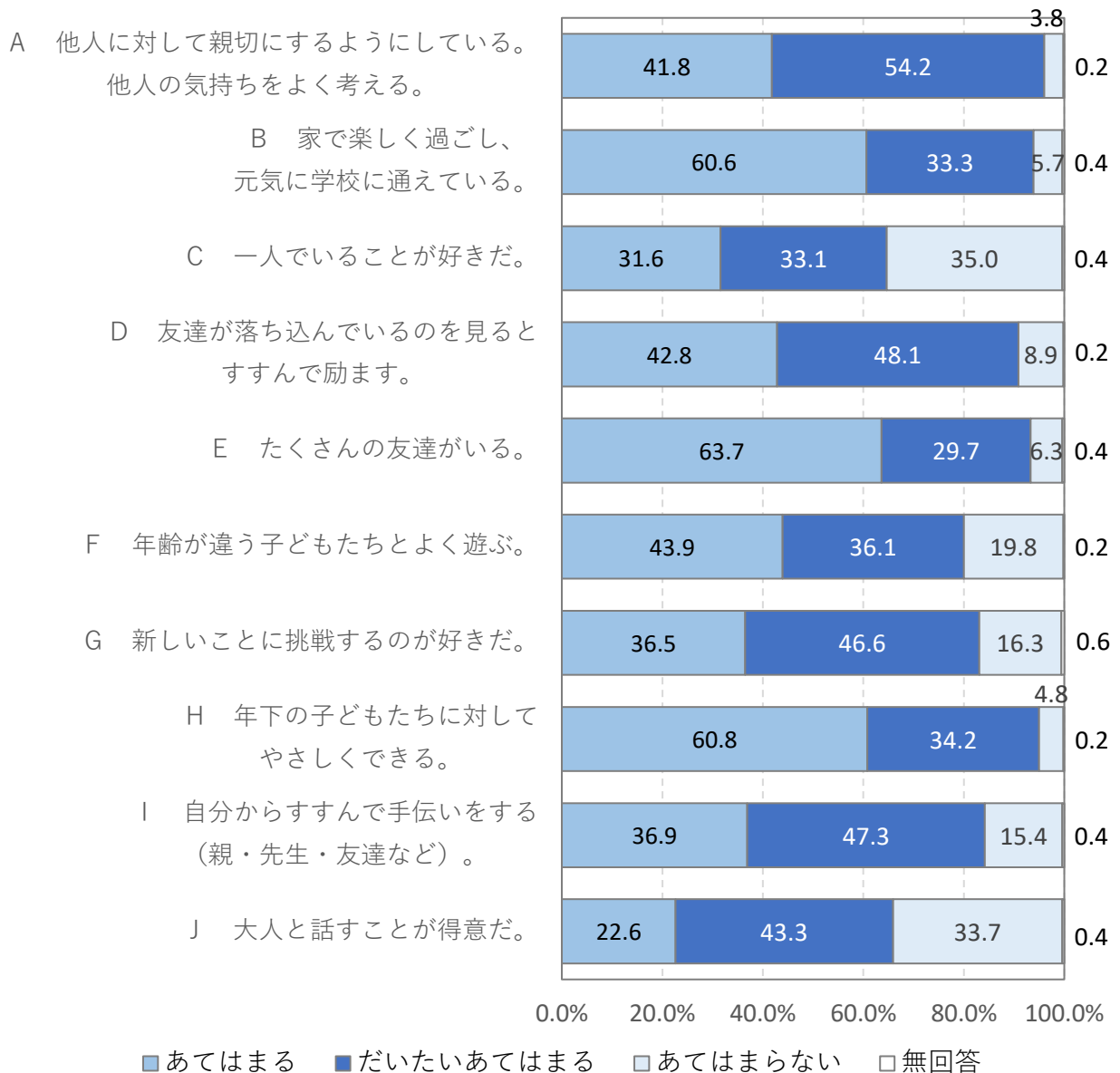
(6) 性格について

以下のそれぞれの質問について、「1. あてはまる」「2. だいたいあてはまる」「3. あてはまらない」のどれにあてはまるか教えてください。あなたが小学5年生・中学2年生になってからのことを考えて教えてください。(すべての質問について、あてはまる番号1つに○)【問13】

小学5年生が自身の性格に「あてはまる」と答えた項目は、「たくさんの友達がいる」が最も多く、次いで、「年下の子どもたちに対してやさしくできる」「家で楽しく過ごし、元気に学校に通えている」となっており、いずれも約6割を占めています。

また、「あてはまらない」と答えた項目は、「一人であることが好きだ」が最も多く、次いで、「大人と話すことが得意だ」が多く、ともに3割以上を占めています。

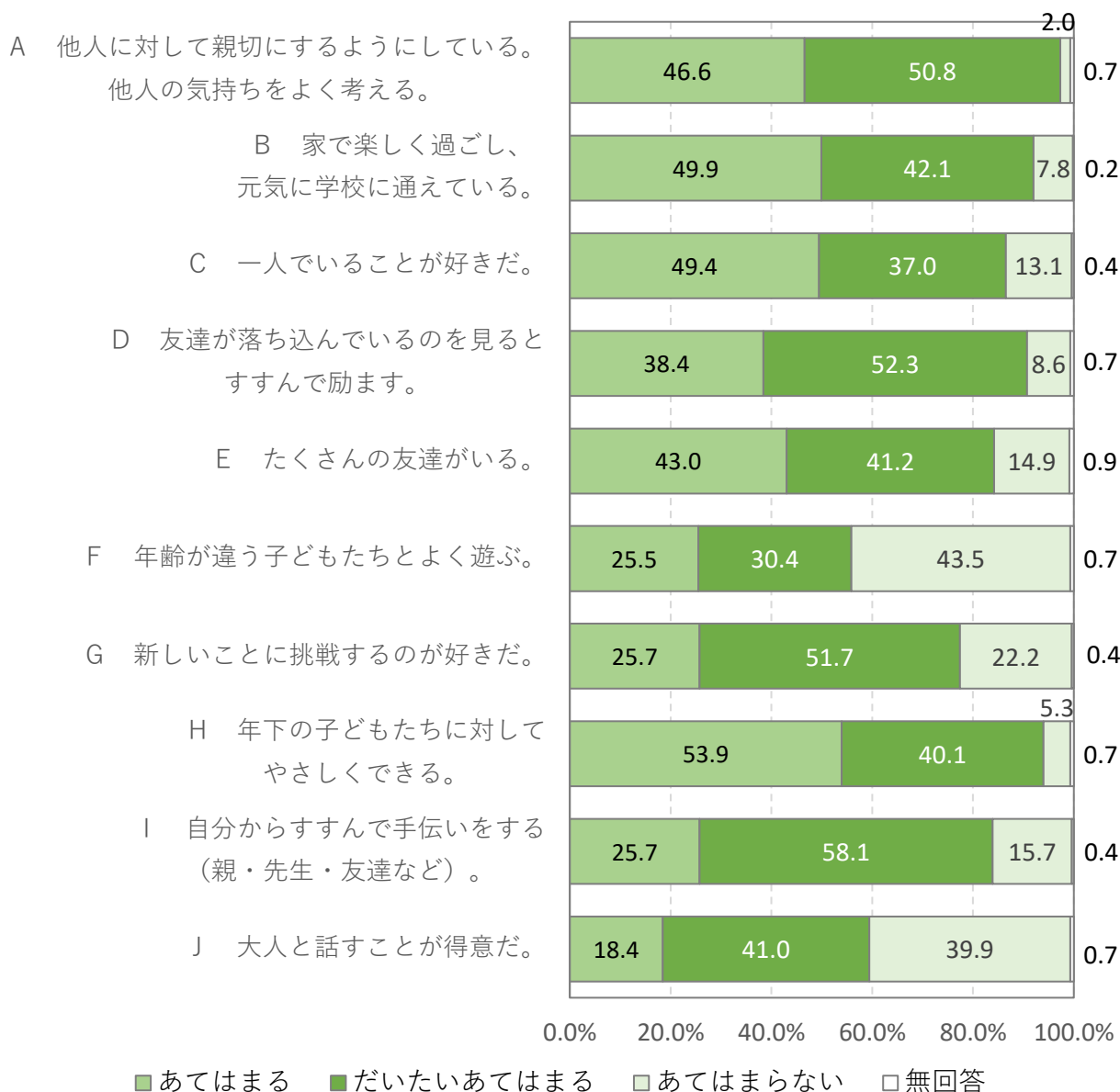
小学5年生



中学2年生が自身の性格に「あてはまる」と答えた項目は、「年下の子どもたちに対してやさしくできる」53.9%と最も多く、次いで、「家で楽しく過ごし、元気に学校に通えている」「一人であることが好きだ」となっており、いずれも約半数を占めています。

また、「あてはまらない」と答えた項目は、「年齢が違う子どもたちとよく遊ぶ」が最も多く、次いで、「大人と話すことが得意だ」が多く、ともに約4割を占めています。

中学2年生



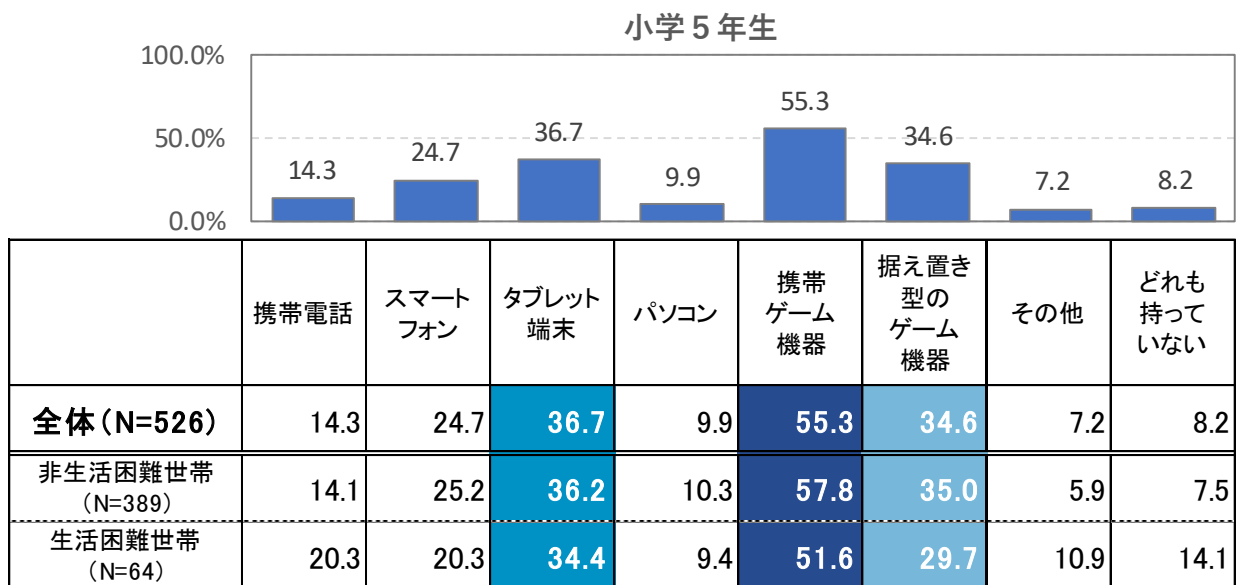
(7) 家庭環境について

あなたが持っているデジタル端末を次の中から選んでください。(あてはまる番号すべてに○)

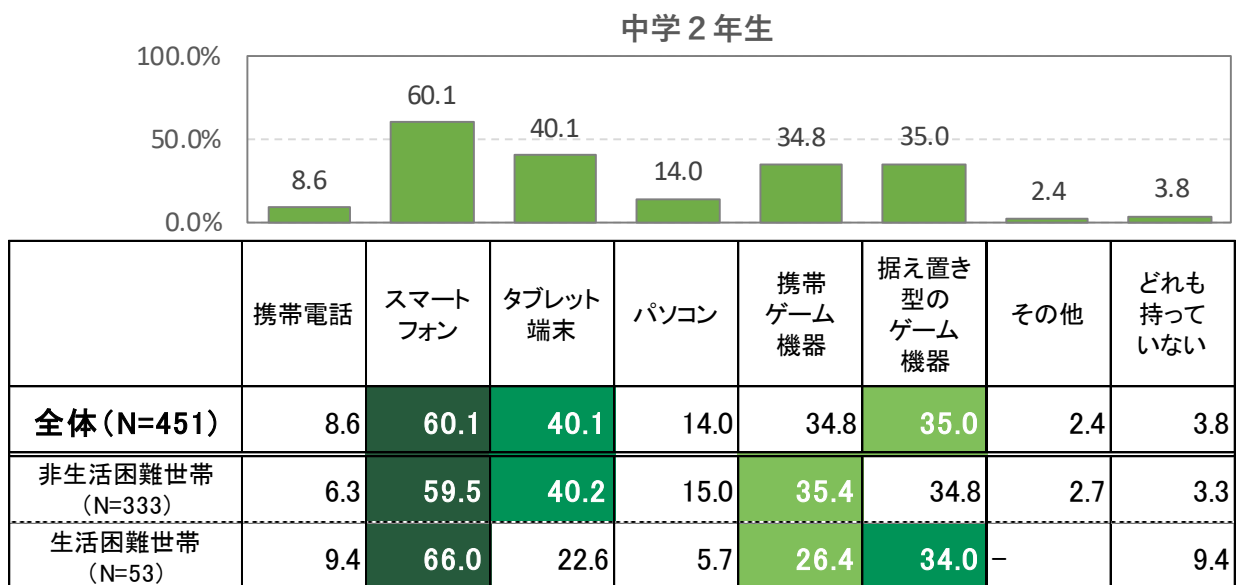
【問 14】

持っているデジタル端末をみると、小学5年生は「携帯ゲーム機器」が55.3%と最も多く、次いで、「タブレット端末」36.7%、「据え置き型のゲーム機器」34.6%の順に多くなっています。中学2年生は「スマートフォン」が60.1%と最も多く、次いで、「タブレット端末」40.1%、「据え置き型のゲーム機器」35.0%の順に多くなっています。

世帯別にみると、生活困難世帯では、小学5年生・中学2年生ともに「どれも持っていない」が非生活困難世帯に比べて多くなっています。



1位 2位 3位

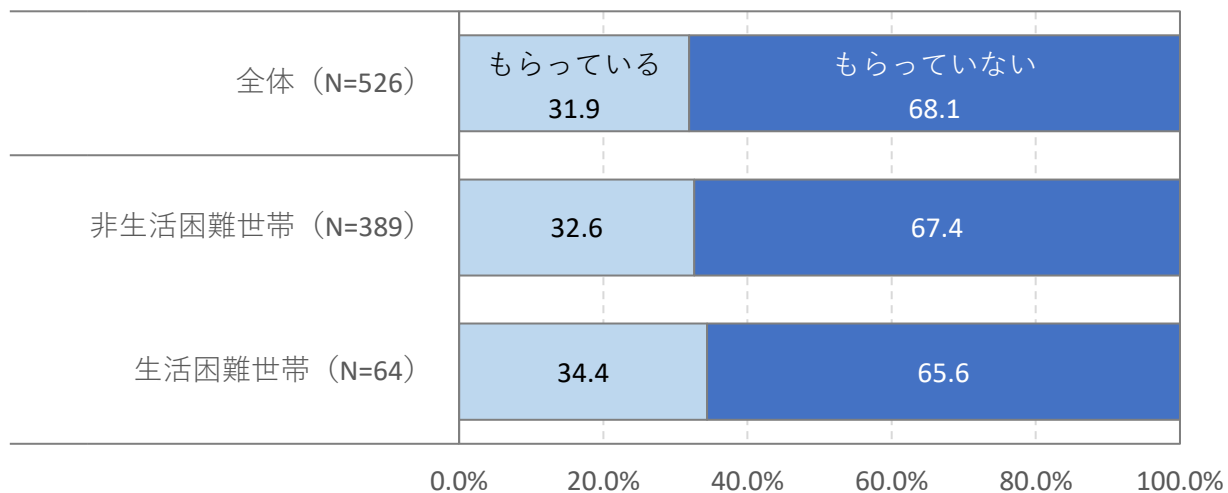


1位 2位 3位

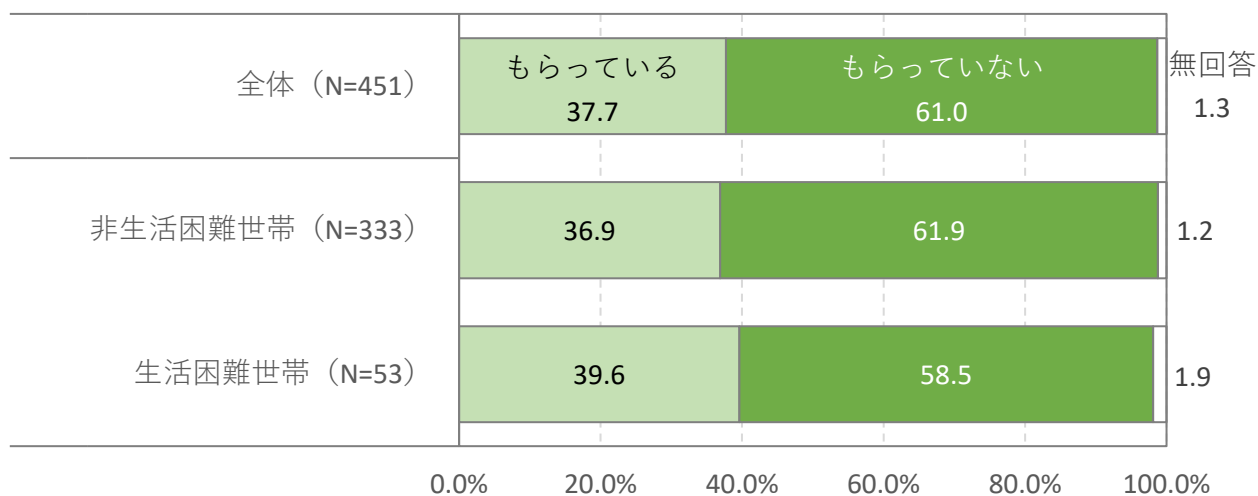
毎月決まったおこづかいをもらっていますか。(あてはまる番号1つに○)【問15】

毎月のおこづかいの有無をみると、小学5年生は「もらっている」31.9%、「もらっていない」68.1%、中学2年生は「もらっている」37.7%、「もらっていない」61.0%となっています。

小学5年生



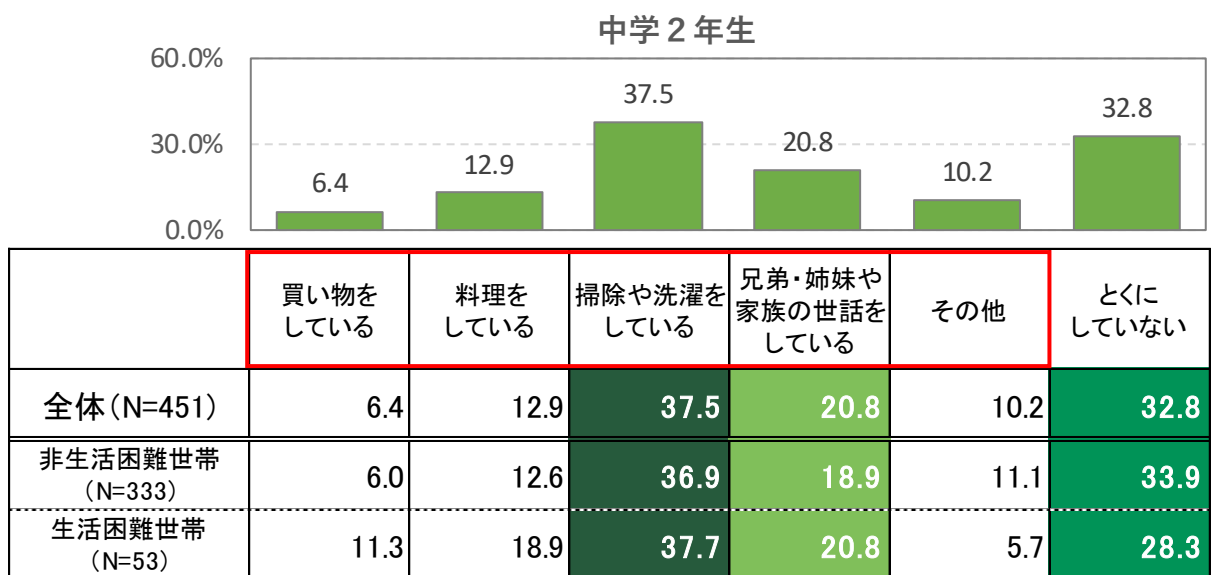
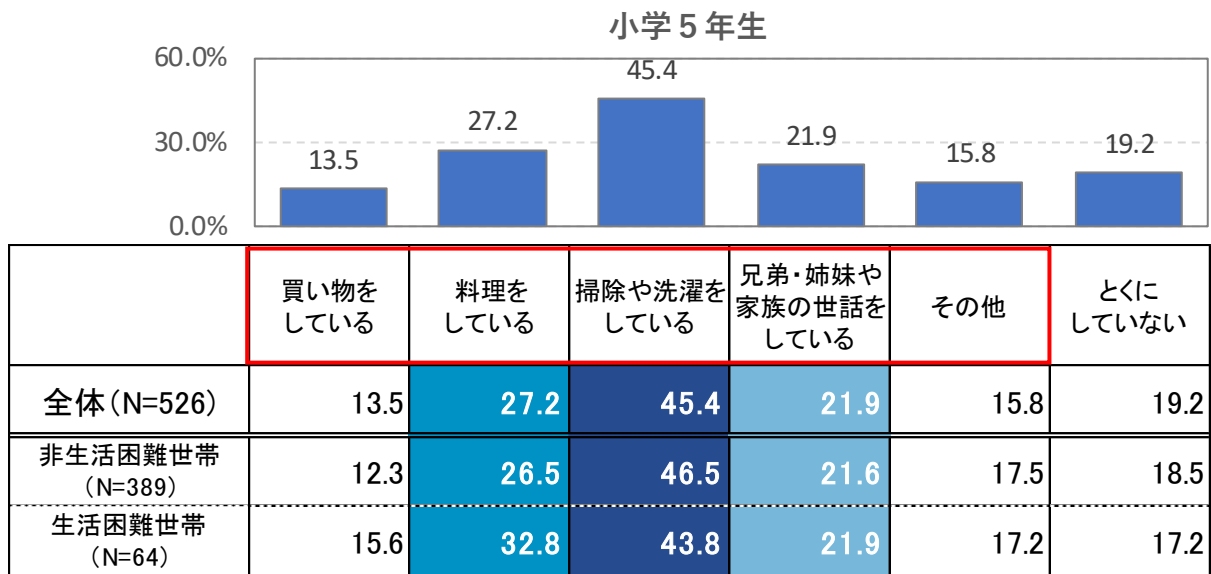
中学2年生



あなたは、ふだん家族の手伝いや世話をしていますか。(あてはまる番号すべてに○)【問 19(1)】

家族の手伝いや世話の状況を見ると、小学5年生は「掃除や洗濯をしている」が45.4%と最も多く、次いで、「料理をしている」27.2%、「兄弟・姉妹や家族の世話をしている」21.9%の順に多くなっています。中学2年生は「掃除や洗濯をしている」が37.5%と最も多く、次いで、「とくにしていない」32.8%、「兄弟・姉妹や家族の世話をしている」20.8%の順に多くなっています。

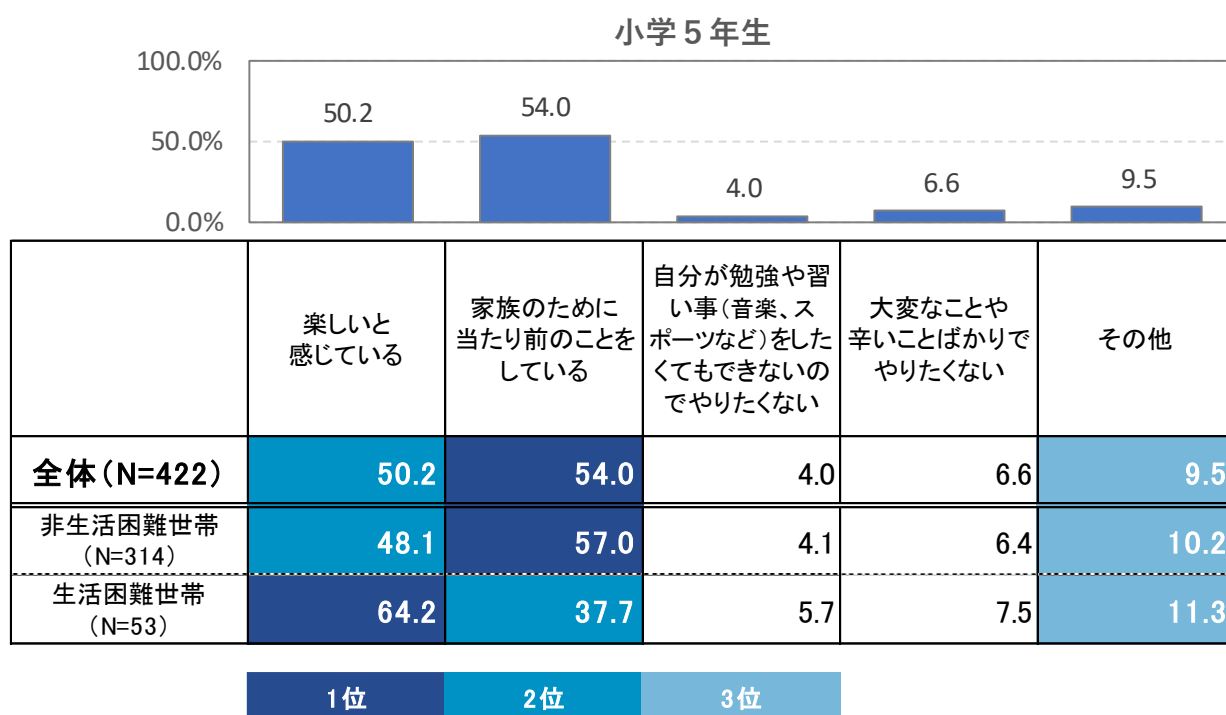
世帯別にみると、小学5年生・中学2年生ともに「料理をしている」と答えた児童生徒が非生活困難世帯より生活困難世帯で6.3ポイント高くなっています。また、中学2年生の生活困難世帯では「とくにしていない」が28.3%と、非生活困難世帯に比べて5.6ポイント低くなっています。



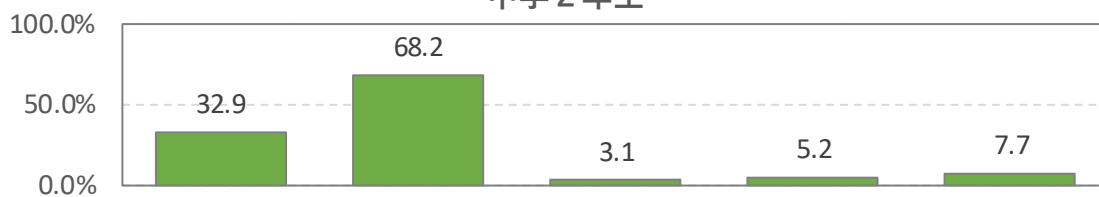
問19(1)の質問で「1. 買い物をしている」～「5. その他」と答えた人に聞きます。
 あなたは、家族の手伝いや世話をすることをどう思っていますか。(あてはまる番号すべてに
 ○)【問19(2)】

「とくにしていない」以外を答えた児童生徒に、家族の手伝いや世話をすることをどう思っているかをたずねると、小学5年生・中学2年生ともに「家族のために当たり前のことをしている」が最も多くなっています。また、小学5年生では「楽しいと感じている」が約半数を占めていましたが、中学2年生では約3割と少なくなっています。

世帯別にみると、小学5年生の生活困難世帯では「楽しいと感じている」が最も多くなっていますが、小学5年生・中学2年生ともに生活困難世帯では、「家族のために当たり前のことをしている」が非生活困難世帯よりも少なくなっており、「大変なことや辛いことばかりでやりたくない」が若干多くなっています。



中学2年生



	楽しいと 感じている	家族のために 当たり前のことを している	自分が勉強や習 い事(音楽、ス ポーツなど)をし たくてもできない のでやりたくない	大変なことや 辛いことばかりで やりたくない	その他
全体(N=286)	32.9	68.2	3.1	5.2	7.7
非生活困難世帯 (N=210)	33.8	70.0	2.4	5.2	7.1
生活困難世帯 (N=34)	32.4	58.8	2.9	8.8	8.8

1位	2位	3位
----	----	----

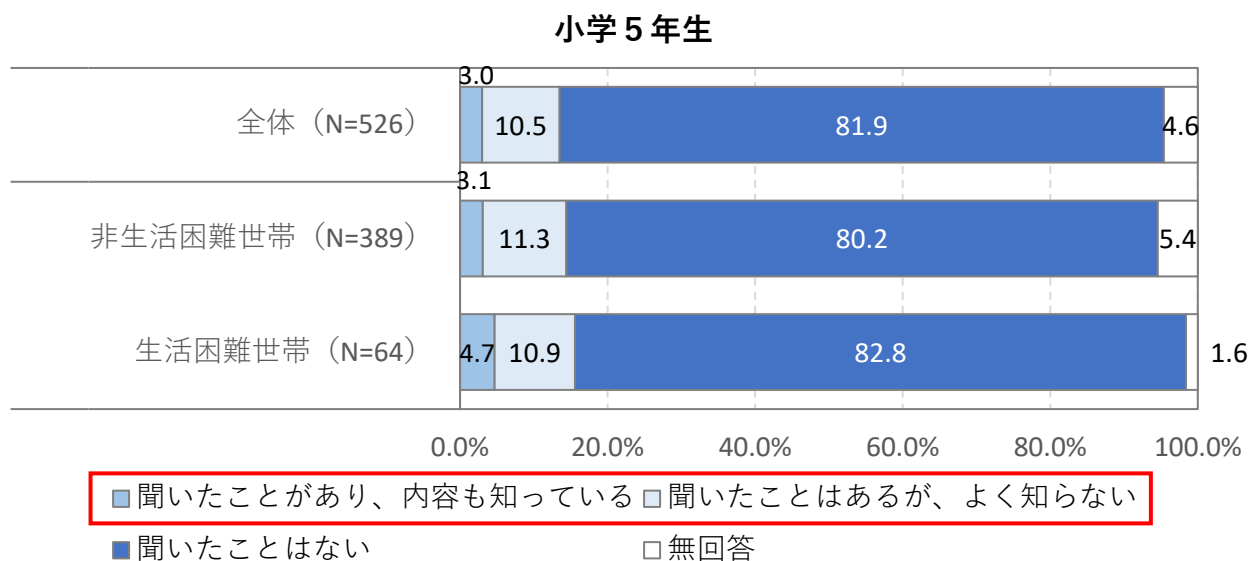
(8) ヤングケアラーについて

ヤングケアラーという言葉を知っていますか。(あてはまる番号1つに○)【問20(1)】
 問20(1)の質問で「1. 聞いたことがあり、内容も知っている」・「2. 聞いたことはあるが、よく知らない」と答えた人に聞きます。ヤングケアラーという言葉を知ったきっかけは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)【問20(2)】

ヤングケアラーの認知度をみると、小学5年生・中学2年生ともに「聞いたことはない」が最も多く、小学5年生より中学2年生の認知度が約10ポイント高くなっています。

世帯別にみると、小学5年生では差が見られませんが、中学2年生では「聞いたことはない」と答えた児童生徒が非生活困難世帯の63.4%に対し、生活困難世帯は83.0%と約20ポイントの差が見られます。

ヤングケアラーという言葉を知ったきっかけを「聞いたことがあり、内容も知っている」または「聞いたことはあるが、よく知らない」と答えた児童生徒に、ヤングケアラーという言葉を知ったきっかけをたずねると、小学5年生・中学2年生ともに「テレビや新聞、ラジオ」が最も多くなっています。

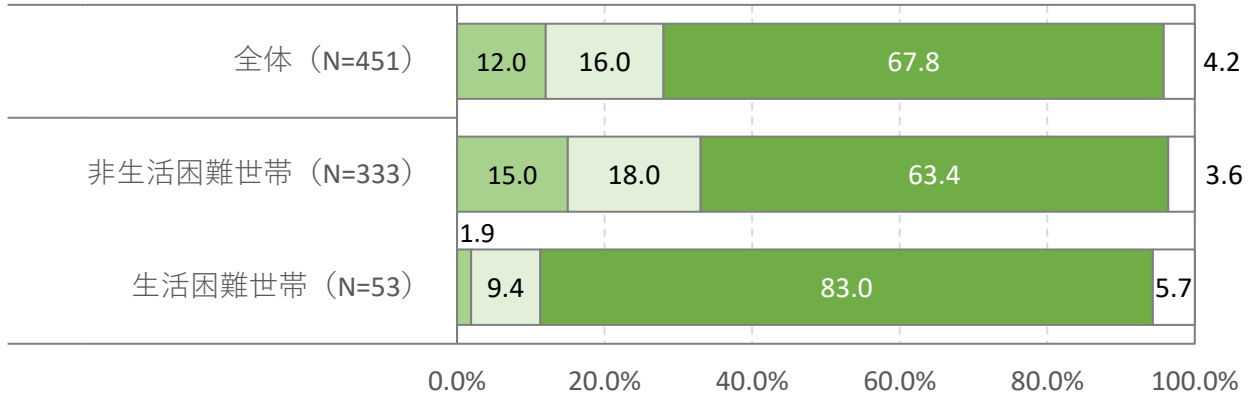


ヤングケアラーという言葉を知ったきっかけ

	テレビや新聞、ラジオ	雑誌や本	SNSやインターネット	広報やチラシ、掲示物	イベントや交流会など	友達から聞いた	その他
全体(N=71)	69.0	11.3	18.3	11.3	-	9.9	7.0
非生活困難世帯(N=56)	71.4	10.7	16.1	10.7	-	5.4	8.9
生活困難世帯(N=10)	50.0	10.0	40.0	10.0	-	40.0	-



中学2年生



聞いたことがある、内容も知っている
 聞いたことはあるが、よく知らない
 聞いたことはない
 無回答

ヤングケアラーという言葉を知ったきっかけ



	テレビや新聞、ラジオ	雑誌や本	SNSやインターネット	広報やチラシ、掲示物	イベントや交流会など	友達から聞いた	その他
全体(N=126)	63.5	29.4	21.4	7.9	3.2	5.6	4.0
非生活困難世帯(N=110)	64.5	28.2	20.0	8.2	3.6	3.6	4.5
生活困難世帯(N=6)	66.7	33.3	33.3	16.7	-	16.7	-

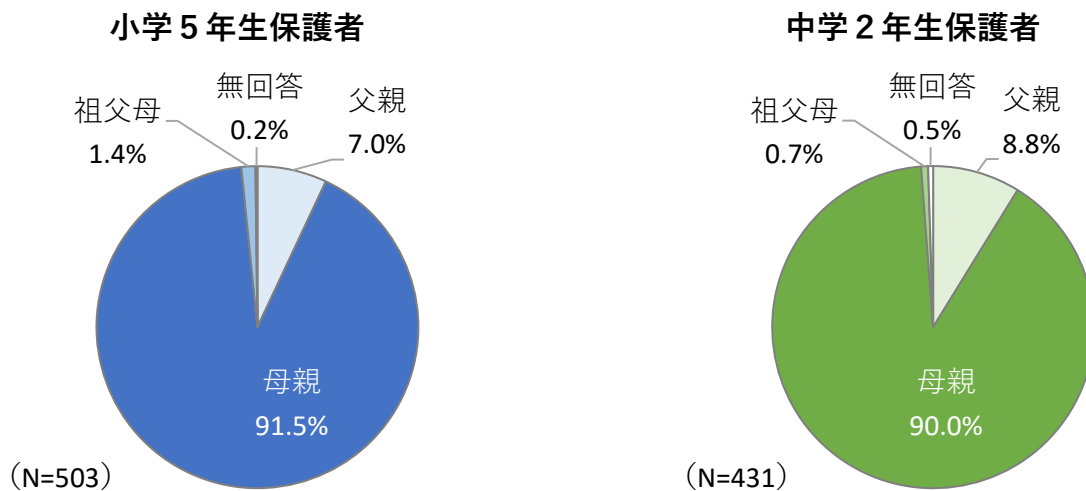
1位
2位
3位

3 調査結果(小学5年生・中学2年生の保護者)

(1) あなたやあなたのご家族について

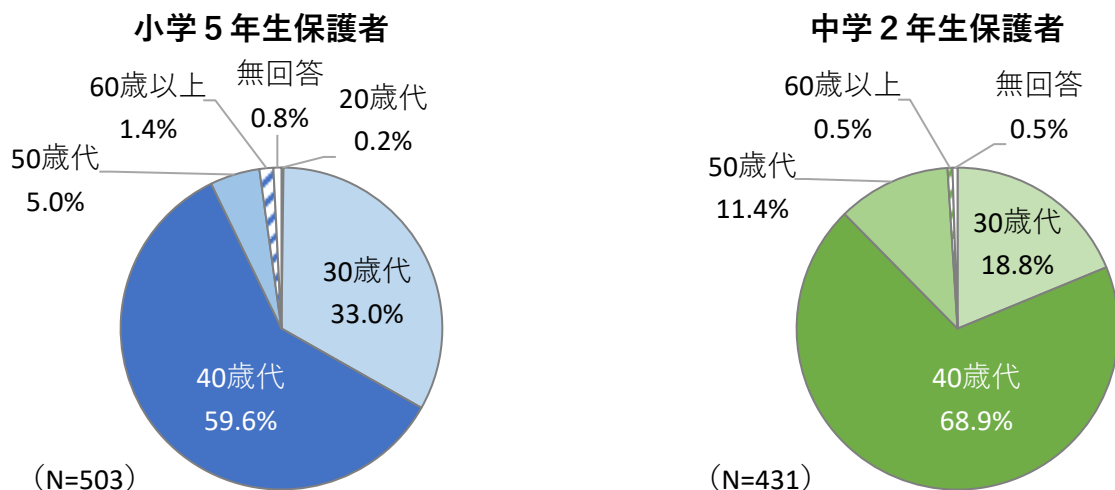
お子さんとあなた(回答者)の関係は、次のどれにあたりますか。お子さんからみた続柄でお答えください。(あてはまる番号1つに○)【問1】

お子さんからみた回答者の続柄は、小学5年生の保護者は「父親」7.0%、「母親」91.5%、「祖父母」1.4%、中学2年生の保護者は「父親」8.8%、「母親」90.0%、「祖父母」0.7%となっています。



あなたの年齢(令和3年12月1日時点)を教えてください。(あてはまる番号1つに○)【問2】

回答者の年齢は、小学5年生の保護者は「20歳代」0.2%、「30歳代」33.0%、「40歳代」59.6%、「50歳代」5.0%、「60歳以上」1.4%、中学2年生の保護者は「30歳代」18.8%、「40歳代」68.9%、「50歳代」11.4%、「60歳以上」0.5%となっています。



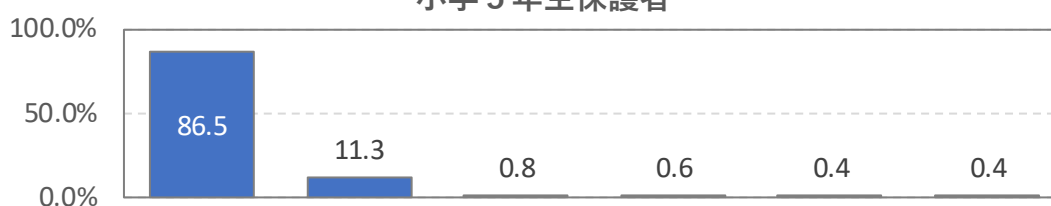
お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況を教えてください。

(あてはまる番号1つに○)【問3】

お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況をみると、小学5年生の保護者は「結婚している(再婚や事実婚を含む)」86.5%、「離婚(別居中を含む)」11.3%、「死別」0.8%、「未婚・非婚」0.6%、「生計を同一にしている親はいない」0.4%、中学2年生の保護者は「結婚している(再婚や事実婚を含む)」83.8%、「離婚(別居中を含む)」13.5%、「死別」0.9%、「生計を同一にしている親はいない」0.7%となっています。

世帯別にみると、小学5年生の保護者・中学2年生の保護者ともに、生活困難世帯では「離婚(別居中を含む)」の割合が非生活困難世帯に比べて約30ポイント高くなっています。

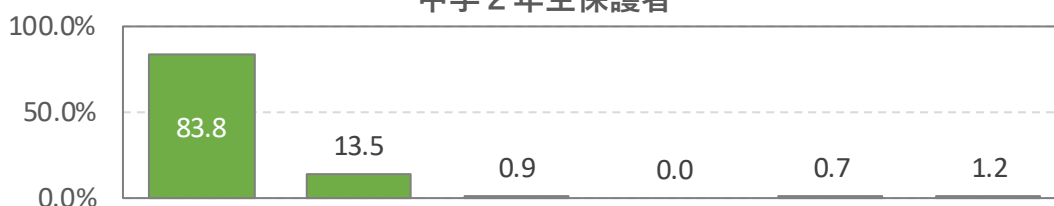
小学5年生保護者



	結婚している (再婚や事実婚を含む)	離婚(別居中 を含む)	死別	未婚・非婚	生計を同一に している親は いない	無回答
全体 (N=503)	86.5	11.3	0.8	0.6	0.4	0.4
非生活困難世帯 (N=392)	92.3	6.6	0.5	-	0.3	0.3
生活困難世帯 (N=64)	54.7	37.5	3.1	3.1	1.6	-



中学2年生保護者



	結婚している (再婚や事実婚を含む)	離婚(別居中 を含む)	死別	未婚・非婚	生計を同一に している親は いない	無回答
全体 (N=431)	83.8	13.5	0.9	-	0.7	1.2
非生活困難世帯 (N=335)	88.7	9.6	0.9	-	0.3	0.6
生活困難世帯 (N=53)	52.8	39.6	1.9	-	3.8	1.9



お子さんと生計を同一にしているご家族の人数（あなたとお子さんも含む）とそのうち、働いている方の人数、お子さんの人数を教えてください。（枠内に数値でご回答ください）【問4】

お子さんと生計を同一にしている家族の人数をみると、小学5年生の保護者・中学2年生の保護者ともに「4人」が最も多く、次いで、「5人」「6人以上」となっています。

働いている人数をみると、小学5年生の保護者・中学2年生の保護者ともに「2人」が最も多くなっていますが、生活困難世帯では「1人」が4割以上と多くなっています。

子どもの人数は、小学5年生の保護者・中学2年生の保護者ともに「2人」が最も多くなっています。

お子さんと生計を同一にしているご家族の人数		2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答
小学5年生 保護者	全体 (N=503)	2.0	8.3	37.6	32.4	17.7	2.0
	非生活困難世帯 (N=392)	1.3	7.4	40.8	34.7	15.8	-
	生活困難世帯 (N=64)	7.8	14.1	29.7	25.0	23.4	-

1位 2位 3位

お子さんと生計を同一にしているご家族の人数		2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答
中学2年生 保護者	全体 (N=431)	1.6	13.0	36.9	29.5	17.2	1.9
	非生活困難世帯 (N=335)	1.2	11.9	39.7	30.1	17.0	-
	生活困難世帯 (N=53)	5.7	18.9	28.3	24.5	22.6	-

1位 2位 3位

働いている人数		0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答
小学5年生 保護者	全体 (N=503)	0.2	19.1	69.8	6.0	3.0	0.8	-	1.2
	非生活困難世帯 (N=392)	-	15.1	75.5	5.4	2.8	0.8	-	0.5
	生活困難世帯 (N=64)	1.6	43.8	39.1	12.5	1.6	-	-	1.6

1位	2位	3位
----	----	----

働いている人数		0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答
中学2年生 保護者	全体 (N=431)	0.2	19.5	66.6	7.0	3.2	0.5	0.2	2.8
	非生活困難世帯 (N=335)	-	16.1	72.2	7.2	2.7	0.6	-	1.2
	生活困難世帯 (N=53)	1.9	41.5	43.4	5.7	5.7	-	1.9	-

1位	2位	3位
----	----	----

子どもの人数		1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答
小学5年生 保護者	全体 (N=503)	9.9	46.9	34.0	6.4	1.2	0.4	1.2
	非生活困難世帯 (N=392)	8.7	48.0	35.7	5.9	0.5	0.3	1.0
	生活困難世帯 (N=64)	12.5	43.8	26.6	10.9	4.7	1.6	-

1位	2位	3位
----	----	----

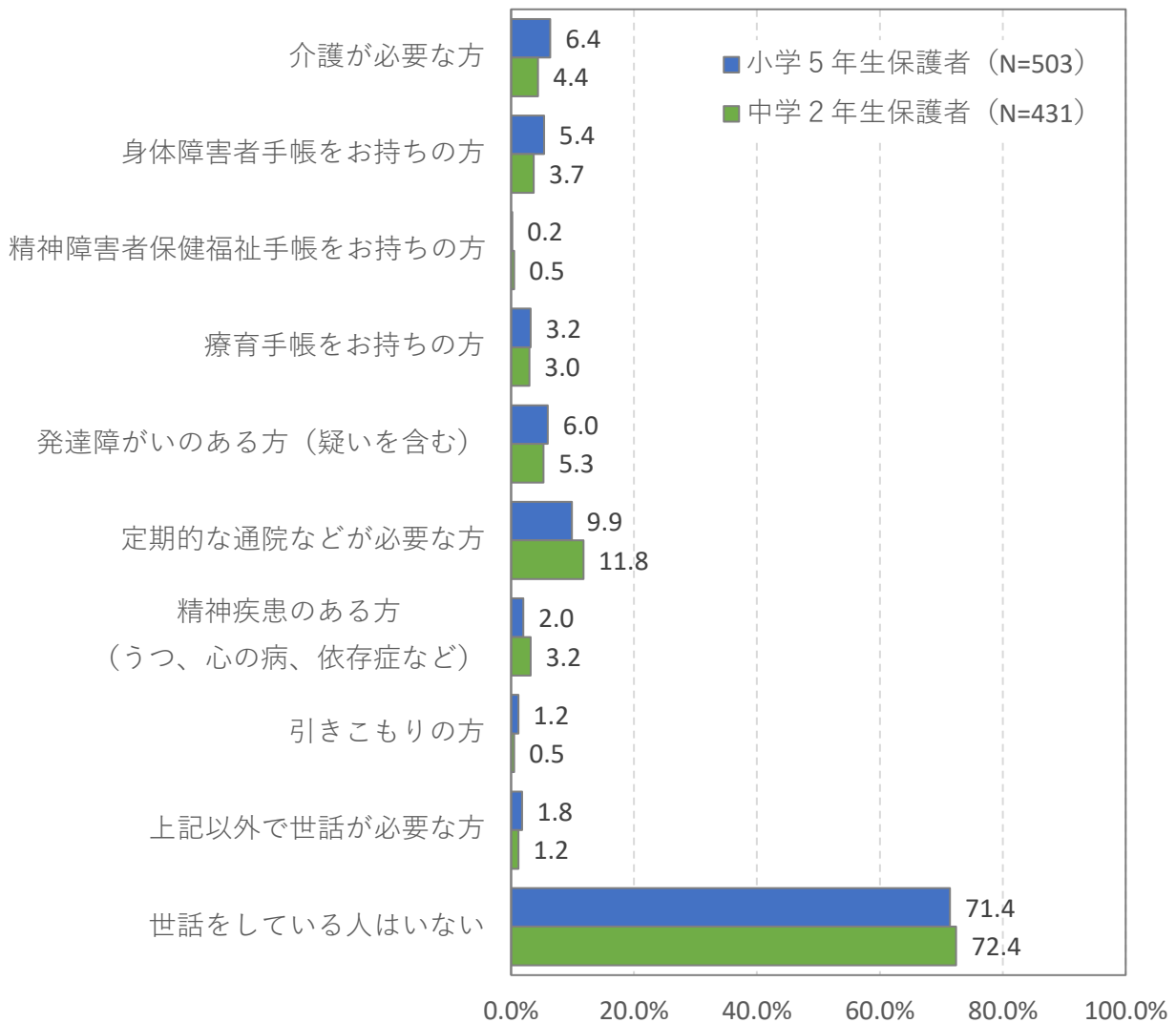
子どもの人数		1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答
中学2年生 保護者	全体 (N=431)	12.8	46.9	29.9	6.5	1.2	0.2	2.6
	非生活困難世帯 (N=335)	13.7	49.0	29.3	6.0	0.6	0.3	1.2
	生活困難世帯 (N=53)	5.7	45.3	30.2	11.3	5.7	-	1.9

1位	2位	3位
----	----	----

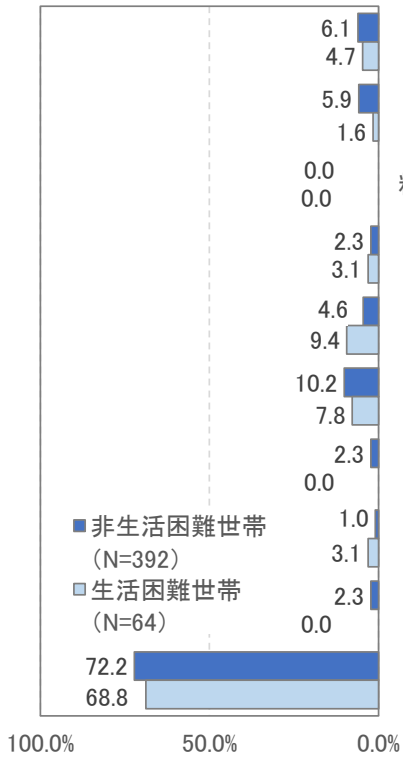
あなたや配偶者が主に世話（介護・介助等）をしている人はいますか。同居していないご家族も含めてお答えください。（あてはまる番号すべてに○）【問5】

世話（介護・介助等）をしている人の有無をみると、小学5年生の保護者・中学2年生の保護者ともに「世話をしている人はいない」が最も多くなっています。

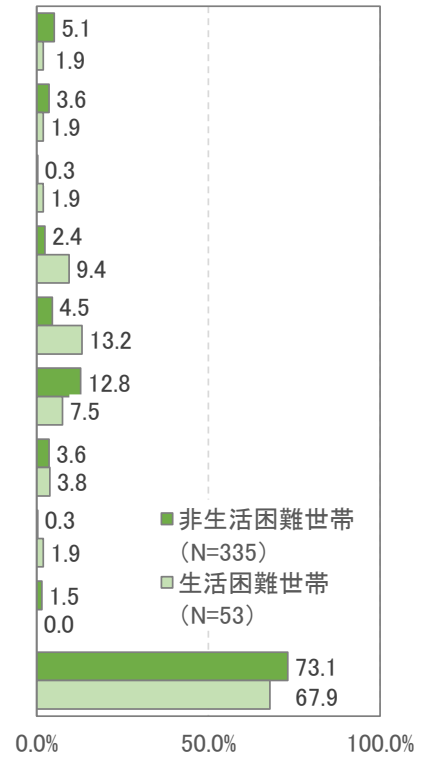
世帯別にみると、小学5年生の保護者・中学2年生の保護者ともに生活困難世帯では「療育手帳をお持ちの方」や「発達障がいのある方（疑いを含む）」が非生活困難世帯に比べて高い傾向にあります。



小学5年生保護者



中学2年生保護者

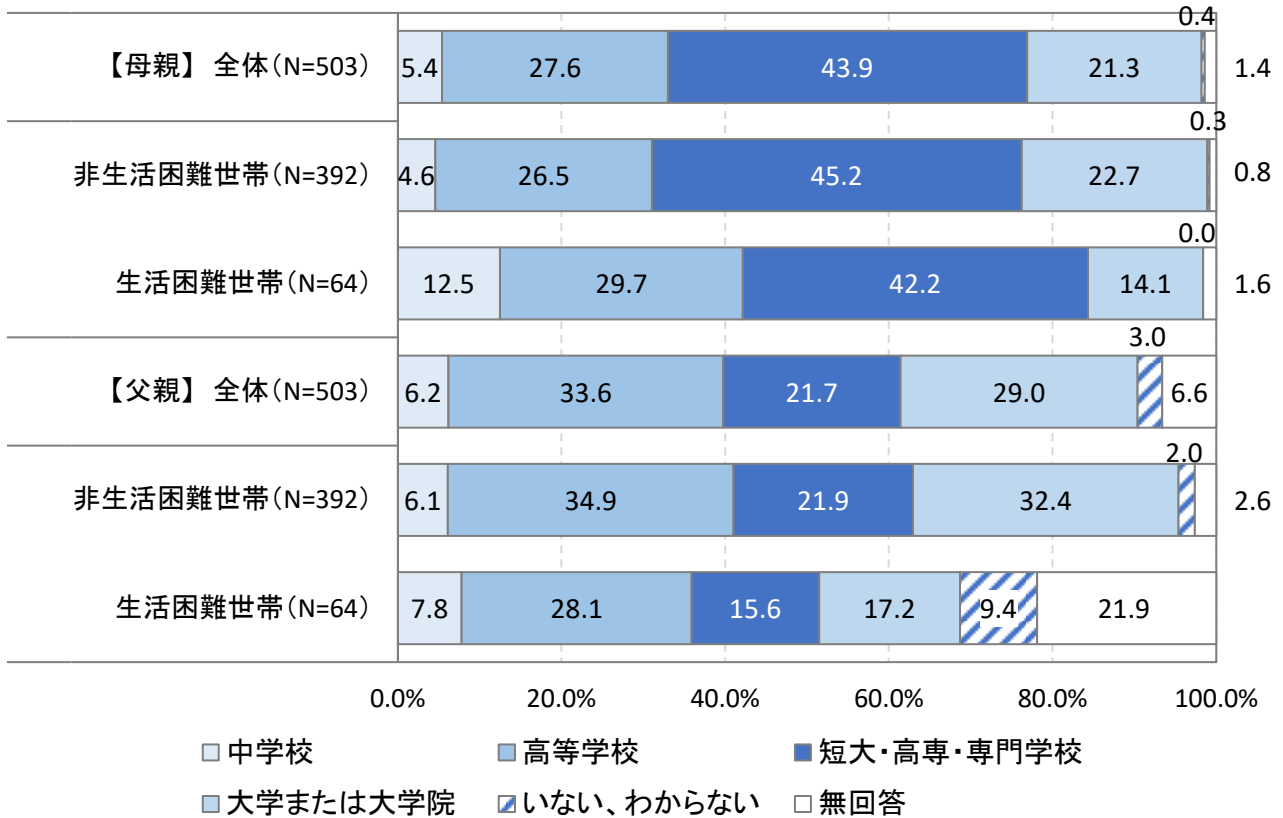


(2) お子さんの親について

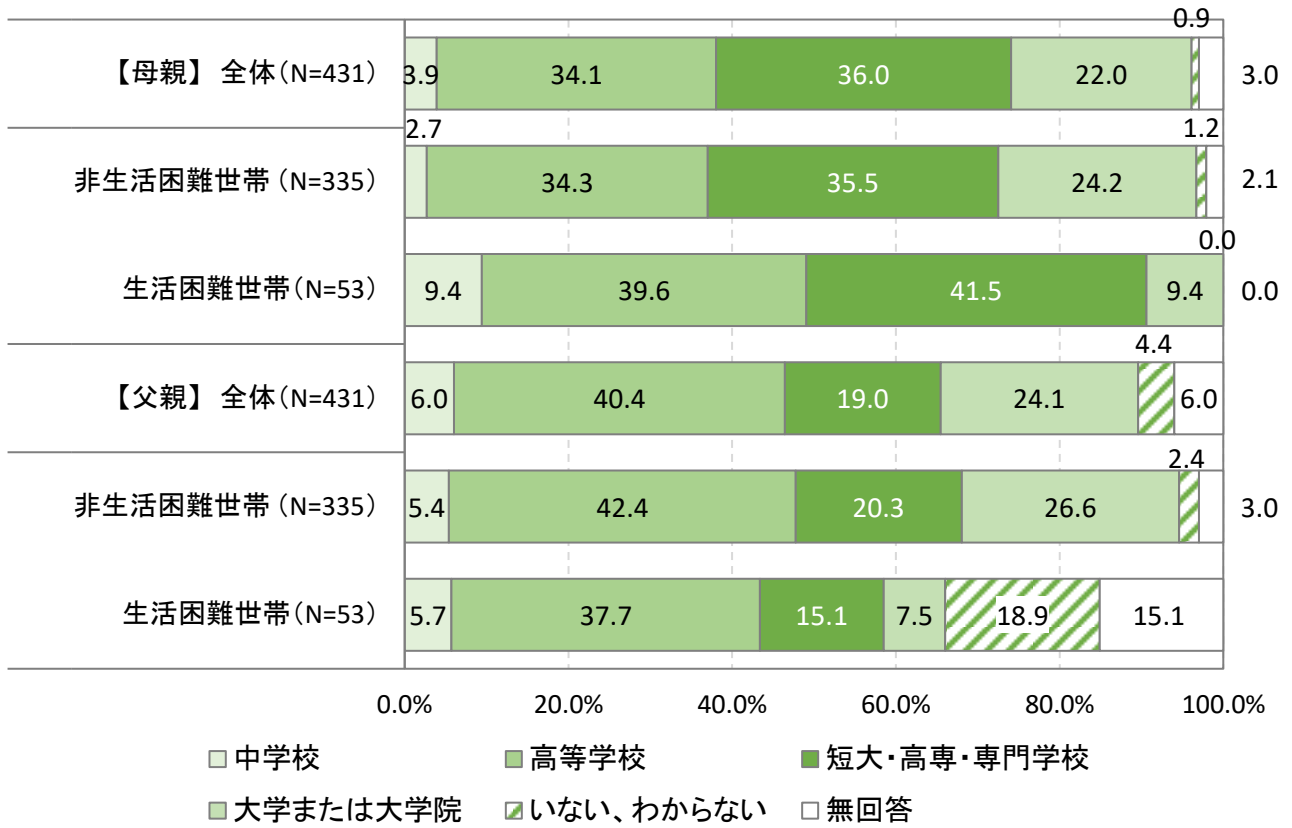
お子さんの親の最終学歴（卒業した学校）をお答えください。（あてはまる番号1つに○）【問6】

お子さんの親の最終学歴（卒業した学校）をみると、小学5年生・中学2年生ともに母親は「短大・高専・専門学校」、父親は「高等学校」が最も多く、世帯別も全体と同様の傾向となっています。

小学5年生保護者



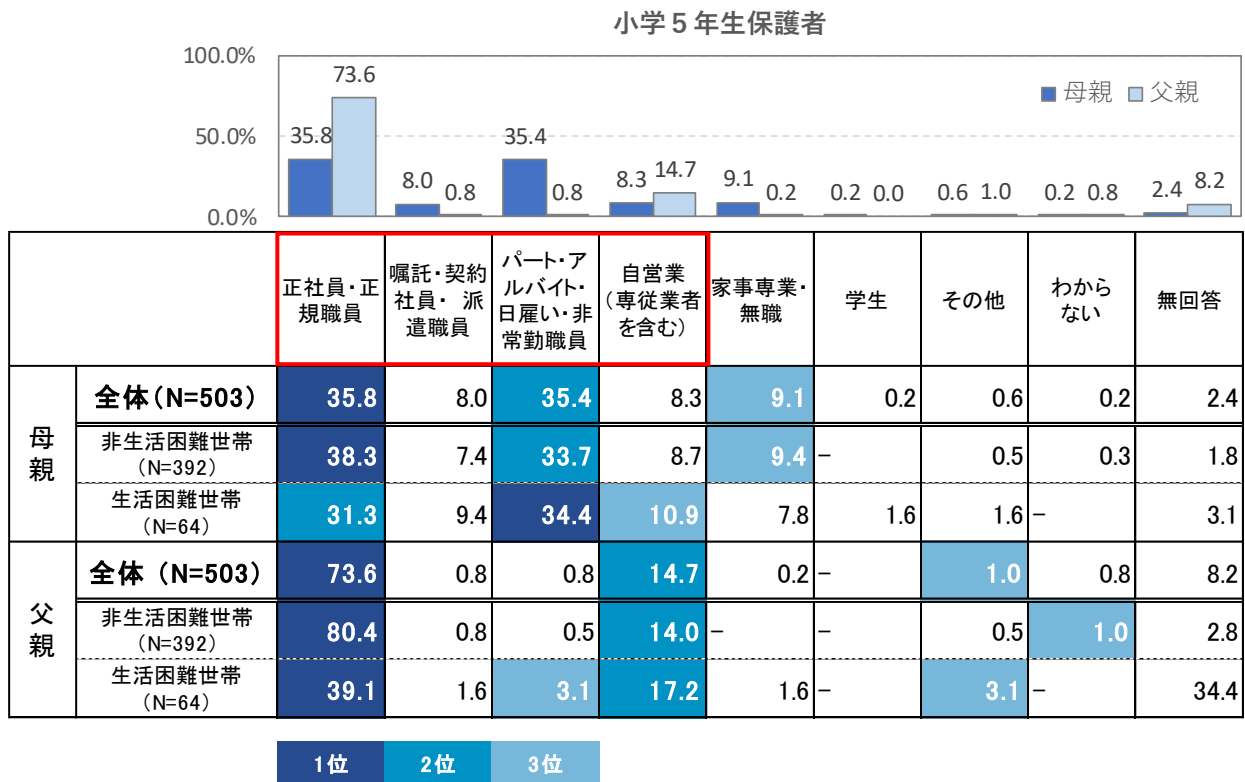
中学2年生保護者



お子さんの親の現在のご職業について、以下の選択肢から最も近いものをお選びください。
 (あてはまる番号1つに○)【問7 (1)】

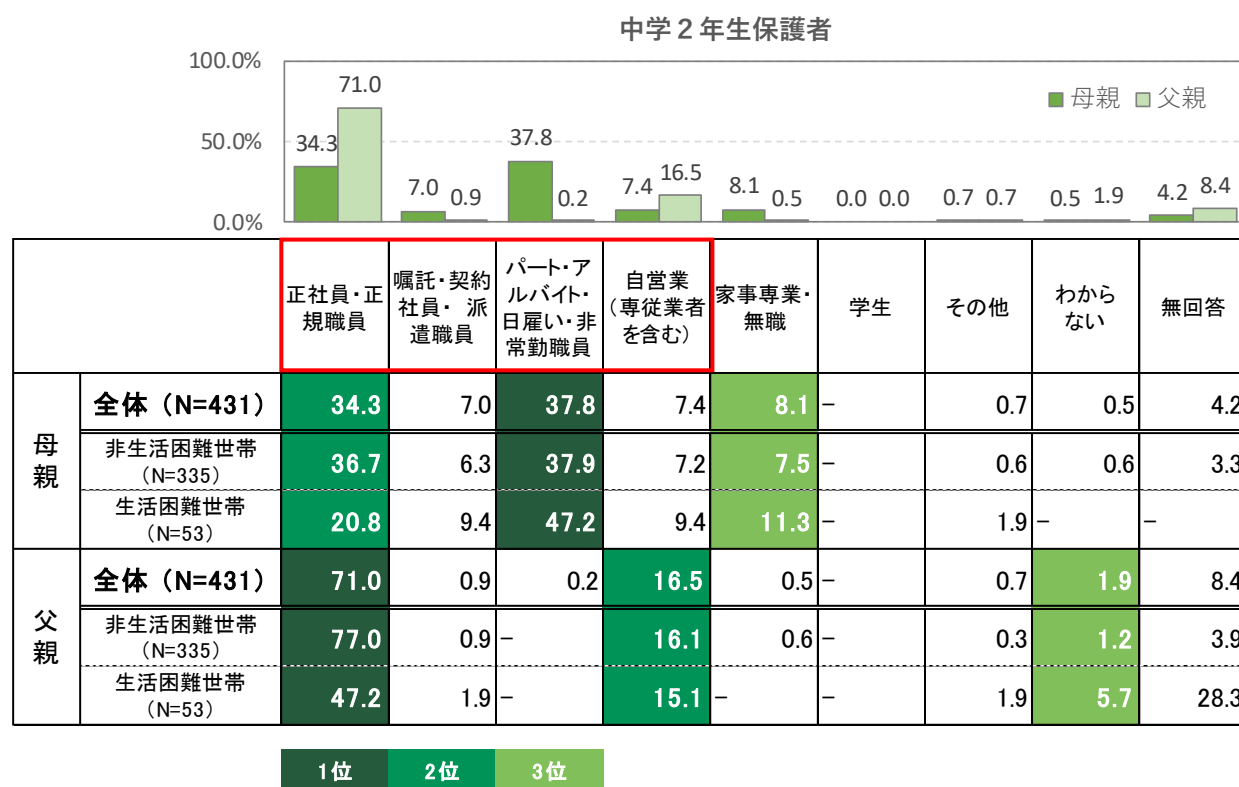
小学5年生の保護者の現在のご職業をみると、母親では「正社員・正規職員」と「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」がいずれも約35%に対し、父親は「正社員・正規職員」が73.6%と約7割を占めています。

現在のご職業を世帯別にみると、生活困難世帯の母親は「正社員・正規職員」が非生活困難世帯より7ポイント低くなっています。また、生活困難世帯の父親は「正社員・正規職員」が非生活困難世帯より約40ポイント低くなっています。



中学2年生の保護者の現在のご職業をみると、母親では「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が最も多く37.8%、次いで、「正社員・正規社員」が34.3%、父親では「正社員・正規社員」が71.0%で最も多くなっています。

現在の職業を世帯別にみると、生活困難世帯の母親は「正社員・正規職員」が非生活困難世帯より約16ポイント低く、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が約10ポイント高くなっています。また、生活困難世帯の父親は「正社員・正規社員」が非生活困難世帯より約30ポイント低くなっています。



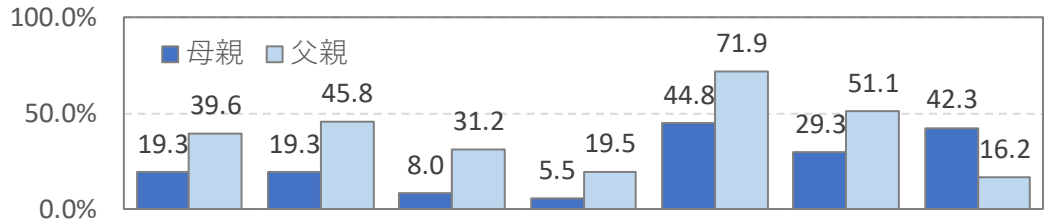
問7 (1) で現在のご職業について「1. 正社員・正規職員」～「4. 自営業」を選んだ方にうかがいます。

お子さんの①母親と②父親は、平日の日中以外の勤務もありますか。通勤時間も含めてお考えください。(あてはまる番号すべてに○)【問7 (2)】

「正社員・正規社員」「嘱託・契約社員・派遣職員」「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」「自営業 (専従業者を含む)」と答えた方に、平日の日中以外の勤務についてたずねると、小学5年生・中学2年生の母親・父親いずれも「土曜出勤」が最も多く、次いで、母親は「平日の日中以外の勤務はない」、父親は「日曜・祝日出勤」が多くなっています。

世帯別も全体と同様の傾向となっており、大きな差は見られませんでした。

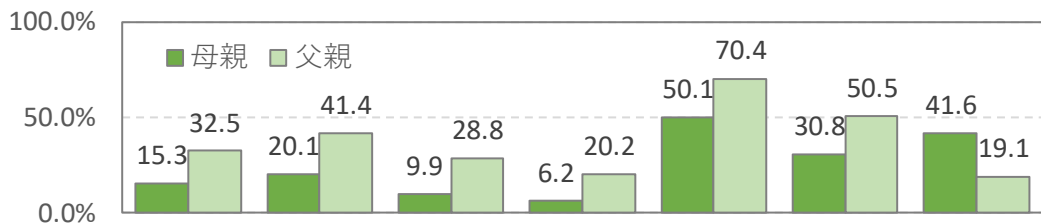
小学5年生保護者



		早朝 (5~8時)	18~20時の勤務	夜勤 (20~22時)	深夜 (22~5時)	土曜出勤	日曜・祝日出勤	平日の日中以外の勤務はない
母親	全体 (N=440)	19.3	19.3	8.0	5.5	44.8	29.3	42.3
	非生活困難世帯 (N=345)	20.0	22.6	9.6	6.4	44.9	31.0	42.0
	生活困難世帯 (N=55)	25.5	9.1	-	1.8	45.5	25.5	43.6
父親	全体 (N=452)	39.6	45.8	31.2	19.5	71.9	51.1	16.2
	非生活困難世帯 (N=375)	39.2	46.9	32.3	20.3	72.5	51.7	17.1
	生活困難世帯 (N=39)	38.5	35.9	20.5	10.3	66.7	46.2	12.8

1位 2位 3位

中学2年生保護者



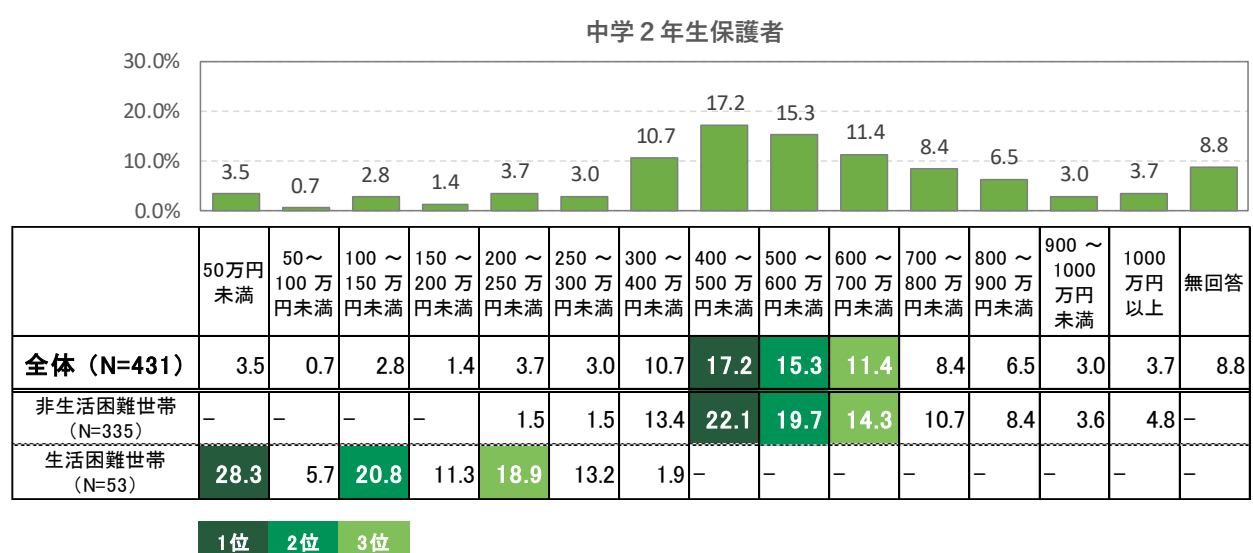
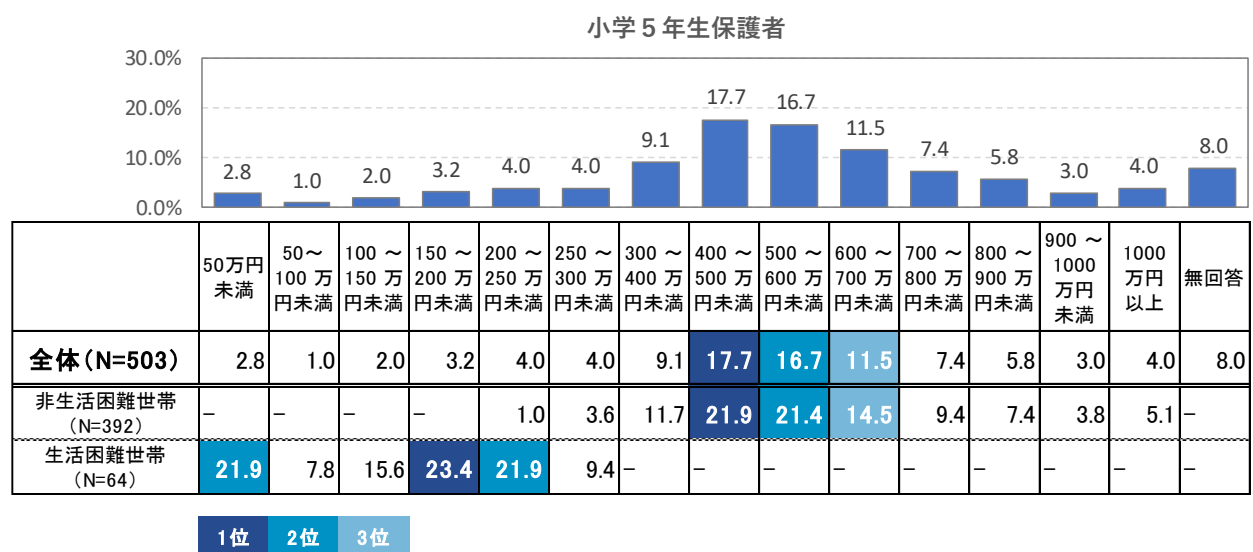
		早朝 (5~8時)	18~20時の勤務	夜勤 (20~22時)	深夜 (22~5時)	土曜出勤	日曜・祝日出勤	平日の日中以外の勤務はない
母親	全体 (N=373)	15.3	20.1	9.9	6.2	50.1	30.8	41.6
	非生活困難世帯 (N=295)	15.9	20.7	9.5	6.4	50.2	32.2	41.4
	生活困難世帯 (N=46)	15.2	23.9	15.2	6.5	52.2	34.8	45.7
父親	全体 (N=382)	32.5	41.4	28.8	20.2	70.4	50.5	19.1
	非生活困難世帯 (N=315)	34.3	41.9	29.5	21.9	72.4	51.1	17.1
	生活困難世帯 (N=34)	26.5	38.2	32.4	17.6	61.8	50.0	29.4

1位 2位 3位

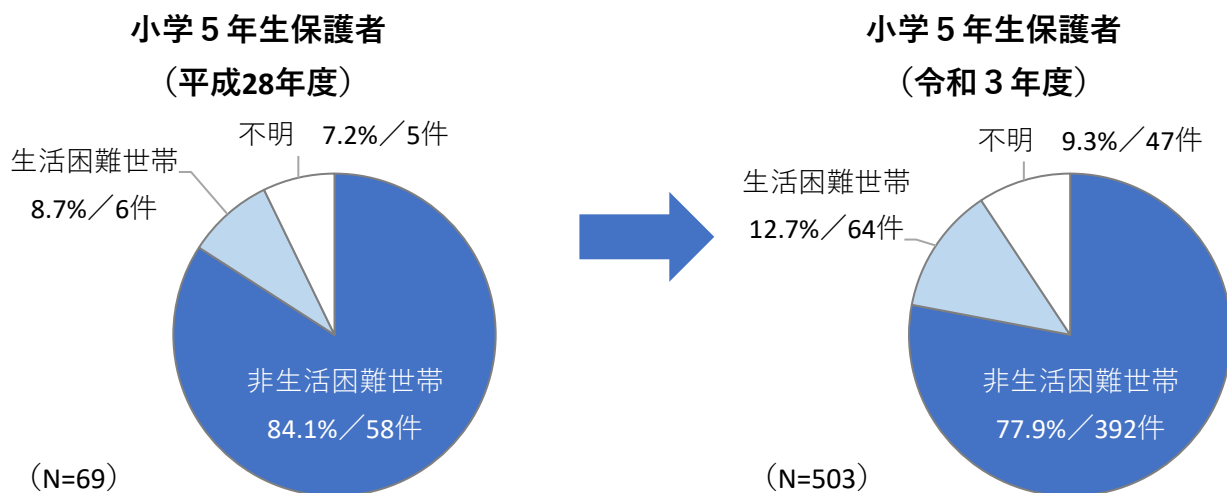
ご家族全員の収入（手取り額）を合わせた「世帯の年収（手取り額）」のおおよその額についてお答えください。（あてはまる番号1つに○）【問8】

世帯の年収（手取り額）のおおよその額をみると、小学5年生の保護者・中学2年生の保護者ともに、「400～500万円未満」が最も多く、次いで、「500～600万円未満」「600～700万円未満」となっています。

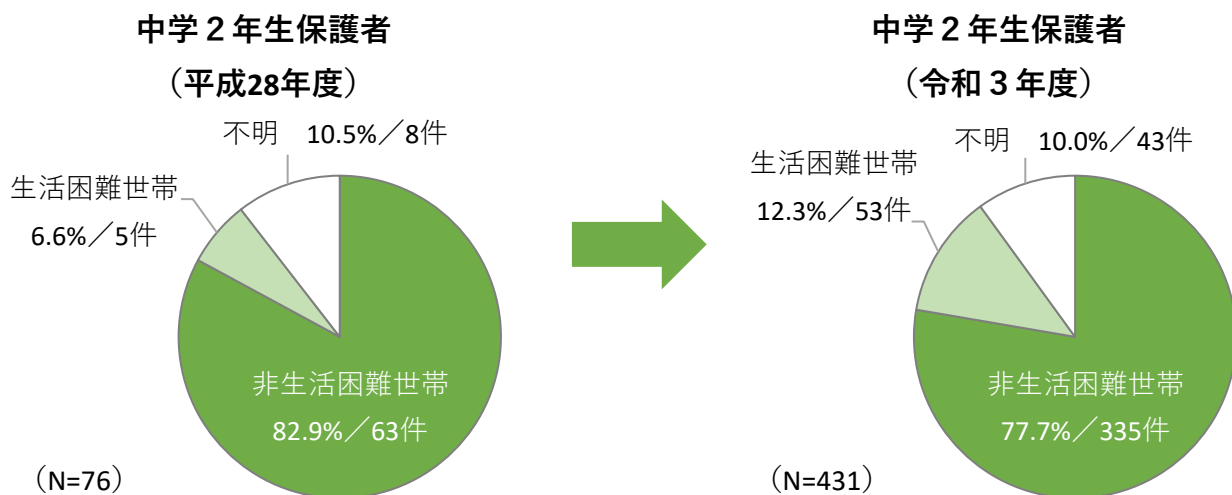
世帯別では、小学5年生の生活困難世帯は「150～200万円未満」が最も多く、次いで、「50万円未満」「200～250万円未満」が同率、中学2年生の生活困難世帯は「50万円未満」が最も多く、次いで、「100～150万円未満」「200～250万円未満」となっています。



生活困難世帯は、小学 5 年生の保護者の 12.7%、中学 2 年生の保護者の 12.3% を占めています。平成 28 年度に香川県が「子どもの未来応援アンケート調査」を実施しましたが、三豊市の調査母数が少なく、貧困線も異なるため（122 万円→127 万円）、今回の調査との比較は行っていません。



※次頁以降の非生活困難世帯・生活困難世帯別のグラフでは「不明 (N=47)」を除いて表示していません。



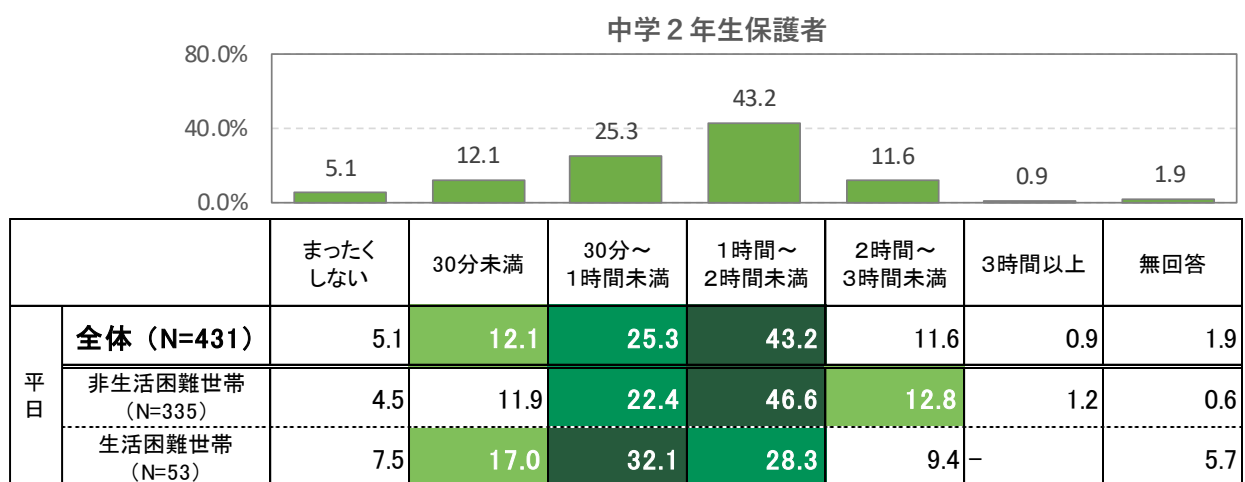
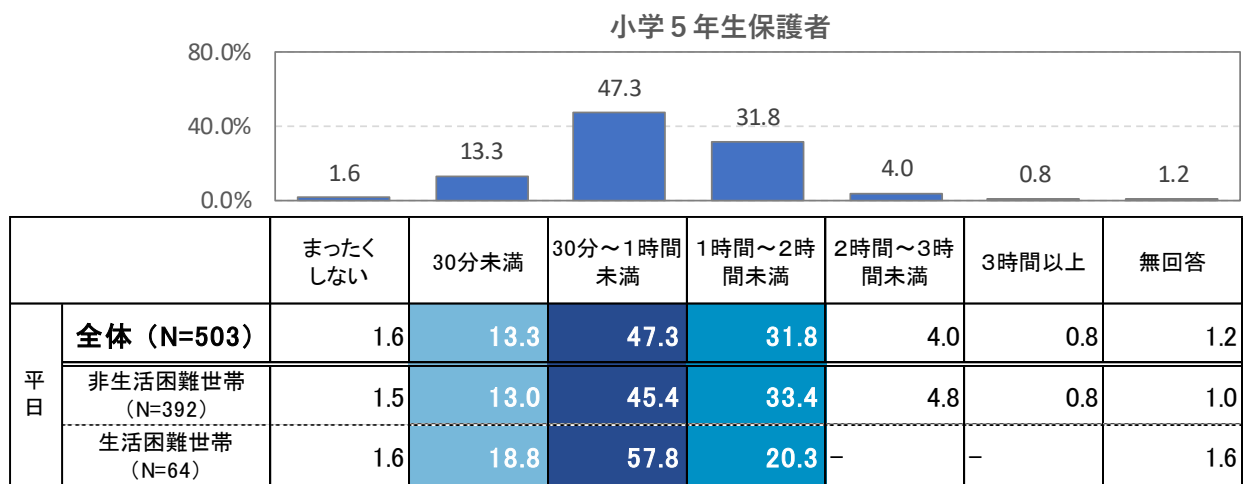
※次頁以降の非生活困難世帯・生活困難世帯別のグラフでは「不明 (N=43)」を除いて表示していません。

(3) お子さんのことについて

学校がある日（平日）、お子さんは学校の授業以外に、1日あたりどのくらいの時間勉強をしますか。※学校の宿題をする時間や、学習塾などでの勉強時間も含まれます。（あてはまる番号1つに○）【問9】

お子さんの学校の授業以外の勉強時間をみると、小学5年生は「30分～1時間未満」が47.3%と最も多く、次いで、「1時間～2時間未満」31.8%、「30分未満」13.3%となっています。中学2年生は「1時間～2時間未満」が43.2%と最も多く、次いで、「30分～1時間未満」25.3%、「30分未満」12.1%となっています。

世帯別にみると、中学2年生の非生活困難世帯では勉強時間が「30分未満（「まったくしない」「30分未満）」と答えた方は16.4%、生活困難世帯では24.5%と8.1ポイント差となっています。



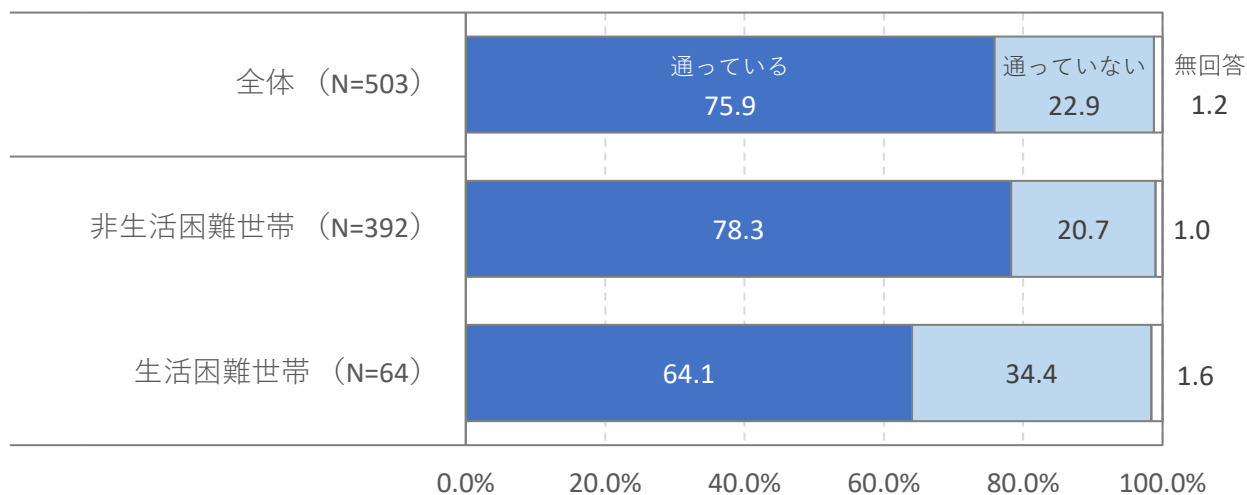
お子さんは、学習塾や習い事（音楽、スポーツなど）に通っていますか。

（あてはまる番号1つに○）【問10】

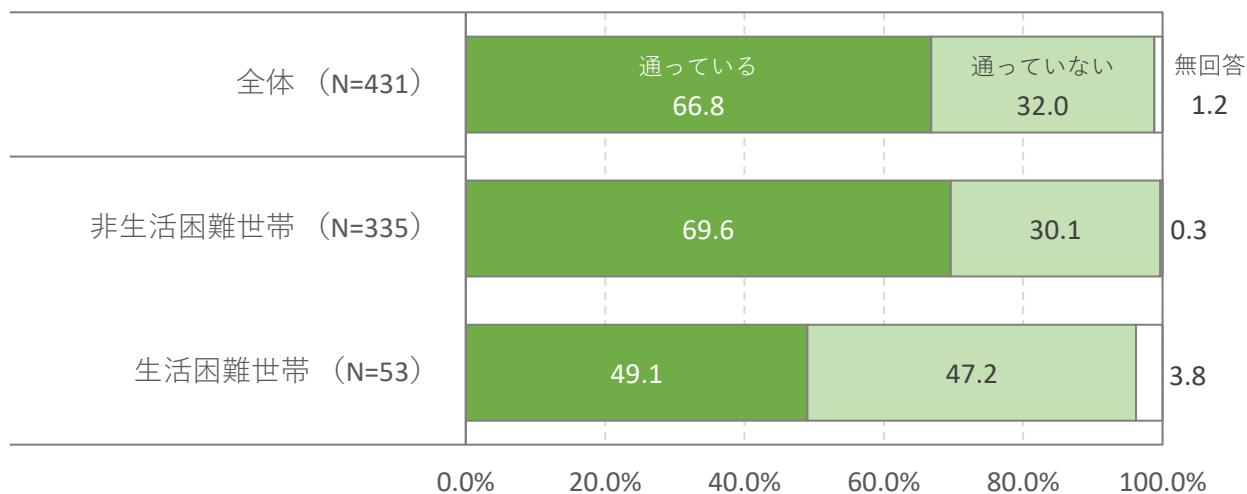
お子さんの学習塾や習い事（音楽、スポーツなど）をみると、小学5年生・中学2年生ともに「通っている」が最も多く、「通っている」は中学2年生より小学5年生に多くなっています。

世帯別にみると、小学5年生・中学2年生ともに生活困難世帯は「通っている」が非生活困難世帯に比べて少なくなっています。

小学5年生保護者



中学2年生保護者



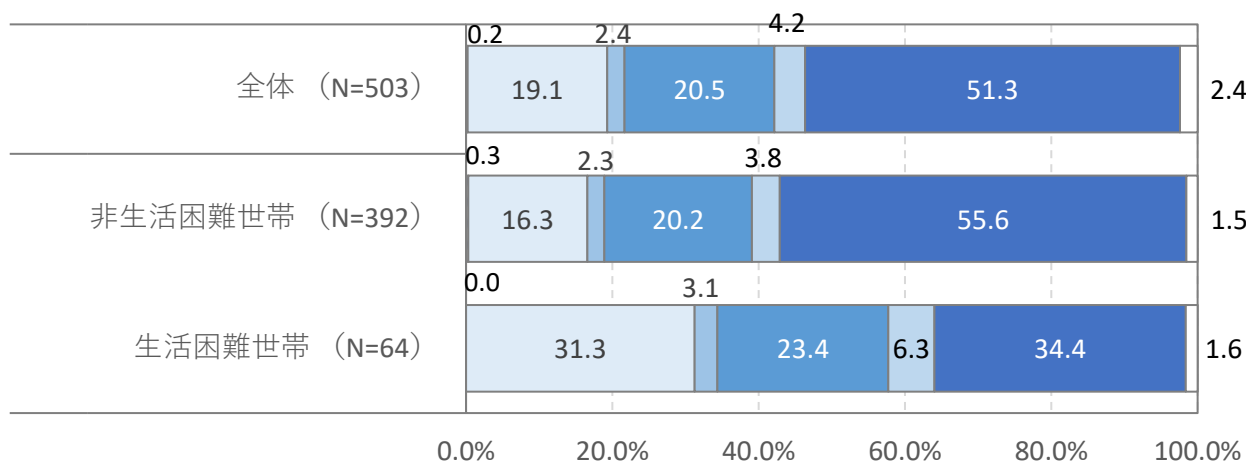
希望としては、お子さんを将来どの段階まで進学させたいと思いますか。

(あてはまる番号1つに○) 【問 11】

お子さんを将来どの段階まで進学させたいと思うかをみると、小学5年生の保護者・中学2年生の保護者ともに「大学・大学院」が約半数と最も多くなっています。

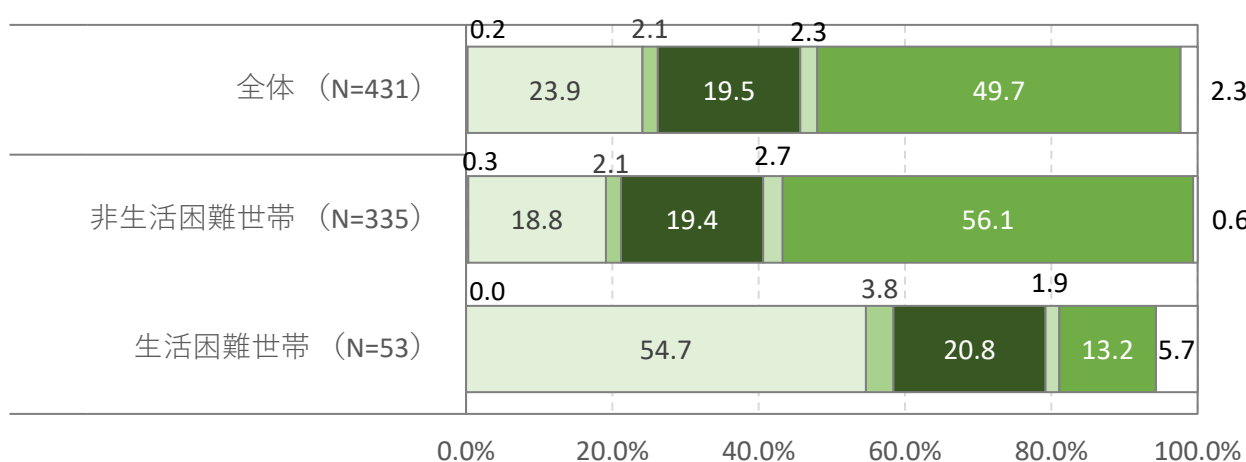
世帯別にみると、生活困難世帯は非生活困難世帯に比べて「高等学校」の割合が高くなっており、特に中学2年生では54.7%と半数以上を占めています。

小学5年生保護者



- 中学校
- 高等学校
- 高等専門学校 (高専)
- 専門学校 (専修学校、各種学校)
- 短期大学
- 大学または大学院
- 無回答

中学2年生保護者

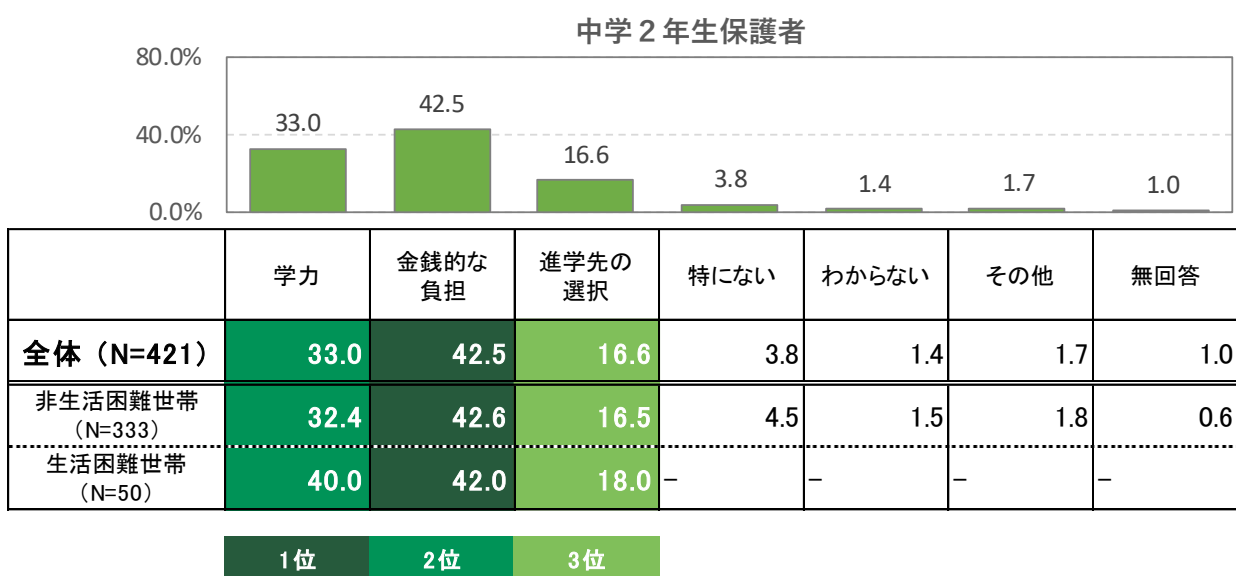
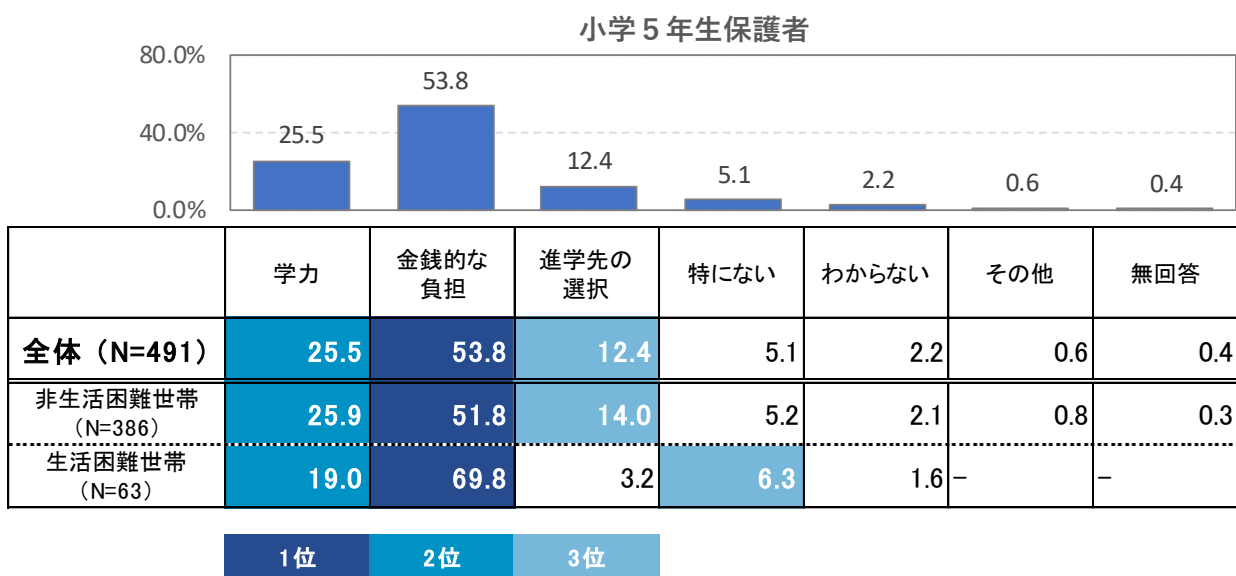


- 中学校
- 高等学校
- 高等専門学校 (高専)
- 専門学校 (専修学校、各種学校)
- 短期大学
- 大学または大学院
- 無回答

問 11 で選んだ学校に進学させる際、もっとも心配なことは何ですか。
 (あてはまる番号1つに○) 【問 12】

学校に進学させる際、もっとも心配なことをみると、小学5年生の保護者・中学2年生の保護者ともに「金銭的な負担」が最も多くなっています。

世帯別にみると、小学5年生の生活困難世帯は「金銭的な負担」が69.8%と多く、非生活困難世帯と比べて10ポイント以上高くなっています。また、中学2年生の生活困難世帯は「金銭的な負担」に加え、「学力」も約4割と多くなっています。



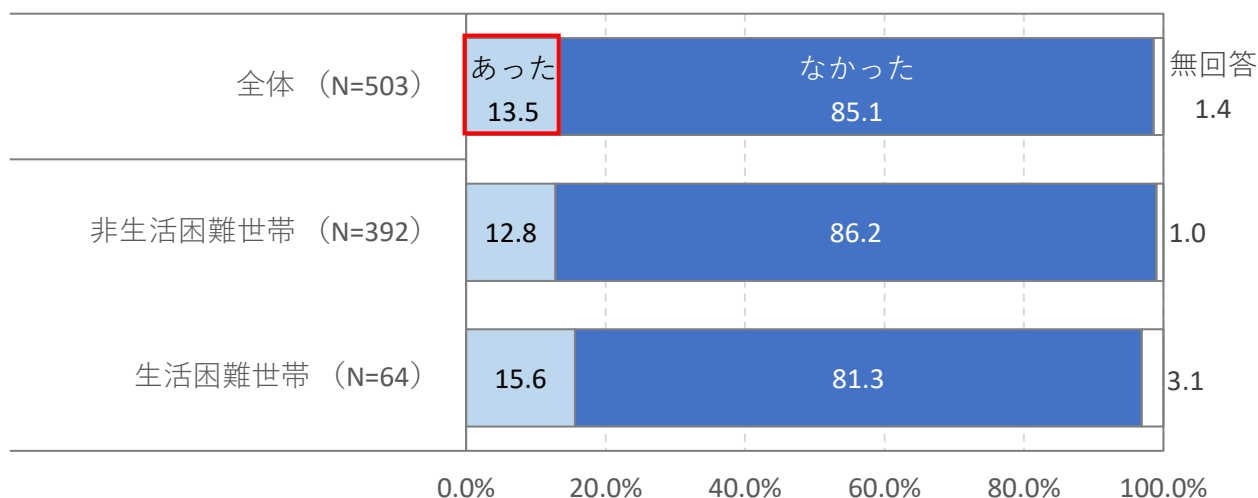
(4) お子さんの健康状態について

過去1年間に、お子さんを医療機関で受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかったことがありましたか。(あてはまる番号1つに○)【問13(1)】

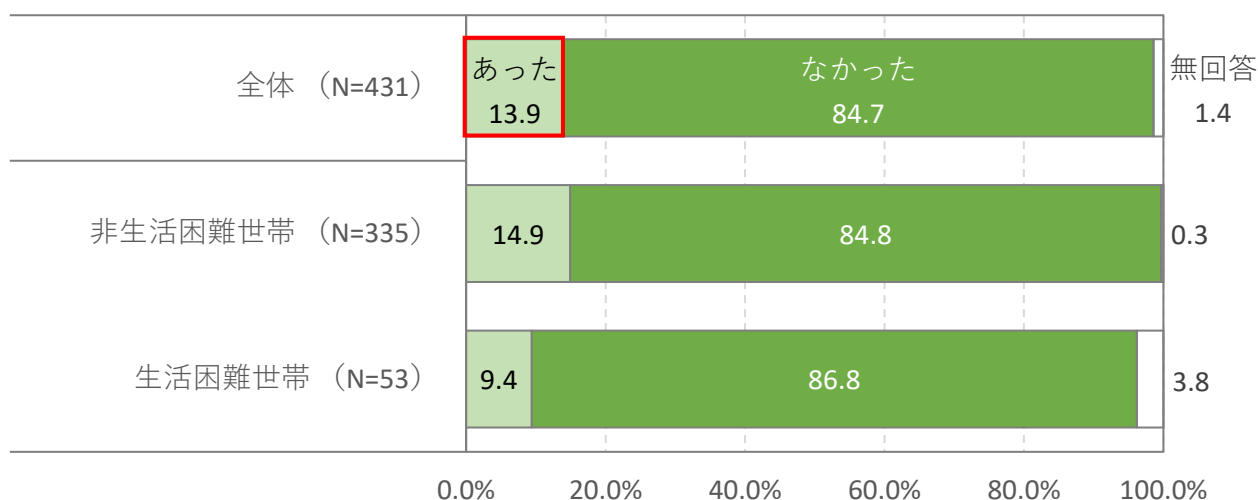
お子さんを医療機関に受診させなかったことの有無をみると、小学5年生の保護者・中学2年生の保護者ともに「なかった」が最も多く、8割以上を占めています。

世帯別に「あった」と答えた方をみると、小学5年生の保護者では生活困難世帯、中学2年生では非生活困難世帯に多くなっていますが、大きな差は見られませんでした。

小学5年生保護者



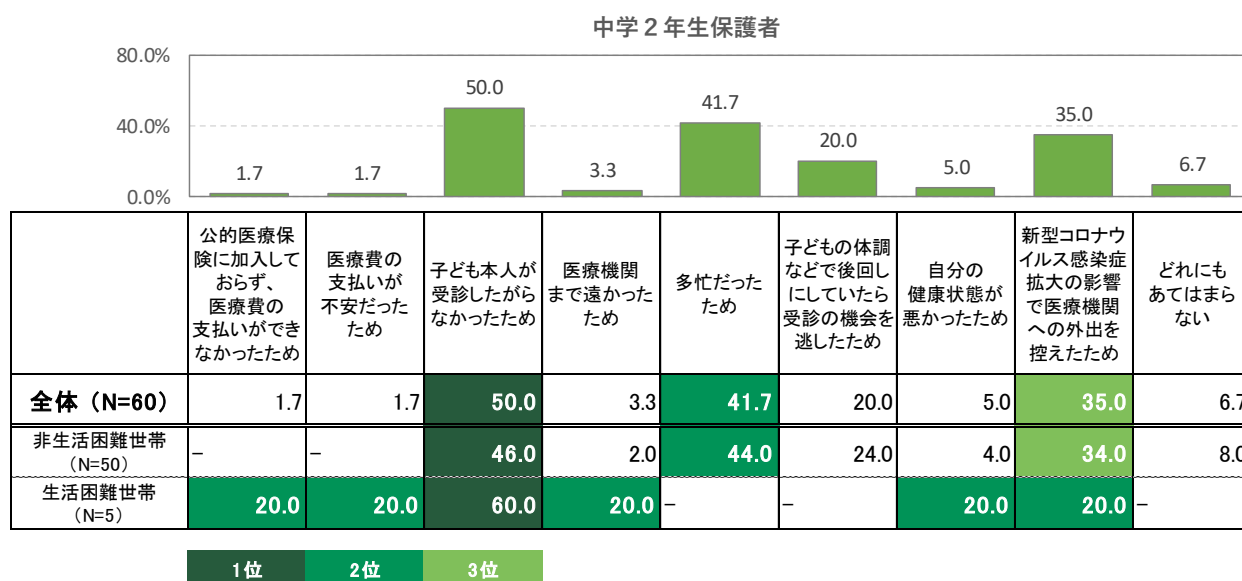
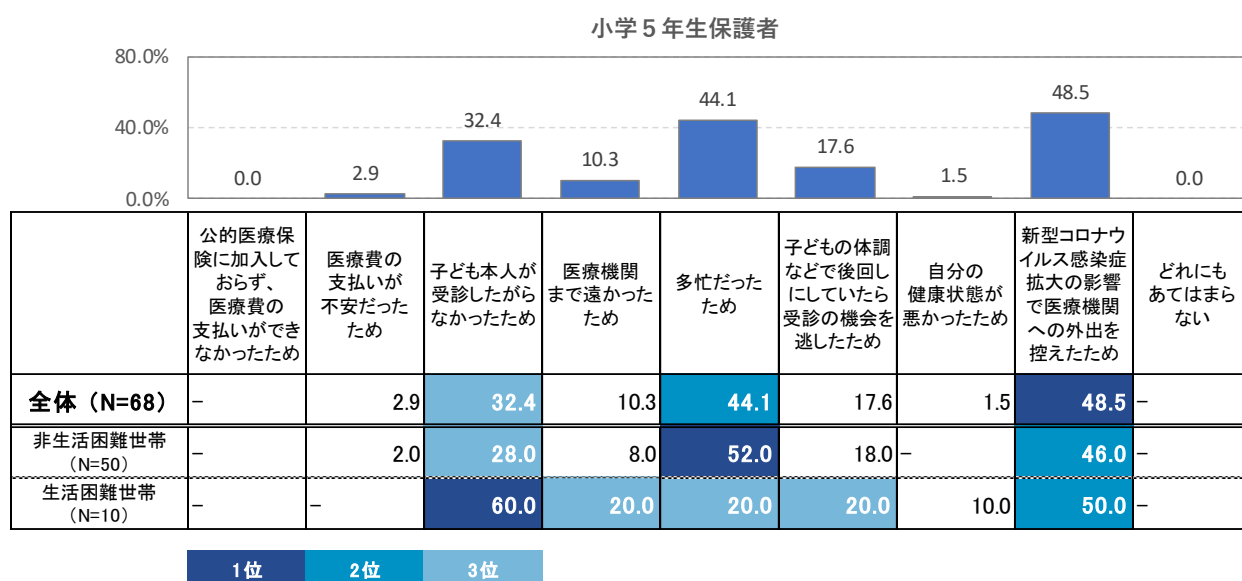
中学2年生保護者



問13(1)で「1. あった」を選んだ方にうかがいます。

その理由は、何ですか。以下の中からお選びください。(あてはまる番号すべてに○)【問13(2)】

お子さんを医療機関に受診させなかったことが「あった」と答えた方に、医療機関を受診しなかった理由をたずねると、小学5年生の保護者は「新型コロナウイルス感染症拡大の影響で医療機関への外出を控えたため」48.5%が最も多く、次いで、「多忙だったため」44.1%、「子ども本人が受診しなかったため」32.4%の順に多くなっています。中学2年生の保護者は「子ども本人が受診しなかったため」50.0%が最も多く、次いで、「多忙だったため」41.7%、「新型コロナウイルス感染症拡大の影響で医療機関への外出を控えたため」35.0%の順に多くなっています。

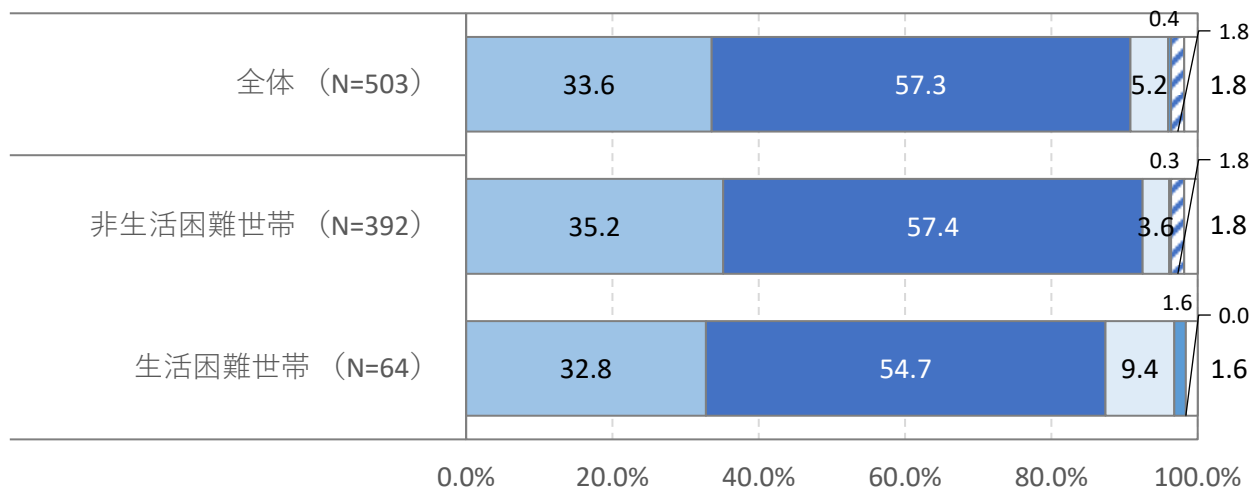


お子さんにはむし歯がありますか。(あてはまる番号1つに○)【問14】

お子さんのむし歯の有無をみると、小学5年生は「あるが、すべて治療中または治療済」57.3%、中学2年生は「まったくない」43.4%が最も多くなっています。

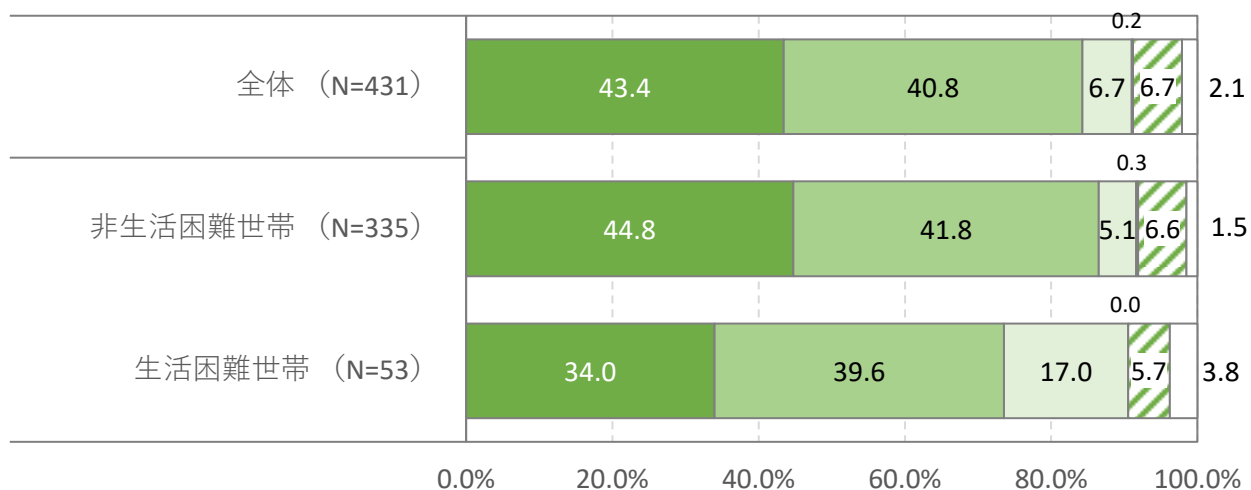
世帯別にみても同様の結果となっていますが、むし歯がある方は小学5年生・中学2年生ともに、非生活困難世帯より生活困難世帯に多くなっています。

小学5年生保護者



- まったくない
- あるが、すべて治療中または治療済
- 治療していないむし歯が1～3本ある
- 治療していないむし歯が4本以上ある
- わからない
- 無回答

中学2年生保護者



- まったくない
- あるが、すべて治療中または治療済
- 治療していないむし歯が1～3本ある
- 治療していないむし歯が4本以上ある
- わからない
- 無回答

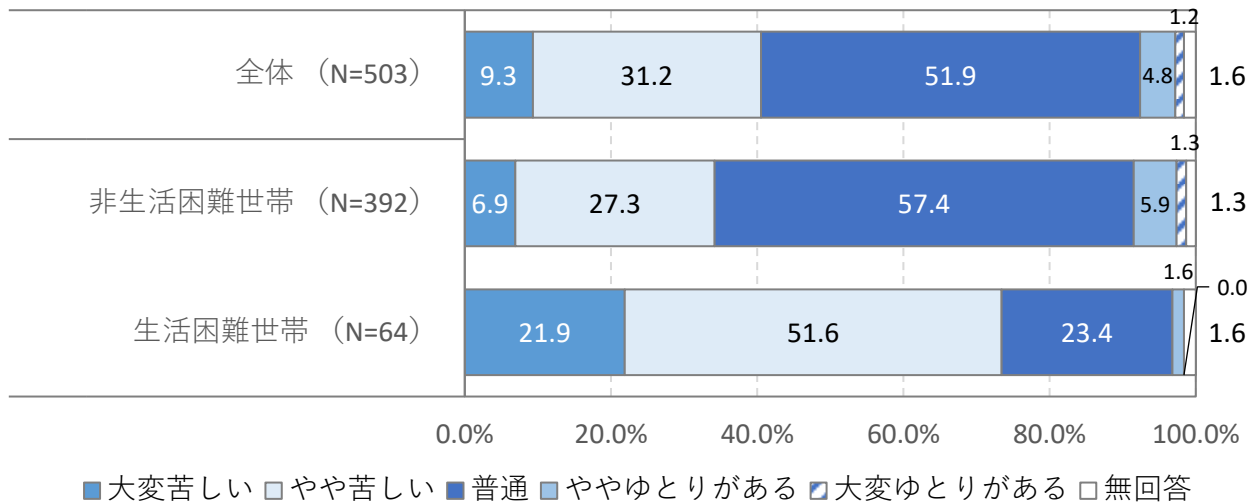
(5) ご家庭の経済状況について

現在の暮らしの状況を総合的にみて、どう感じていますか。(あてはまる番号1つに○)【問15】

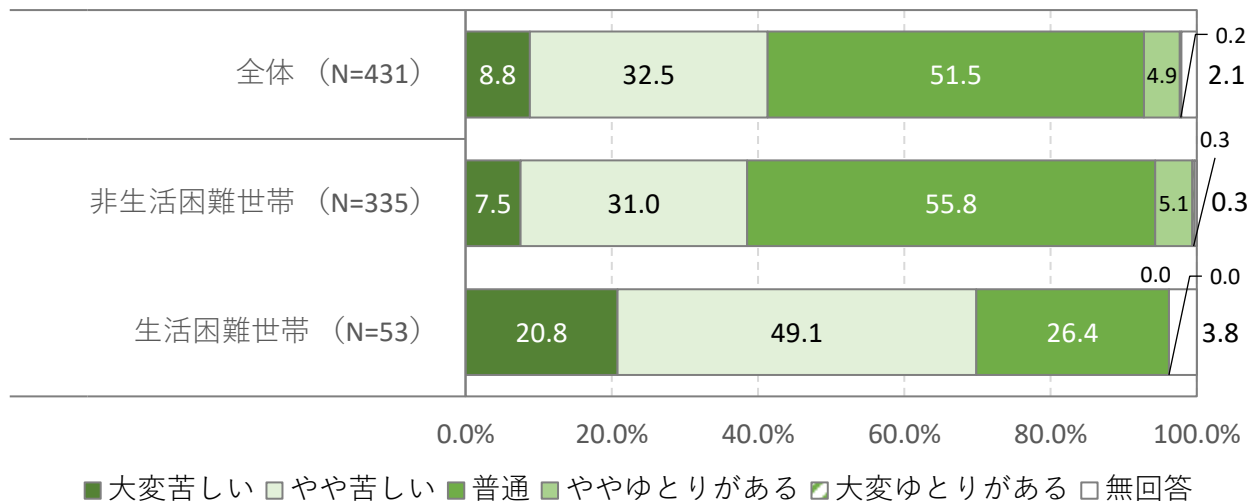
現在の暮らしの状況をみると、小学5年生の保護者・中学2年生の保護者ともに「普通」が最も多く、半数以上を占めています。

世帯別にみても、生活困難世帯は小学5年生の保護者・中学2年生の保護者ともに「やや苦しい」が最も多く、約半数を占めています。「大変苦しい」は非生活困難世帯より生活困難世帯が10ポイント以上高くなっています。

小学5年生保護者



中学2年生保護者

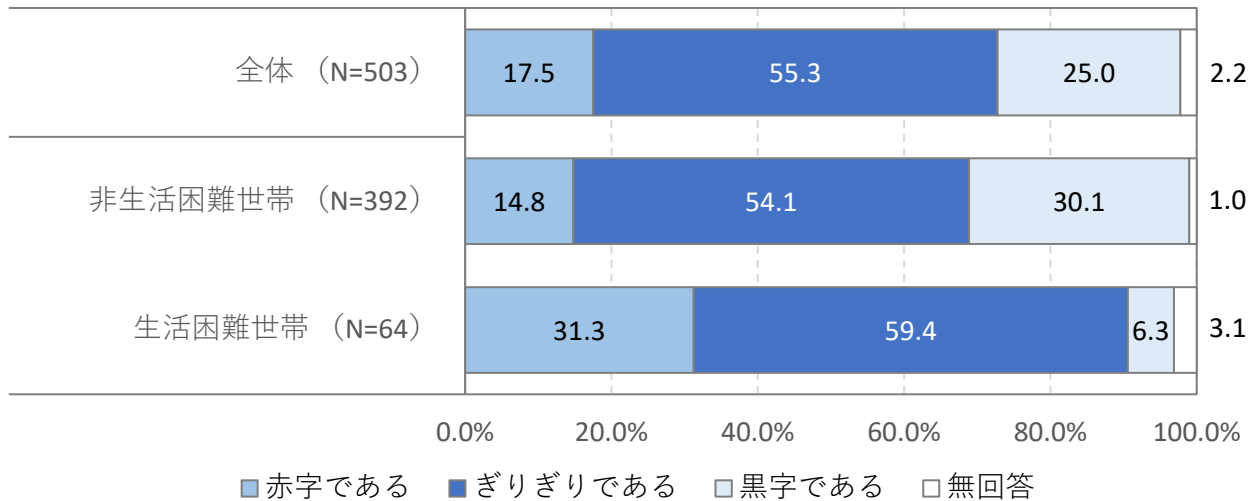


ご家庭の家計について、もっとも近いものをお答えください。(あてはまる番号1つに○)【問16】

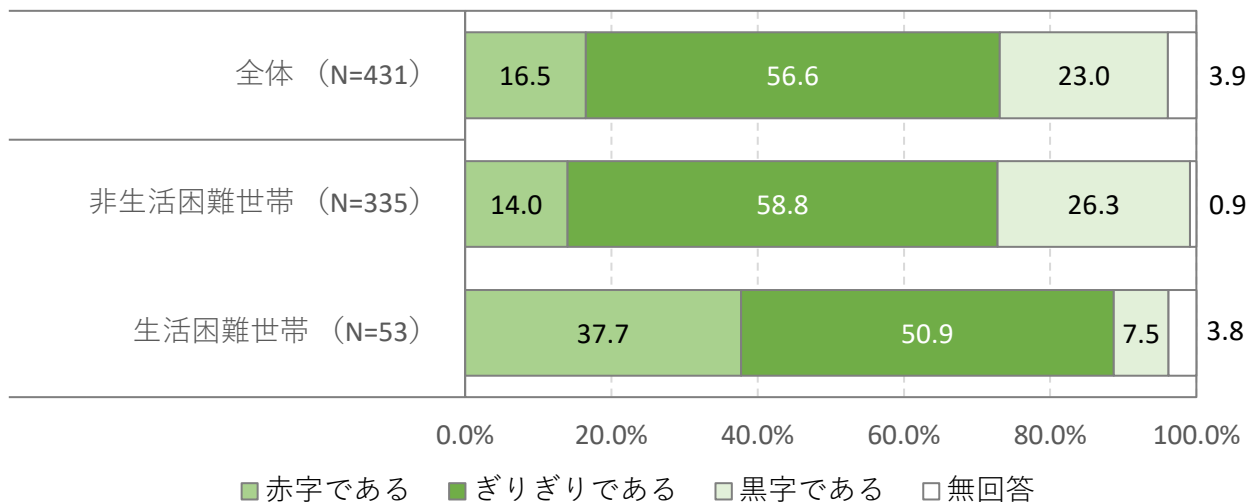
ご家庭の家計の状況をみると、小学5年生の保護者・中学2年生の保護者ともに「ぎりぎりである」が最も多く、半数以上を占めています。

世帯別にみると、生活困難世帯は小学5年生・中学2年生ともに「赤字である」が非生活困難世帯より多くなっており、3割以上を占めています。

小学5年生保護者



中学2年生保護者

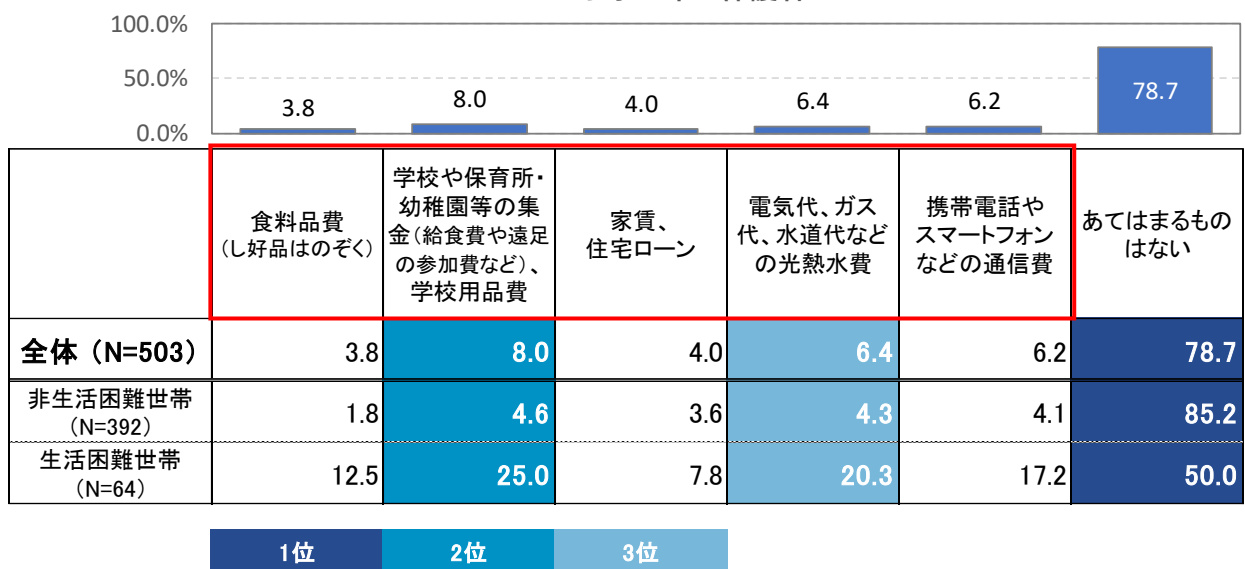


あなたのご家庭では、過去1年の間に、必要なものが買えなかったことや、支払いが遅れたり、支払いができなかったものはありますか。(あてはまる番号すべてに○)【問17(1)】

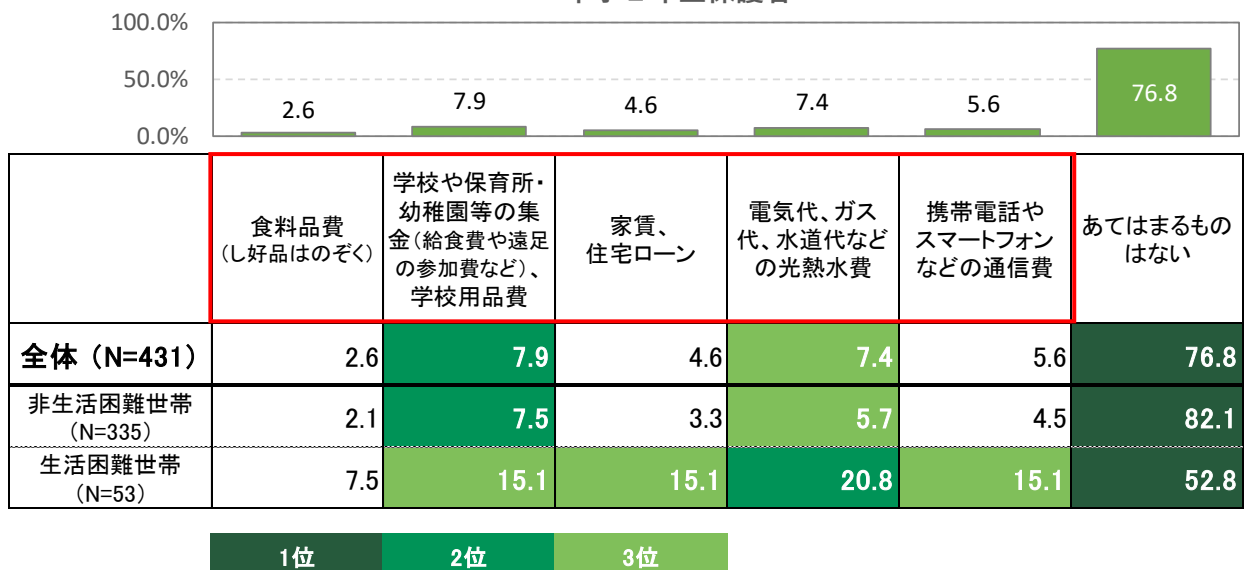
過去1年の間に、必要なものが買えなかったことや、支払いが遅れたり、支払いができなかったものは、小学5年生の保護者・中学2年生の保護者ともに「学校や保育所・幼稚園等の集金(給食費や遠足の参加費など)、学校用品費」が多くなっていますが、いずれも10%未満となっています。

世帯別にみると、小学5年生の保護者・中学2年生の保護者ともにすべての項目で非生活困難世帯に比べて生活困難世帯の割合が高くなっています。特に、小学5年生の保護者では「学校や保育所・幼稚園等の集金(給食費や遠足の参加費など)、学校用品費」、中学2年生の保護者では「電気代、ガス代、水道代などの光熱水費」の割合が高くなっています。

小学5年生保護者



中学2年生保護者

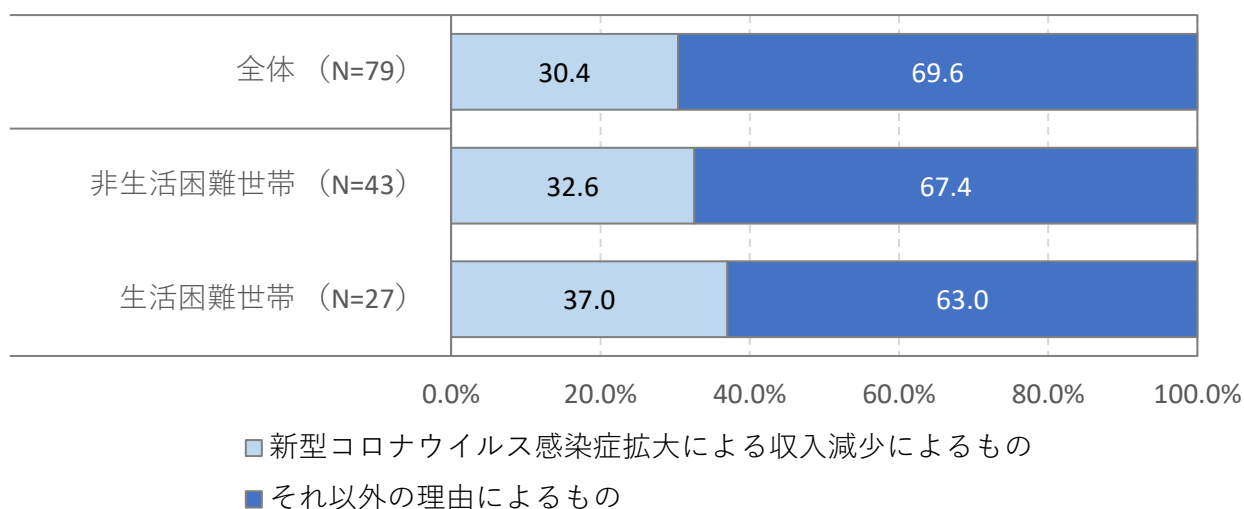


問17(1)で「1.食料品費」～「5.携帯電話やスマートフォンなどの通信費」のいずれかを選んだ方にうかがいます。

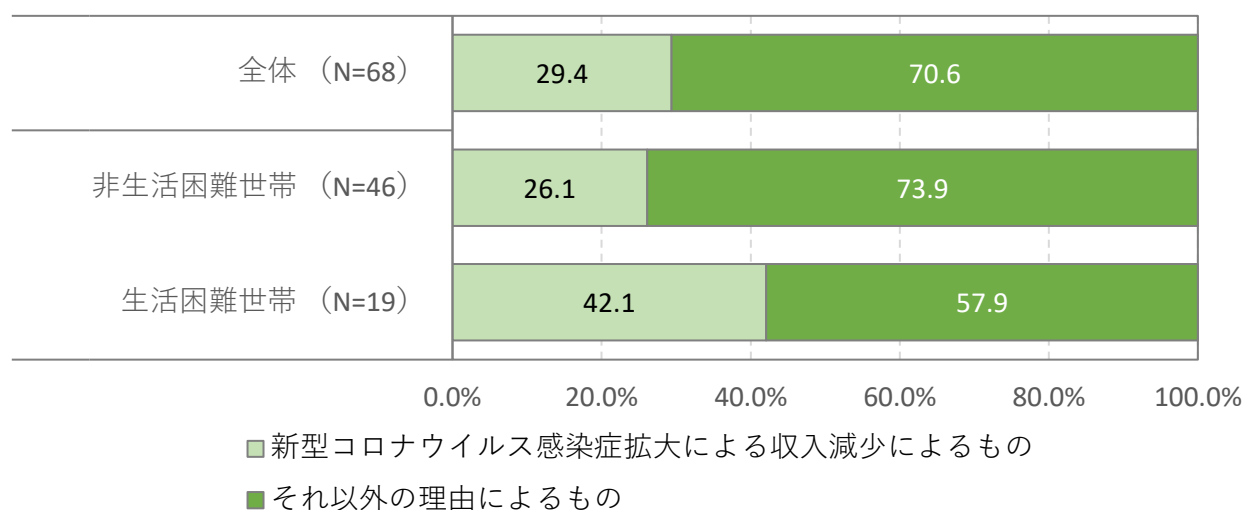
上記のような料金等が支払えないことがあったのは、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う収入減少によるものですか。(あてはまる番号1つに○)【問17(2)】

料金等が支払えなかったことがあった理由をみると、生活困難世帯では非生活困難世帯に比べて、「新型コロナウイルス感染症拡大による収入減少によるもの」が多くなっています。

小学5年生保護者



中学2年生保護者

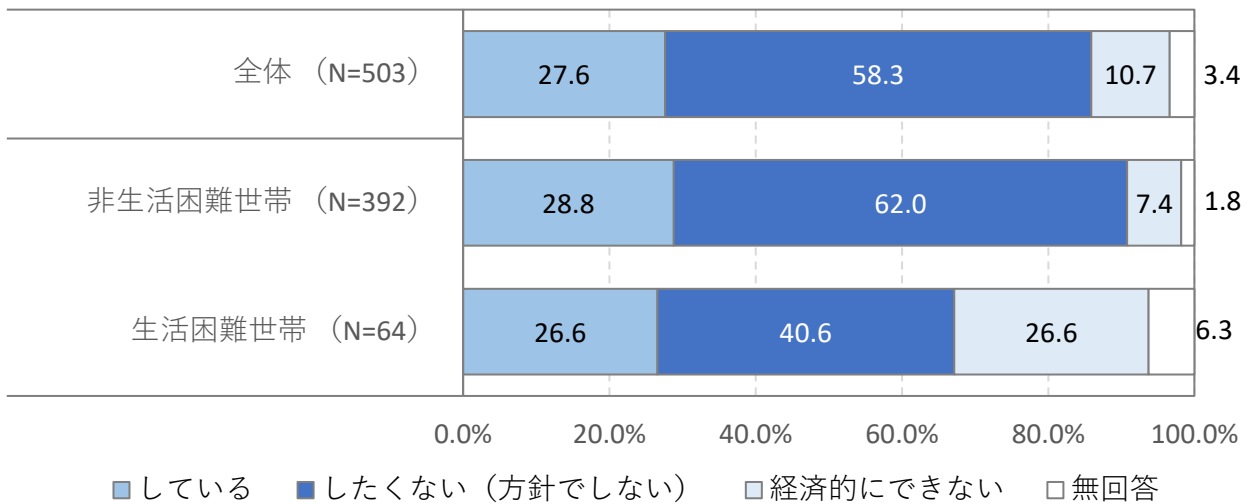


あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。AからIについて、「1. している」「2. していないが、したくない（方針でしない）」「3. していないが、経済的にできない」のうち、あてはまるものに○をつけてください。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）【問18】

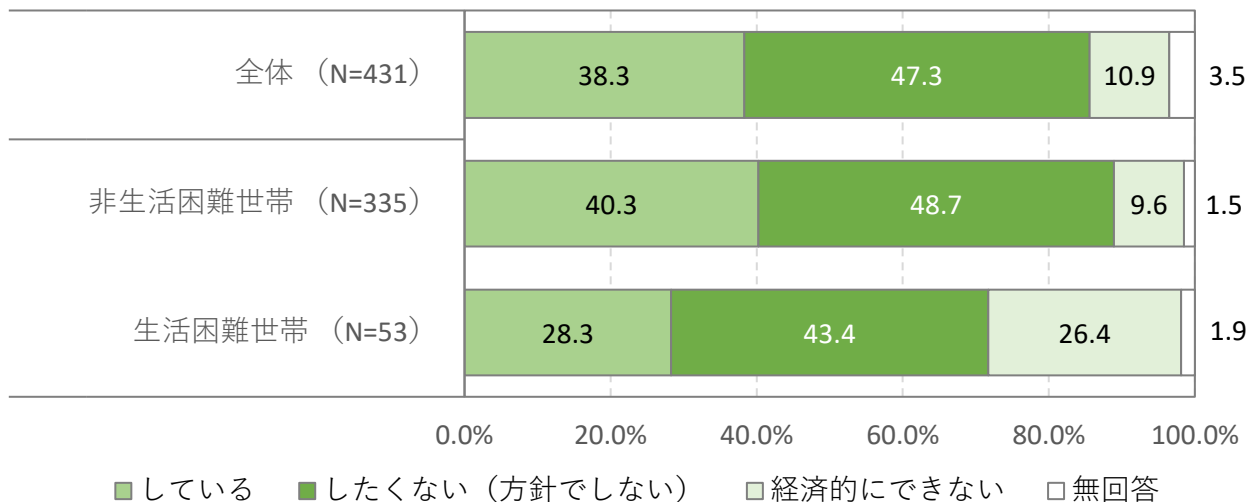
【A 毎月おこづかいを渡す】

毎月おこづかいを渡すことが「経済的にできない」と答えた方は、小学5年生の保護者では約20ポイント、中学2年生の保護者では約15ポイント、非生活困難世帯より生活困難世帯の割合が高くなっています。

小学5年生保護者



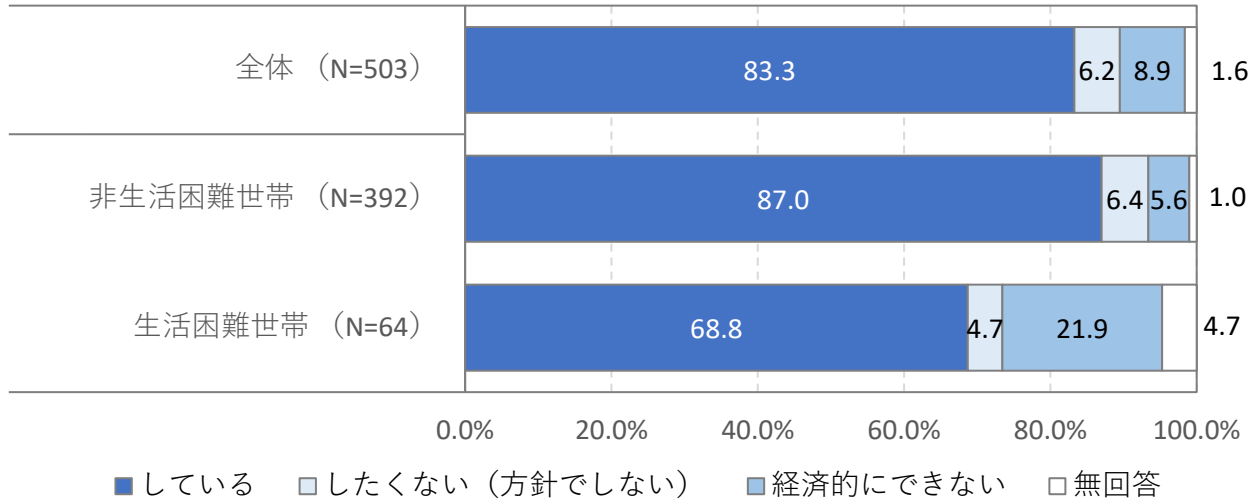
中学2年生保護者



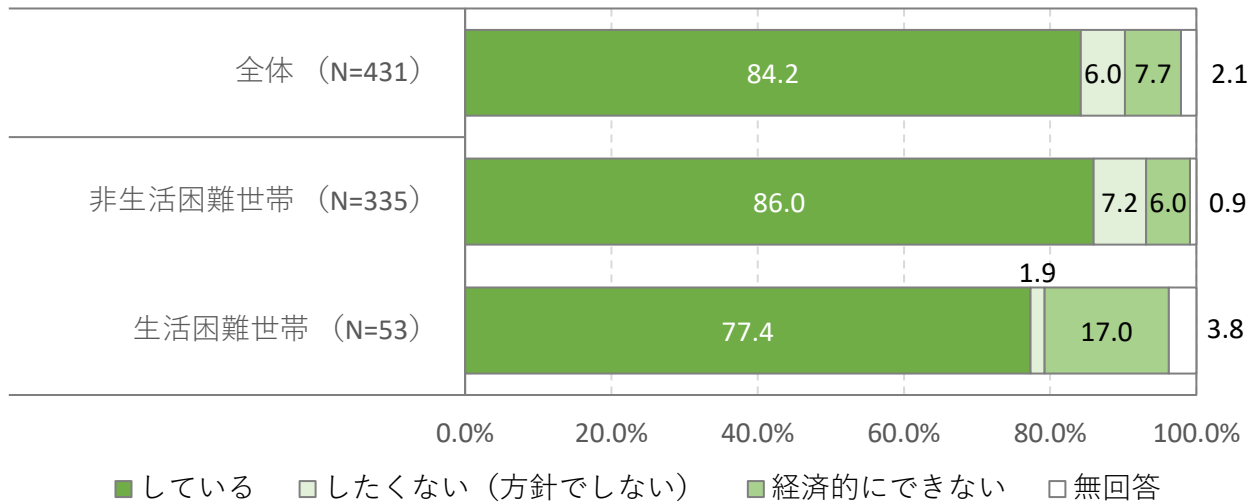
【B 毎年新しい洋服・靴を買う】

毎年新しい洋服・靴を買うことが「経済的にできない」と答えた方は、小学5年生の保護者では約15ポイント、中学2年生の保護者では約10ポイント、非生活困難世帯より生活困難世帯の割合が高くなっています。

小学5年生保護者



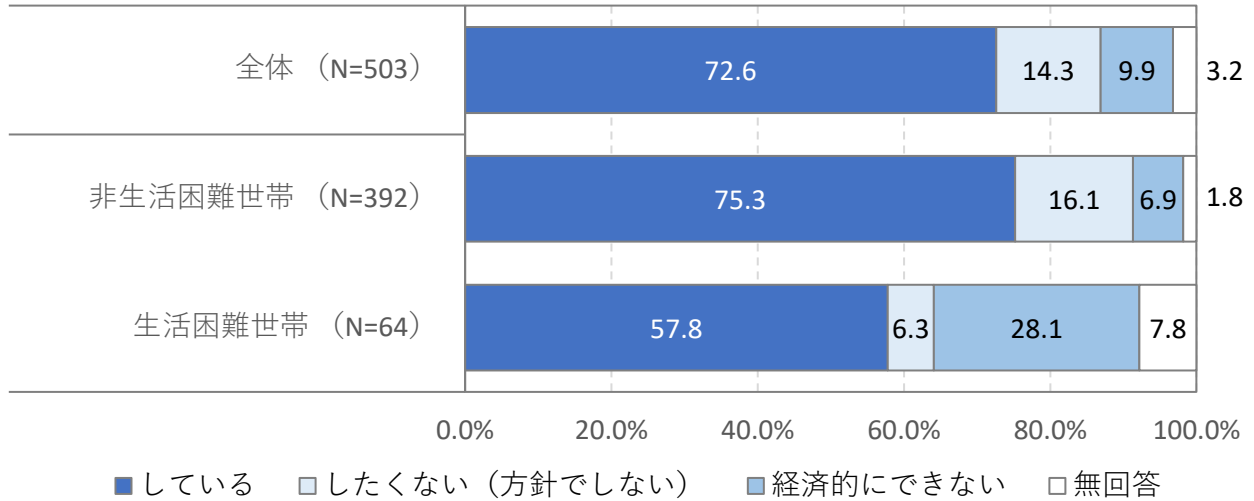
中学2年生保護者



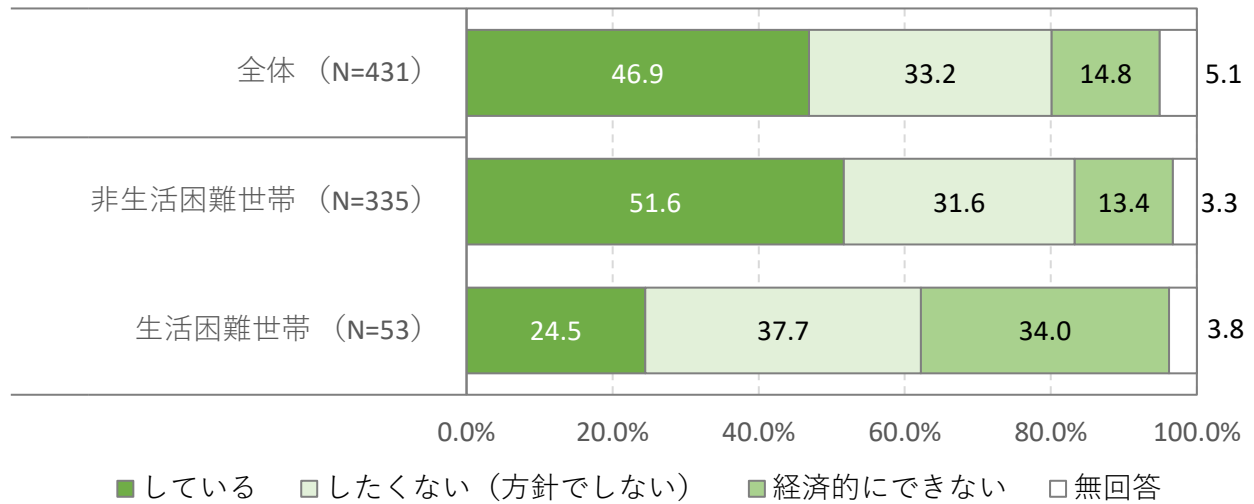
【C 習い事（音楽、スポーツなど）に通わせる】

習い事（音楽、スポーツなど）に通わせることが「経済的にできない」と答えた方は、小学5年生の保護者・中学2年生の保護者ともに約20ポイント、非生活困難世帯より生活困難世帯の割合が高くなっています。

小学5年生保護者



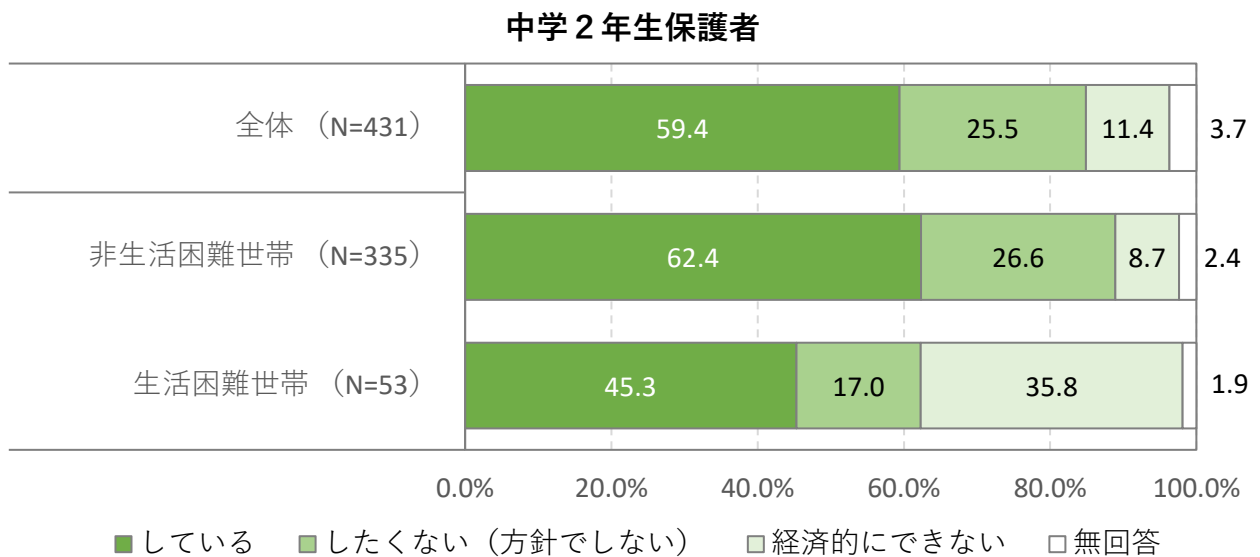
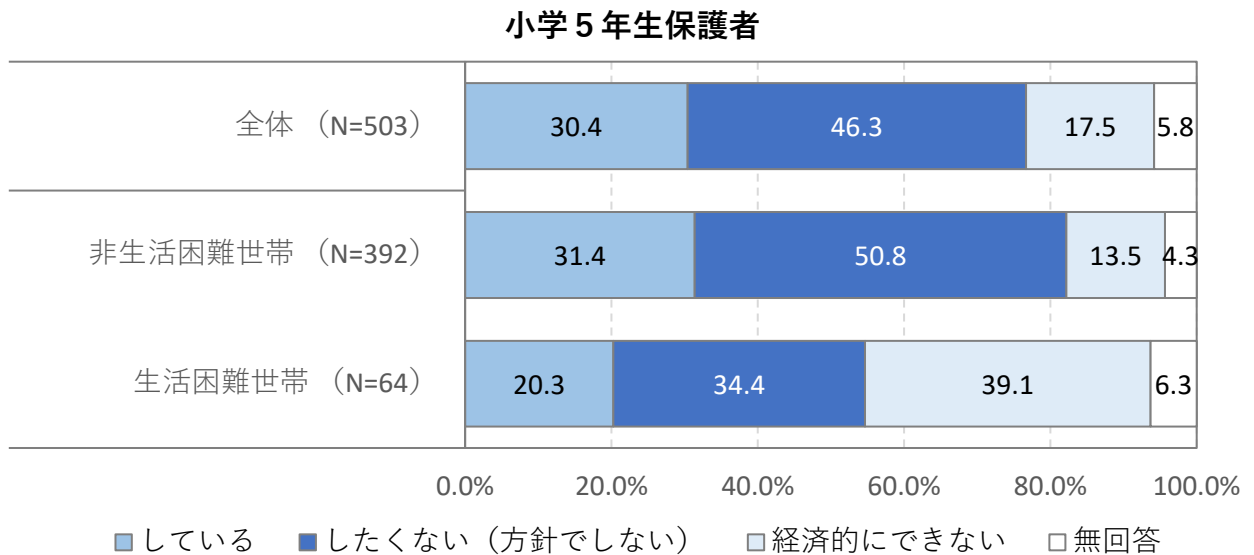
中学2年生保護者



【D 学習塾に通わせる】

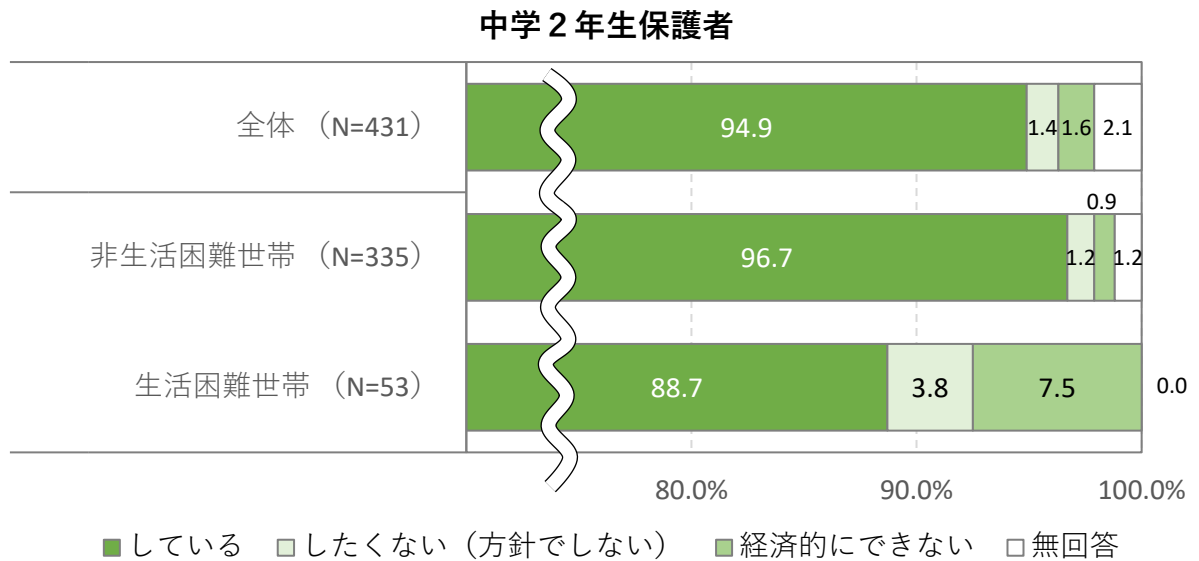
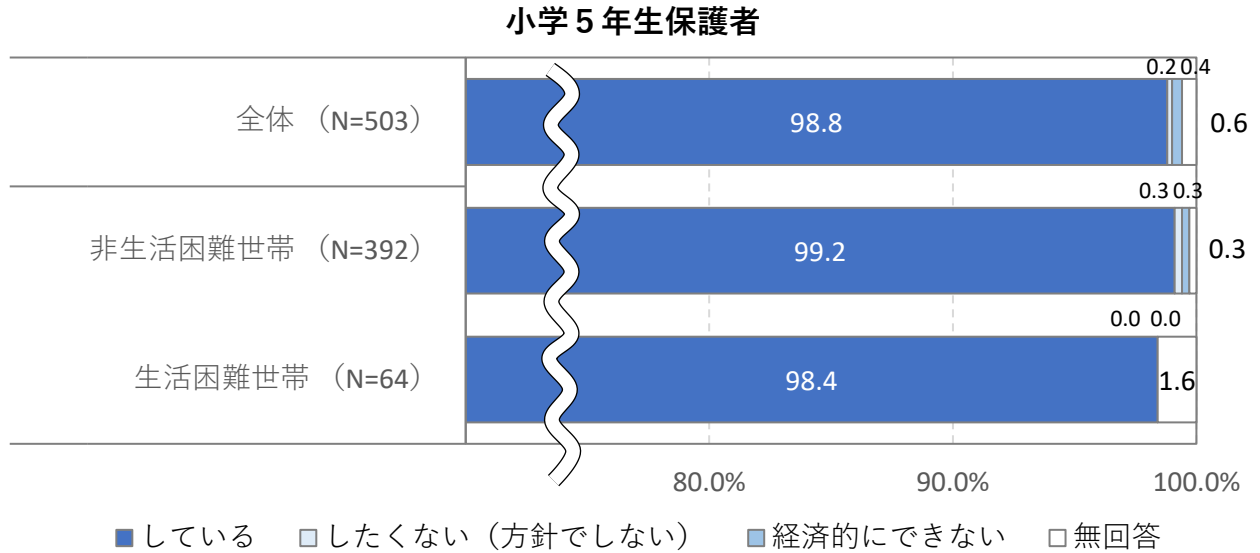
学習塾に通わせることが「経済的にできない」と答えた方は、小学5年生の保護者・中学2年生の保護者ともに約25ポイント、非生活困難世帯より生活困難世帯の割合が高くなっています。

また、小学5年生の保護者は中学2年生の保護者に比べて「したくない（方針でしない）」が多くなっています。



【E 誕生日のお祝いをする】

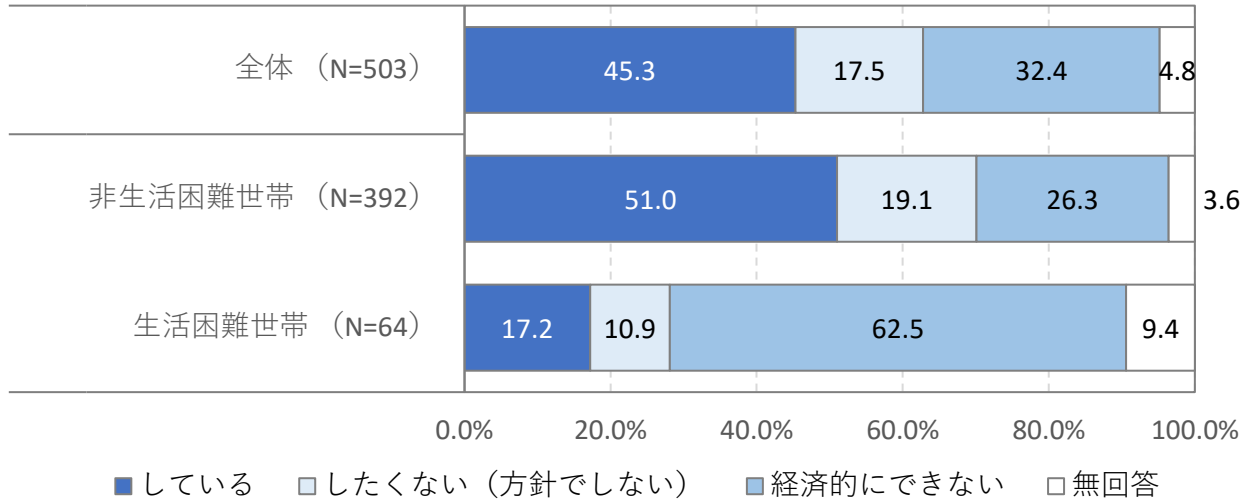
誕生日のお祝いをする事が「経済的にできない」と答えた方は、生活困難世帯の中学2年生の保護者で7.5%を占めています。



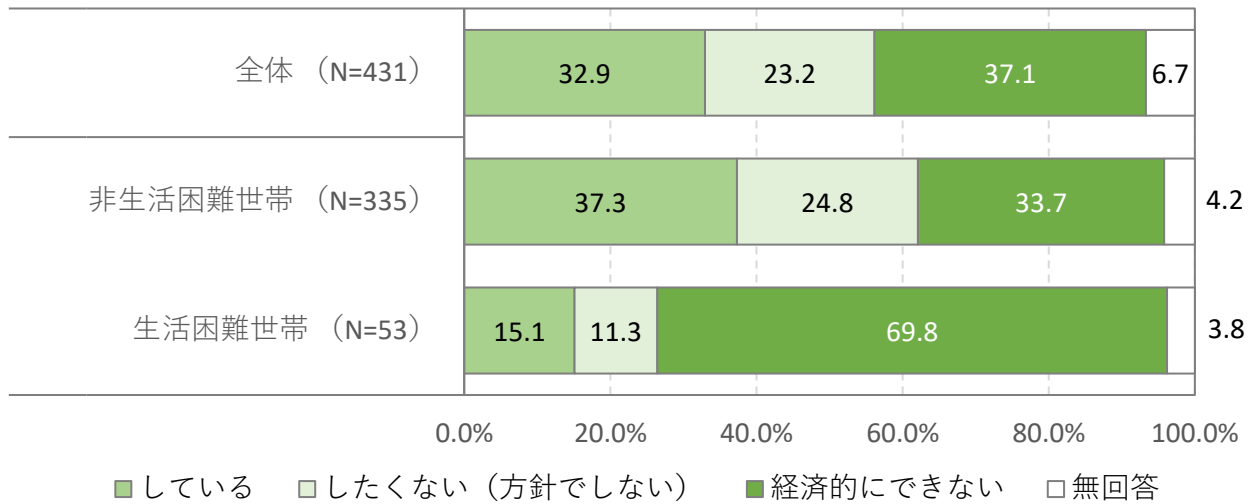
【F 1年に1回程度家族旅行に行く】

1年に1回程度家族旅行に行くことが「経済的にできない」と答えた方は、小学5年生の保護者・中学2年生の保護者ともに約35ポイント、非生活困難世帯より生活困難世帯の割合が高くなっています。

小学5年生保護者

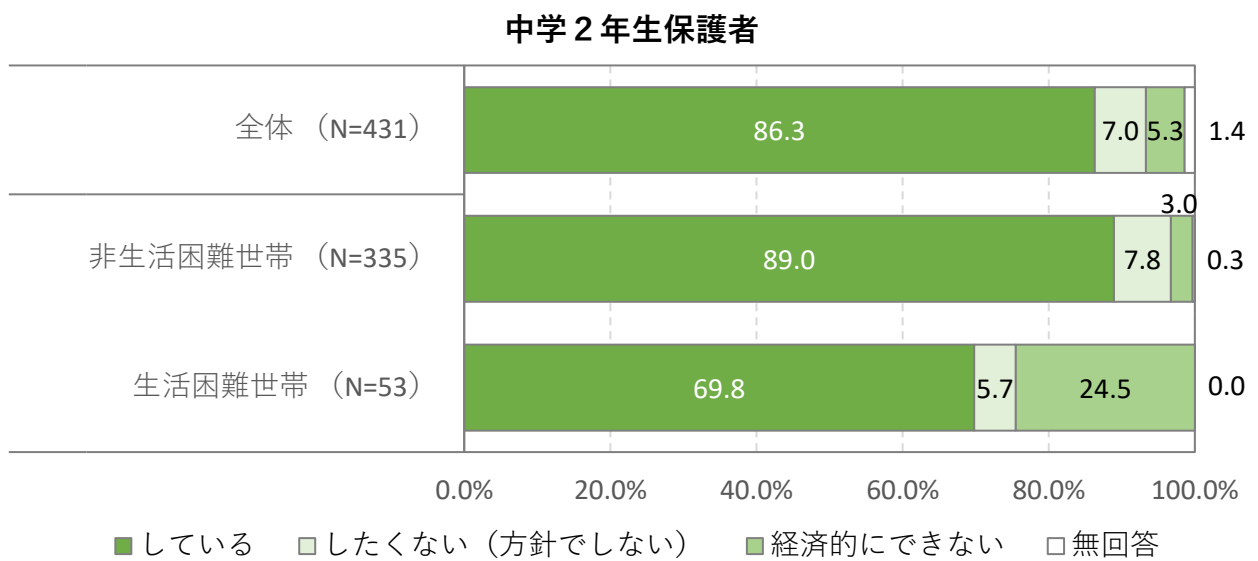
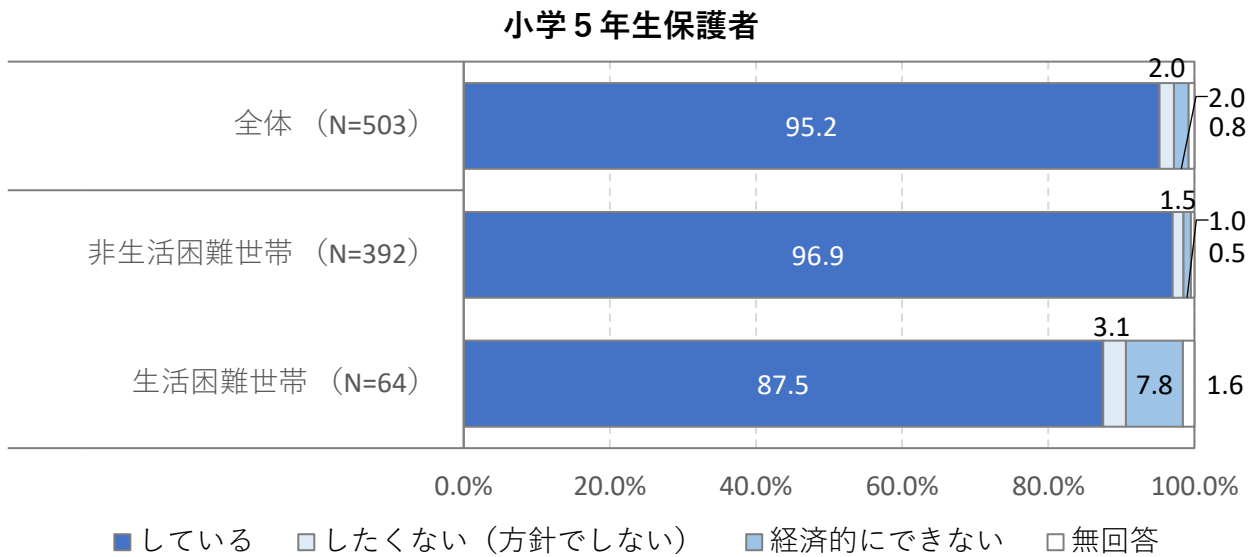


中学2年生保護者



【G クリスマスのプレゼントを渡す】

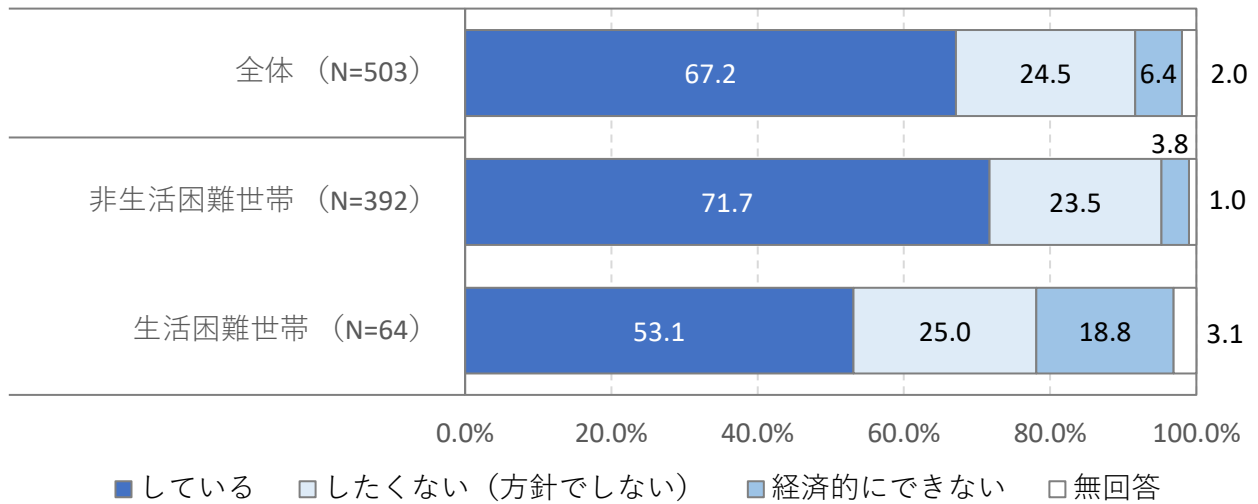
クリスマスプレゼントを渡すことが「経済的にできない」と答えた方は、小学5年生の保護者では6.8ポイント、中学2年生の保護者では21.5ポイント、非生活困難世帯より生活困難世帯の割合が高くなっています。



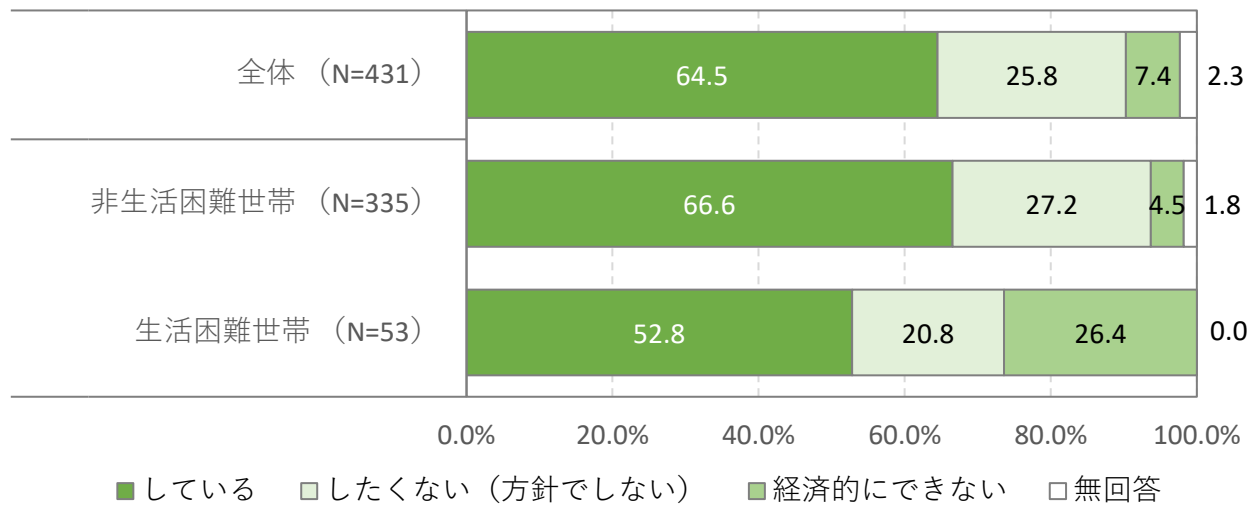
【H 正月のお年玉を渡す】

正月のお年玉を渡すことが「経済的にできない」と答えた方は、小学5年生の保護者では15ポイント、中学2年生の保護者では約20ポイント、非生活困難世帯より生活困難世帯の割合が高くなっています。

小学5年生保護者



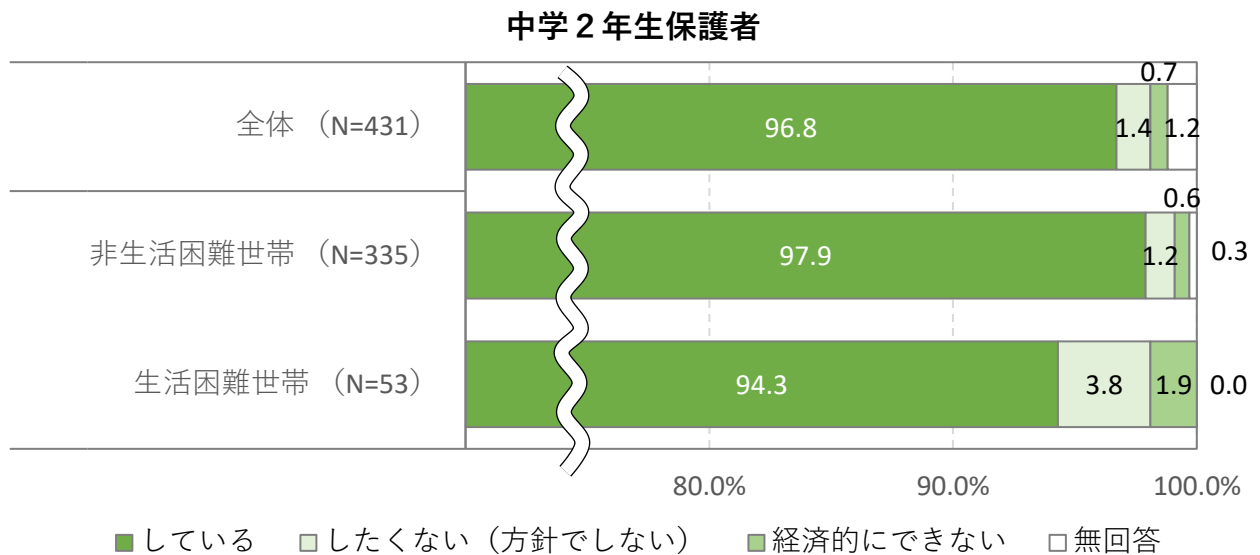
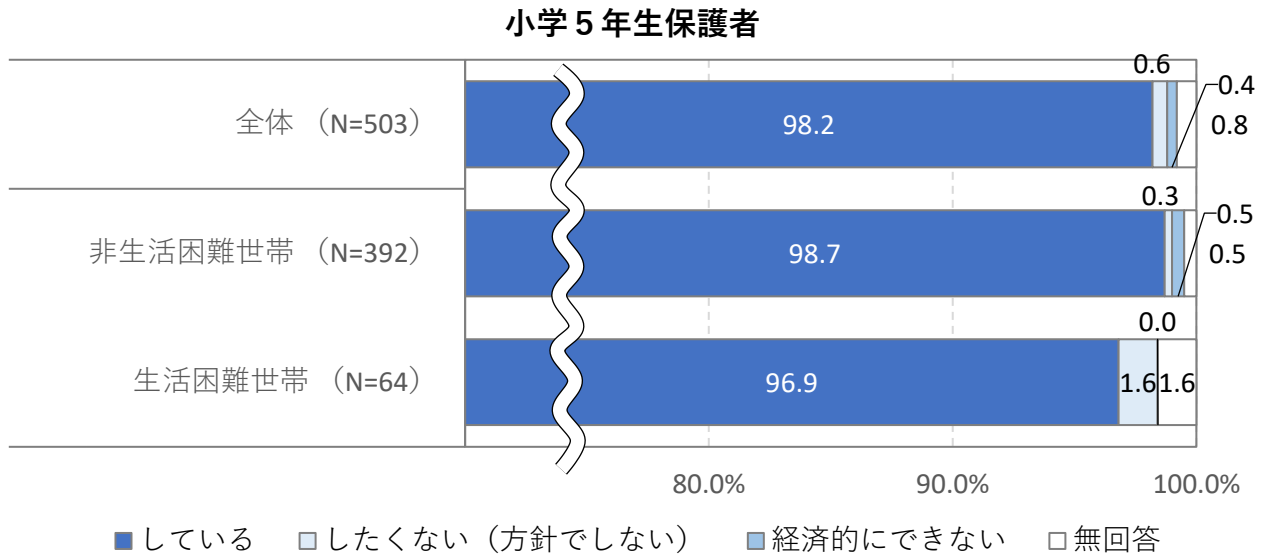
中学2年生保護者



【1 子どもの学校行事などに親が参加する】

子どもの学校行事などへの親の参加をみると、小学5年生の保護者・中学2年生の保護者ともに「している」が90%以上と最も多く、世帯別にも大きな差は見られませんでした。

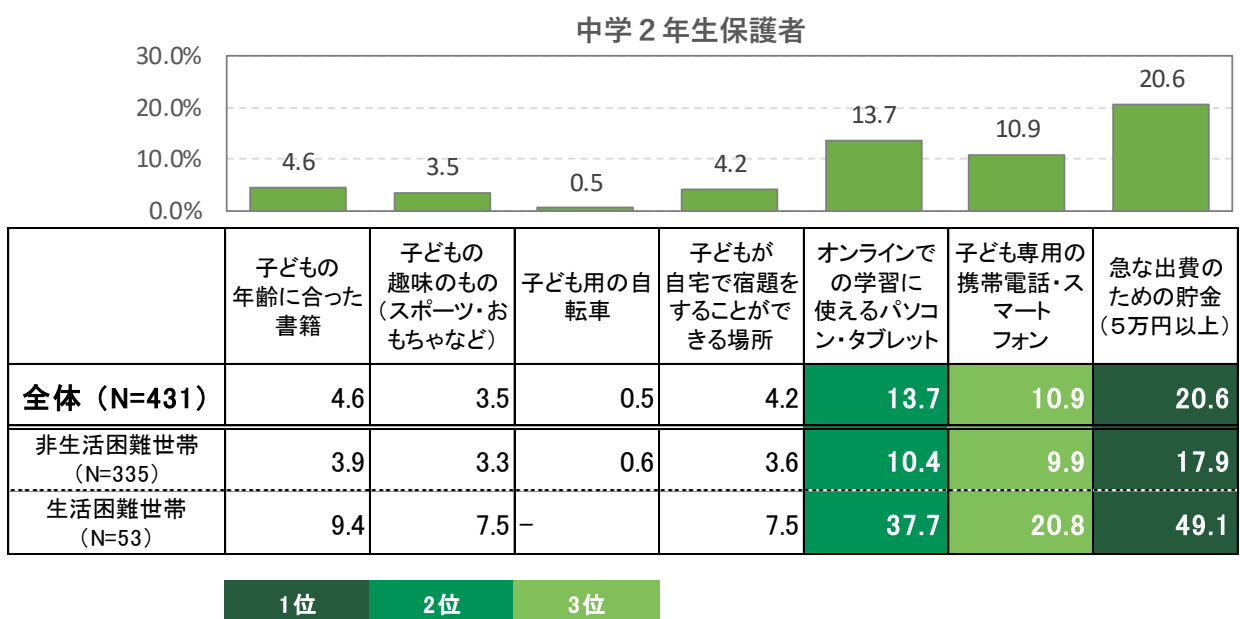
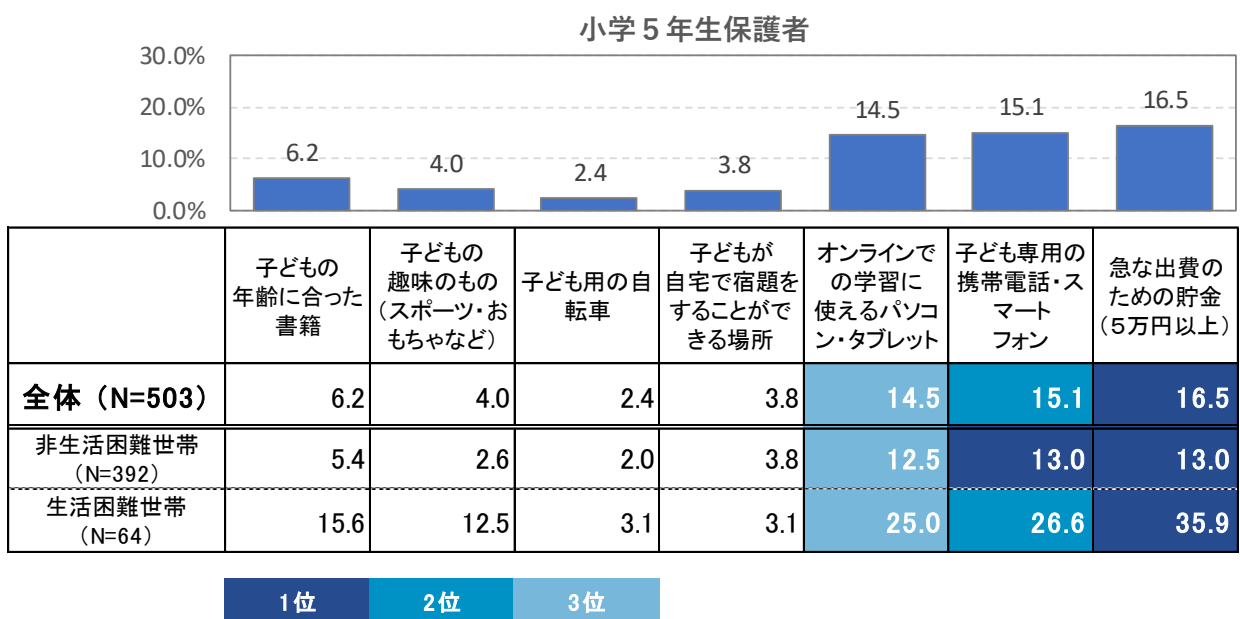
小学5年生の保護者・中学2年生の保護者ともに、生活困難世帯では「経済的にできない」に加え、「したくない（方針でしない）」も非生活困難世帯に比べて割合が高くなっています。



次のうち、経済的理由のためにあなたの世帯にないものに○をつけてください。(あてはまる番号すべてに○) ※教育等の理由により購入していないものについての○は不要です。【問19】

経済的理由のために世帯にないものを見ると、小学5年生の保護者・中学2年生の保護者ともに、「急な出費のための貯金（5万円以上）」が最も多く、特に生活困難世帯では小学5年生の保護者で35.9%、中学2年生の保護者で49.1%と多くなっています。

「急な出費のための貯金（5万円以上）」に次いで多いのは、小学5年生の保護者では「子ども専用の携帯電話・スマートフォン」、中学2年生の保護者では「オンラインでの学習に使えるパソコン・タブレット」となっています。



(6) ご家庭での生活について

あなたの家庭では、1週間にどのくらい、お子さんに朝ごはんを用意しますか。

(あてはまる番号1つに○) 【問20】

あなたの家庭では、1週間にどのくらい、お子さんに晩ごはんを用意しますか。

(あてはまる番号1つに○) 【問21】

1週間にどのくらいお子さんに朝ごはんを用意するかをみると、小学5年生の保護者では、生活困難世帯は非生活困難世帯に比べて「毎日」が10ポイント低く、「まったく用意しない」が7.8%と高くなっています。中学2年生の保護者では世帯別の大きな差はみられませんでした。

晩ごはんをみると、いずれの学年、世帯においても「毎日」が97%以上と多くなっています。

		毎日	週に6日	週に5日	週に4日	週に3日	週に2日	週に1日	まったく用意しない	無回答	
小学5年生保護者	朝ごはん	全体 (N=503)	90.5	3.2	2.6	0.6	1.4	0.2	0.2	1.4	-
		非生活困難世帯 (N=392)	91.3	3.6	2.6	-	1.5	0.3	0.3	0.5	-
		生活困難世帯 (N=64)	81.3	3.1	4.7	3.1	-	-	-	7.8	-
	晩ごはん	全体 (N=503)	97.4	0.2	0.6	0.4	0.2	0.6	-	0.4	0.2
		非生活困難世帯 (N=392)	97.4	0.3	0.8	0.3	-	0.5	-	0.5	0.3
		生活困難世帯 (N=64)	98.4	-	-	-	-	1.6	-	-	-

1位 2位 3位

		毎日	週に6日	週に5日	週に4日	週に3日	週に2日	週に1日	まったく用意しない	無回答	
中学2年生保護者	朝ごはん	全体 (N=431)	84.9	3.5	5.6	0.7	2.1	0.2	0.2	2.8	-
		非生活困難世帯 (N=335)	85.4	3.6	5.4	0.6	1.8	0.3	0.3	2.7	-
		生活困難世帯 (N=53)	84.9	3.8	3.8	1.9	3.8	-	-	1.9	-
	晩ごはん	全体 (N=431)	98.6	0.5	0.5	-	0.2	0.2	-	-	-
		非生活困難世帯 (N=335)	98.5	0.6	0.3	-	0.3	0.3	-	-	-
		生活困難世帯 (N=53)	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-

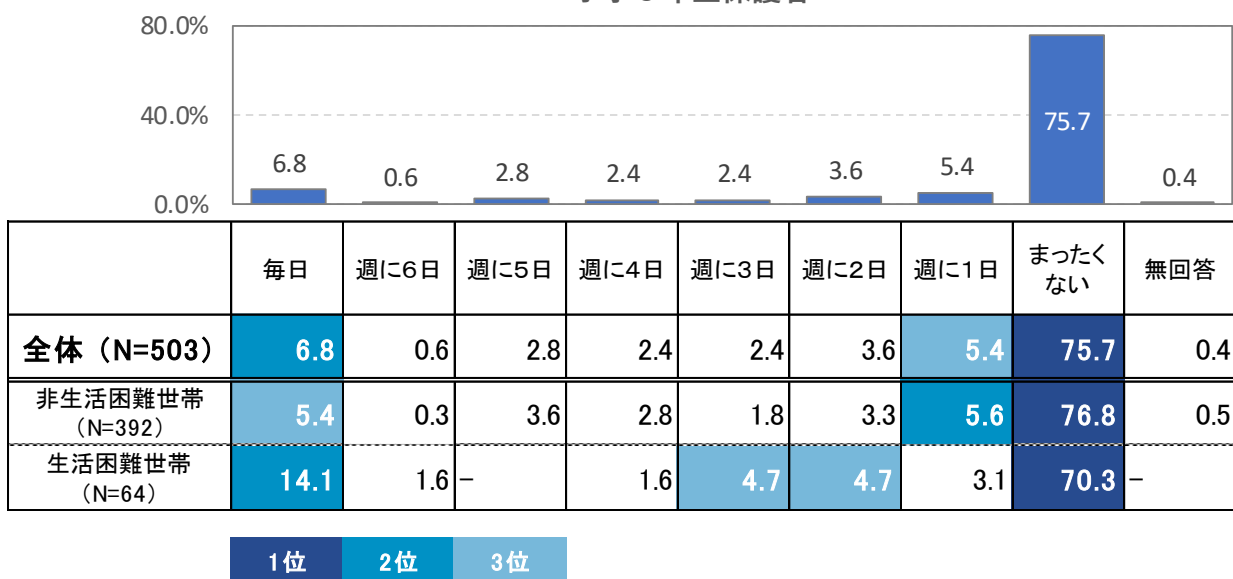
1位 2位 3位

あなたの家庭では、1週間にどのくらい、お子さんだけ（または、お子さんとお子さんの兄弟・姉妹だけ）で晩ごはんを食べますか。（あてはまる番号1つに○）【問 22】

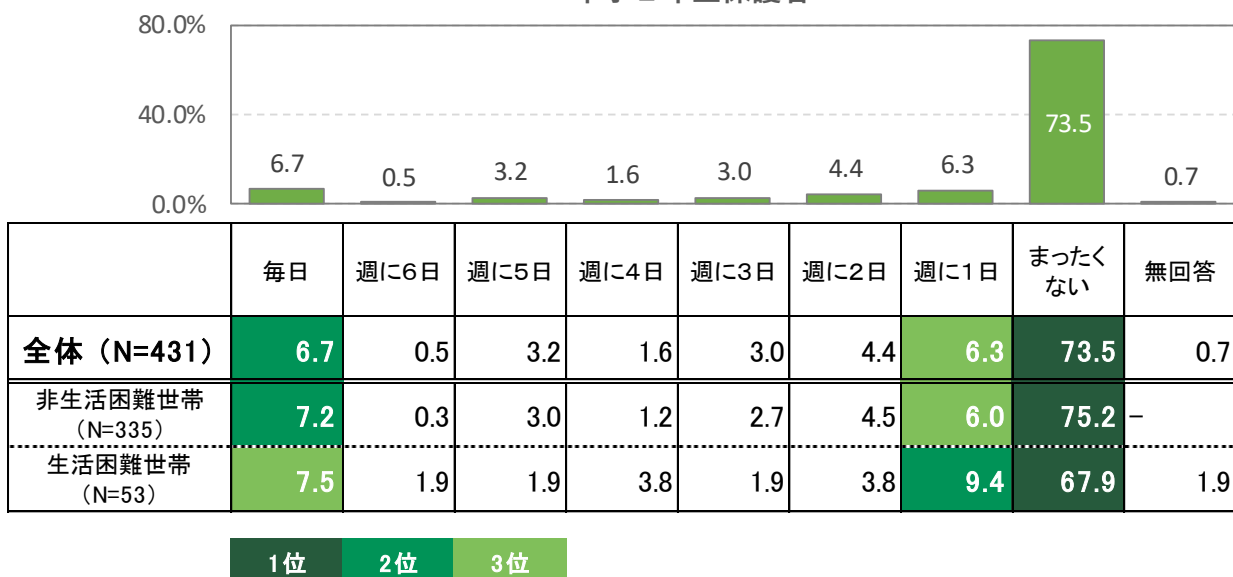
お子さんだけの晩ごはんについてみると、小学5年生の保護者・中学2年生の保護者ともに「まったくない」が最も多く、いずれも70%以上を占めています。

生活困難世帯では小学5年生の保護者・中学2年生の保護者ともに、「毎日」から「週に6日」“お子さんだけで晩ごはんを食べることがある”が非生活困難世帯に比べて多くなっています。

小学5年生保護者



中学2年生保護者



(7) お子さんとのかかわりについて

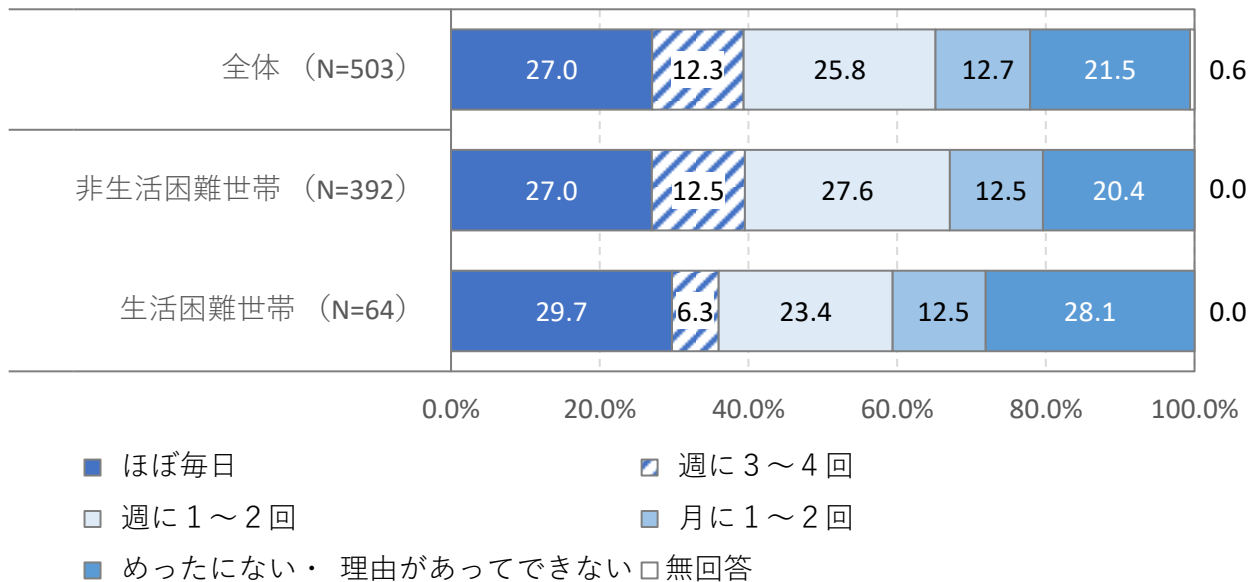
あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることがありますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)【問 23】

【A お子さんの勉強をみる】

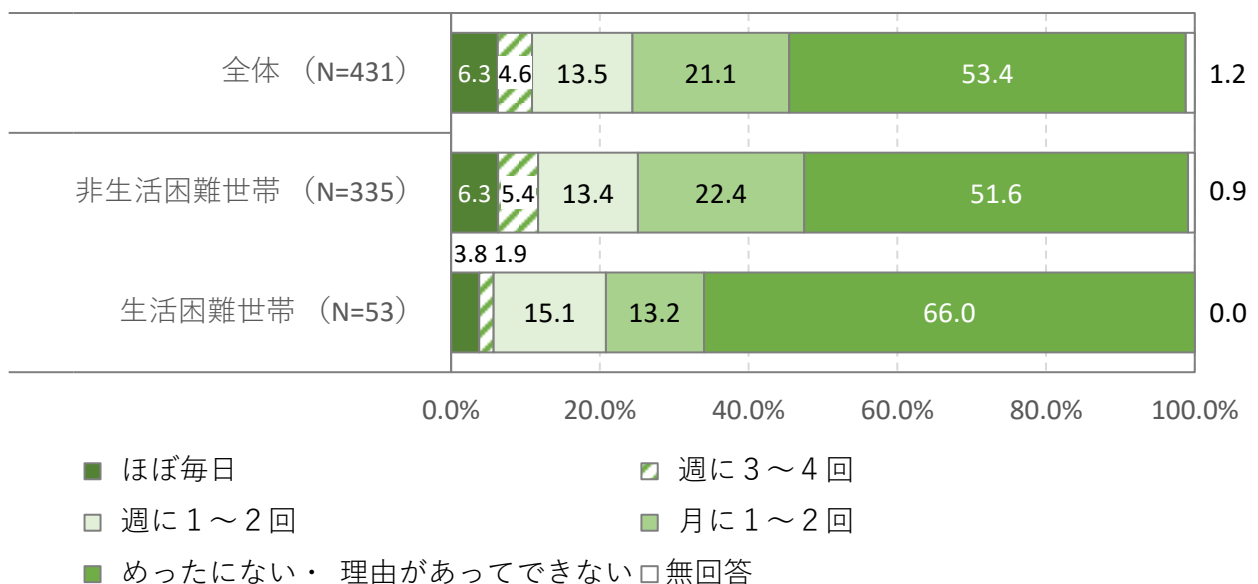
お子さんの勉強をみるかについてみると、小学5年生の保護者は非生活困難世帯・生活困難世帯ともに「ほぼ毎日」が約3割と多くなっています。また、“週に1回以上（「ほぼ毎日」「週に3～4回」「週に1～2回」）”と答えた生活困難世帯は、小学5年生では約6割を占めていますが、中学2年生では約2割と差が開いています。

また、生活困難世帯では小学5年生の保護者・中学2年生の保護者ともに、「めったにない・理由があってできない」が非生活困難世帯に比べて多くなっています。

小学5年生保護者

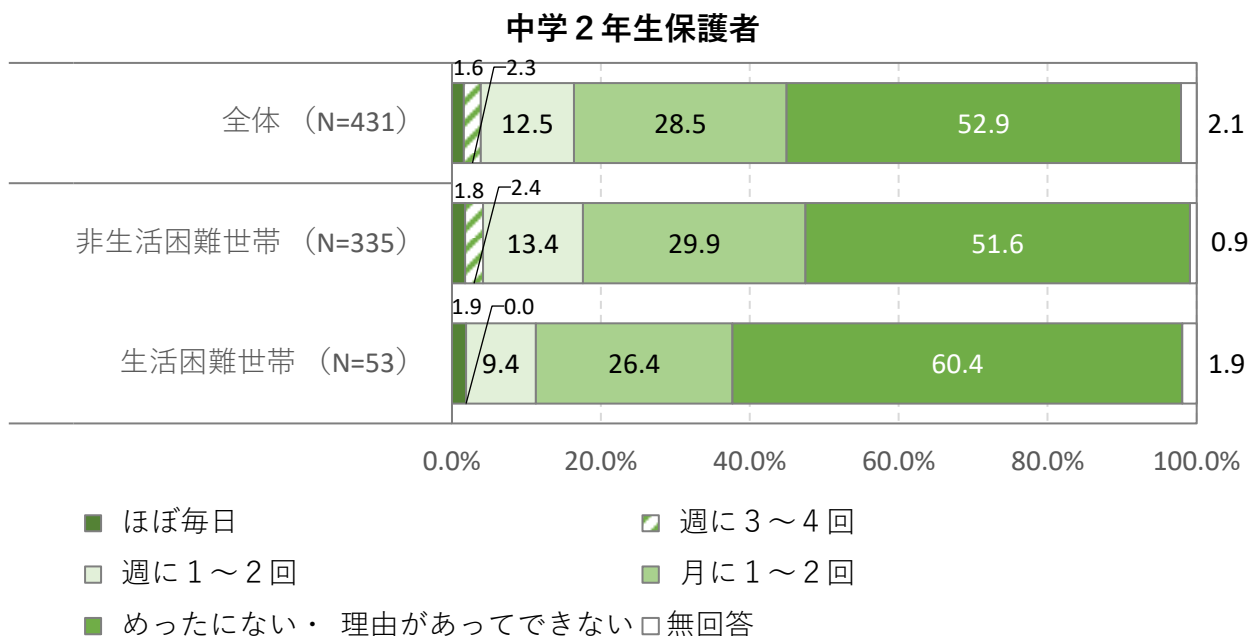
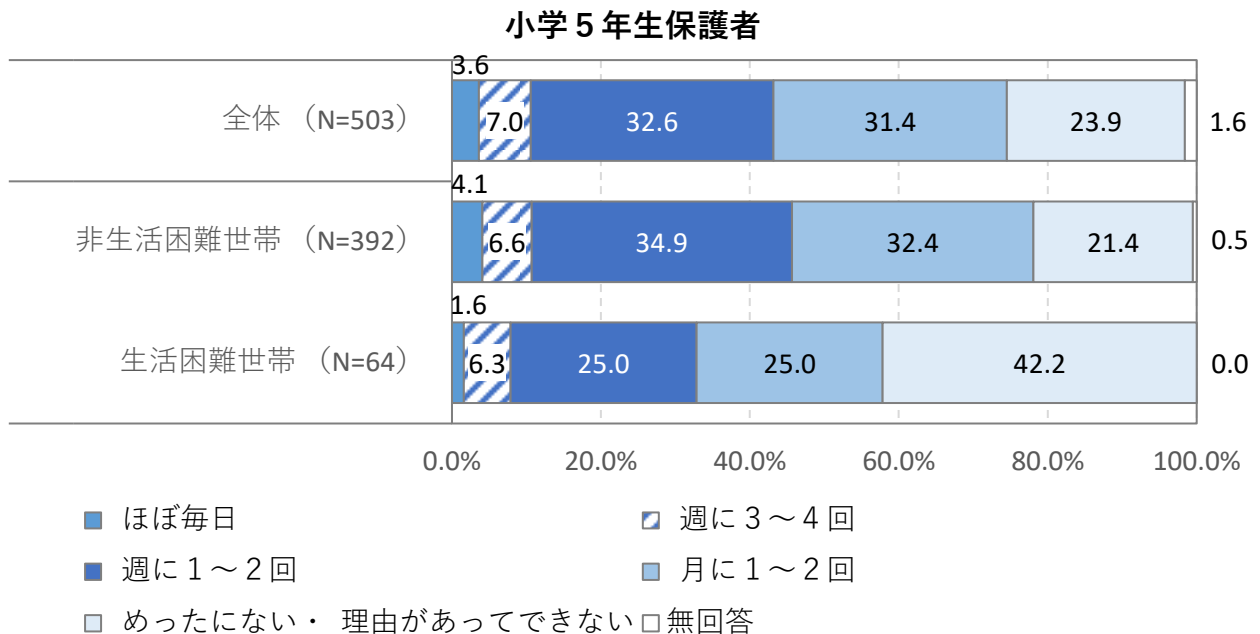


中学2年生保護者



【B お子さんとからだを動かして遊ぶ】

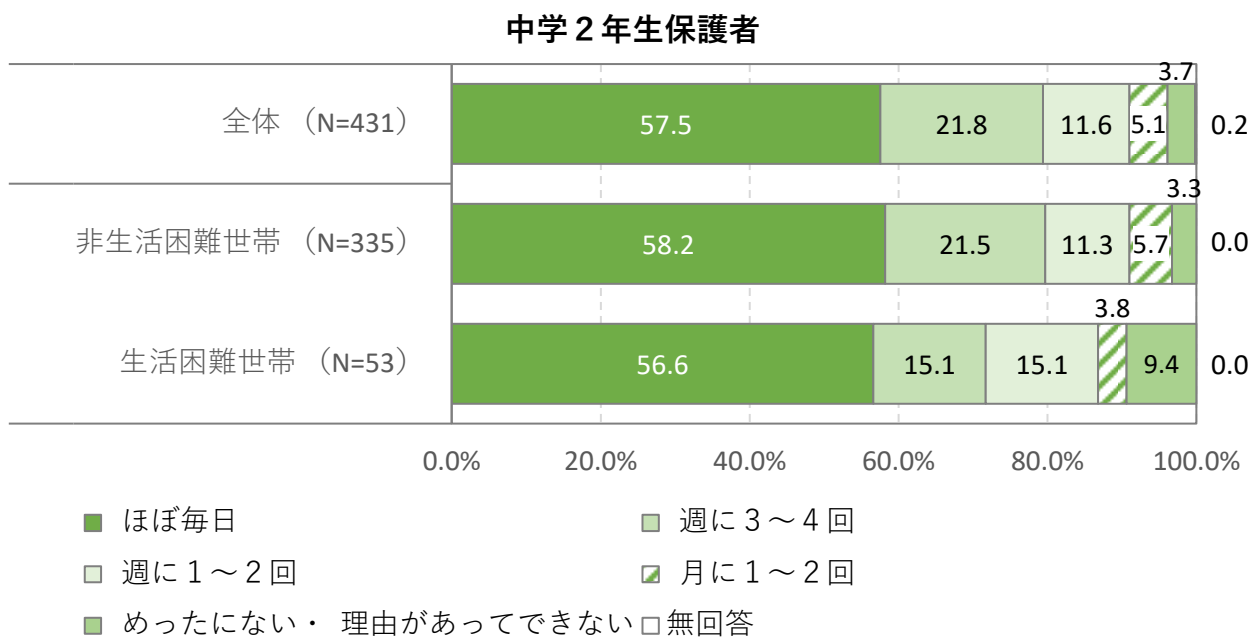
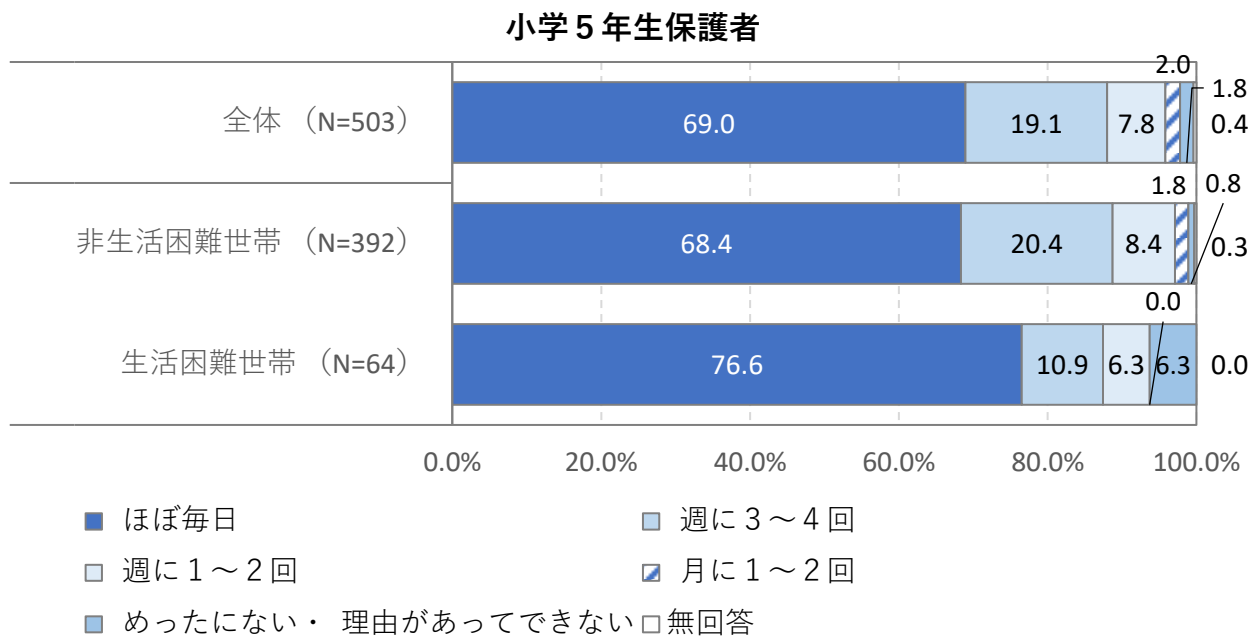
お子さんとからだを動かして遊ぶかをみると、非生活困難世帯・生活困難世帯ともに“週に1回以上”と答えた方が中学2年生の保護者より小学5年生の保護者に多くなっています。また、生活困難世帯では小学5年生の保護者・中学2年生の保護者ともに、「めったにない・理由があつてできない」が非生活困難世帯に比べて多くなっています。



【C お子さんと学校生活の話をする】

お子さんとの学校生活の話をするかをみると、非生活困難世帯・生活困難世帯ともに「ほぼ毎日」が中学2年生の保護者より小学5年生の保護者に多くなっています。

また、小学5年生の生活困難世帯では「ほぼ毎日」が76.6%と、非生活困難世帯に比べて8.2ポイント高くなっています。一方、「めったにない・理由があってできない」は6.3%となっています。中学2年生の生活困難世帯では「めったにない・理由があってできない」が9.4%と非生活困難世帯より6.1ポイント高くなっています。

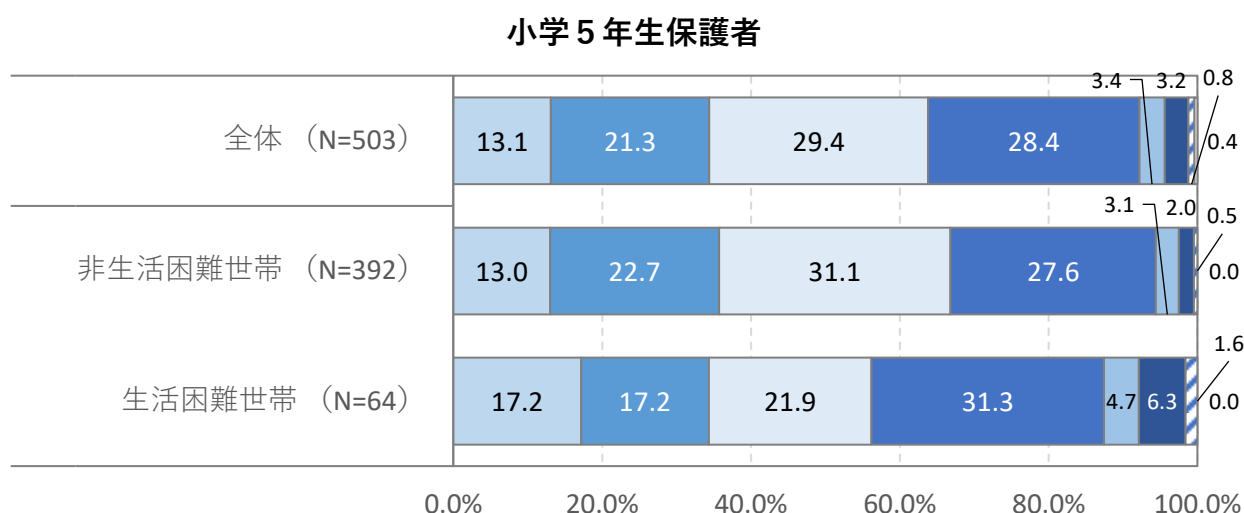


(8) 近所づきあいや子育てについて

あなたは、近所づきあいをどの程度していますか。(あてはまる番号1つに○) 【問 24】

近所づきあいについてみると、小学5年生の保護者・中学2年生の保護者ともに「顔をあわせれば雑談などをする人がいる」が最も多く、次いで、「挨拶する程度のつきあいの人がいる」「いざというときは頼んだり、相談できたりする人がいる」が多くなっています。

「ほとんど顔も知らない」を世帯別にみると、小学5年生の保護者・中学2年生の保護者ともに生活困難世帯に多くなっています。



- いつでも気軽に頼んだり、相談できたりする人がいる
- いざというときは頼んだり、相談できたりする人がいる
- 顔をあわせれば雑談などをする人がいる
- 挨拶する程度のつきあいの人がいる
- 顔は知っているが話したことがない
- ほとんど顔も知らない
- その他
- 無回答

中学2年生保護者



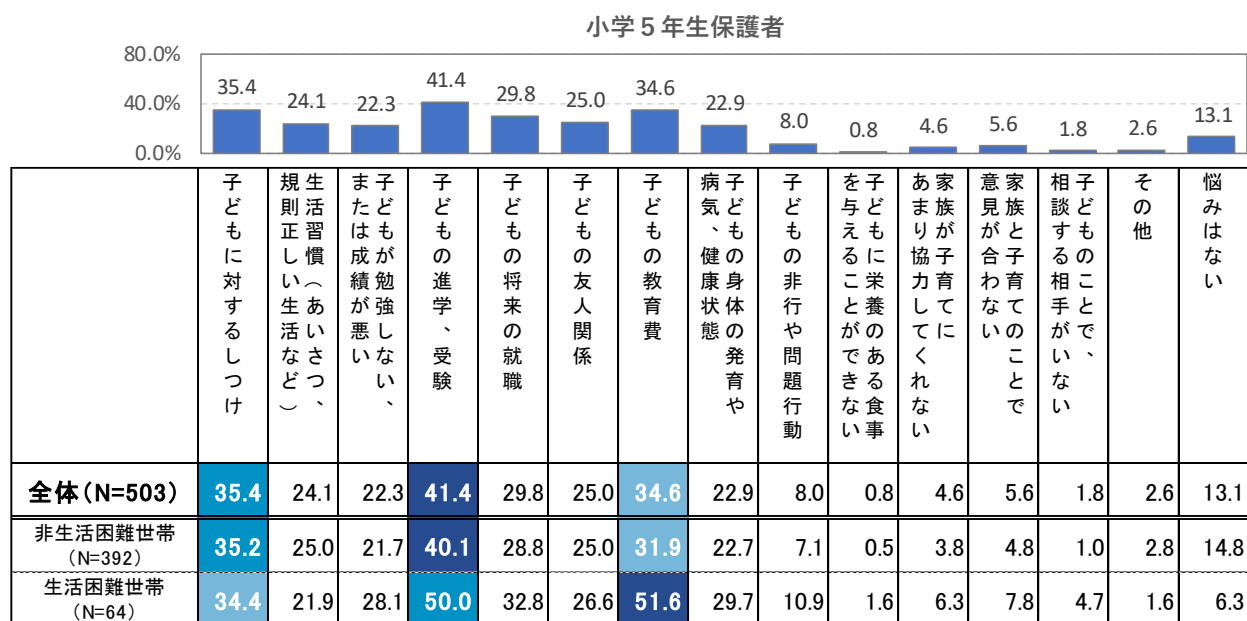
- いつでも気軽に頼んだり、相談できたりする人がいる
- いざというときは頼んだり、相談できたりする人がいる
- 顔をあわせれば雑談などをする人がいる
- 挨拶する程度のつきあいの人がいる
- 顔は知っているが話したことがない
- ほとんど顔も知らない
- その他
- 無回答

子育てをするうえで、今、不安に感じていることや悩んでいることはありますか。

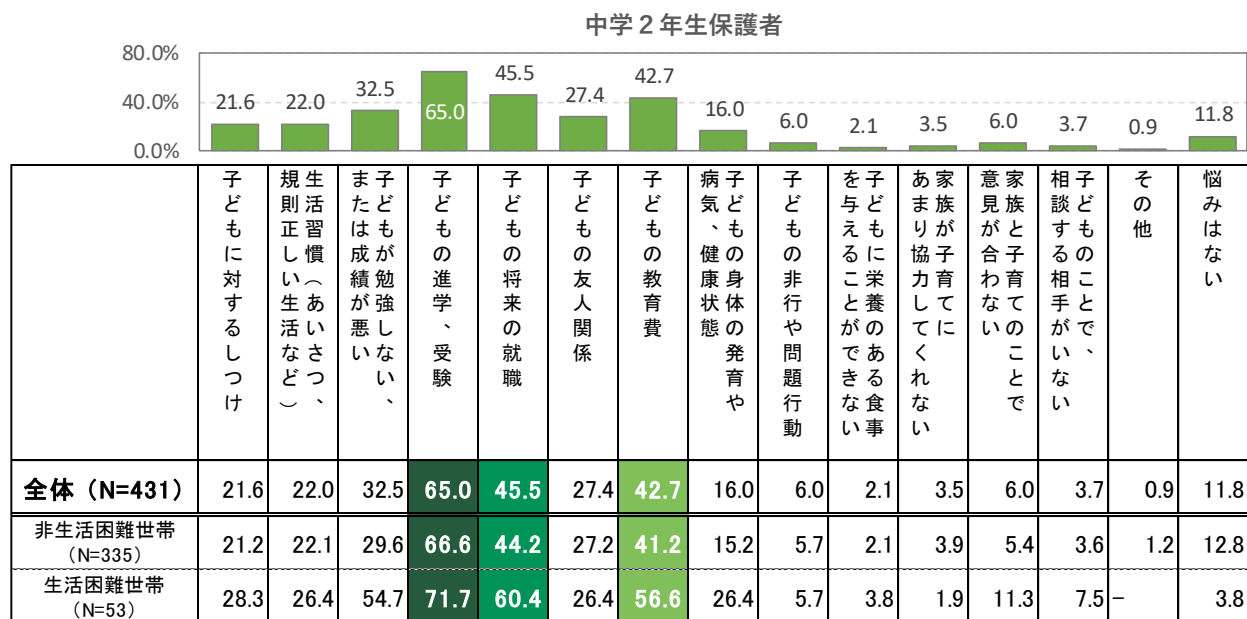
(あてはまる番号すべてに○) 【問 25】

子育てをする上での不安や悩みをみると、小学5年生の保護者、中学2年生の保護者ともに「子どもの進学、受験」が最も多く、特に中学2年生の保護者では65.0%と、小学5年生の保護者に比べ20ポイント以上高くなっています。次いで、小学5年生の保護者では「子どもに対するしつけ」「子どもの教育費」、中学2年生の保護者では「子どもの将来の就職」「子どもの教育費」が多くなっています。

世帯別にみると、生活困難世帯は非生活困難世帯に比べ、小学5年生の保護者では「子どもの教育費」「子どもの進学、受験」の差が大きく、中学2年生の保護者では「子どもが勉強しない、または成績が悪い」「子どもの将来の就職」で差が大きくなっています。



1位 2位 3位

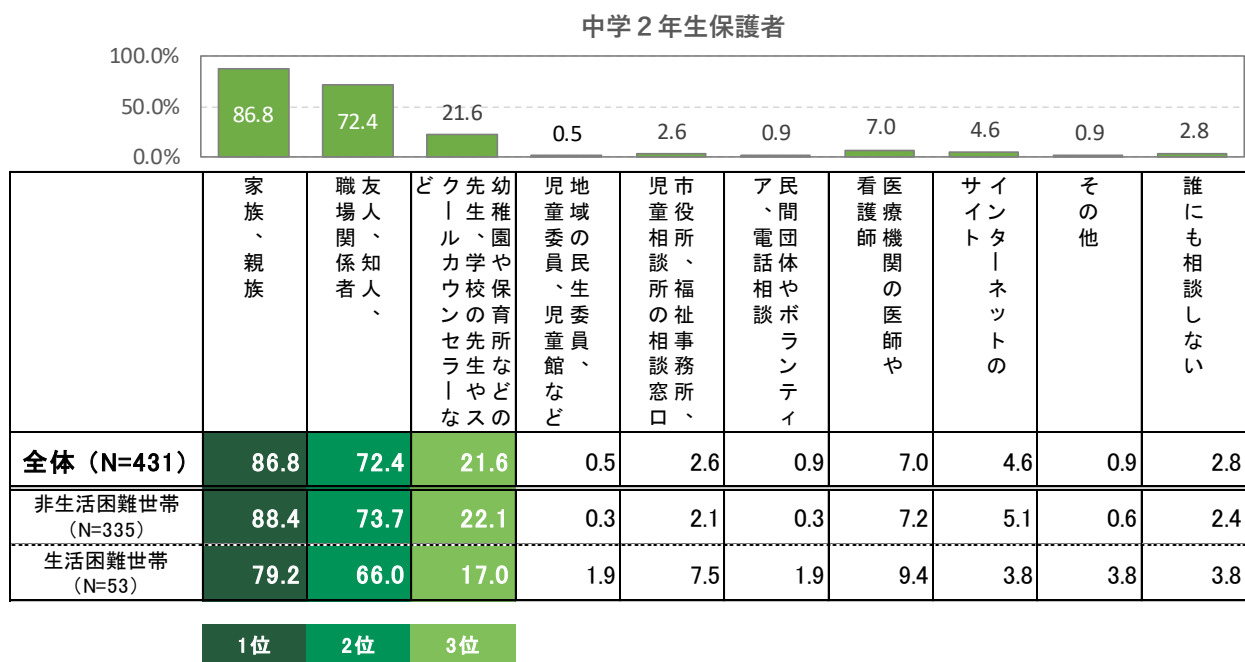
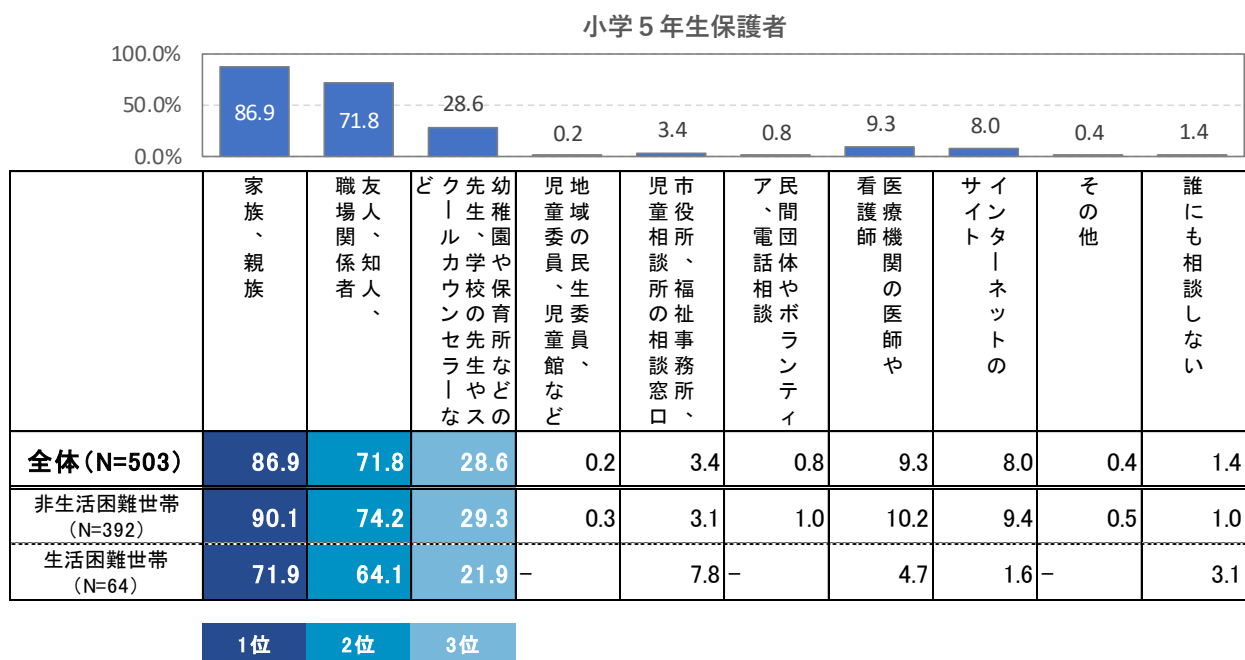


1位 2位 3位

子育てをするうえで困ったり、悩んだりしたとき、だれ（どこ）に相談しようと思いますか。
（あてはまる番号すべてに○）【問 26】

子育てに関する相談先をみると、小学5年生の保護者・中学2年生の保護者ともに「家族、親族」が約9割と最も多く、次いで、「友人、知人、職場関係者」「幼稚園や保育所などの先生、学校の先生やスクールカウンセラーなど」「医療機関の医師や看護師」となっています。

また、「市役所、福祉事務所、児童相談所の相談窓口」は非生活困難世帯より生活困難世帯に多くなっています。

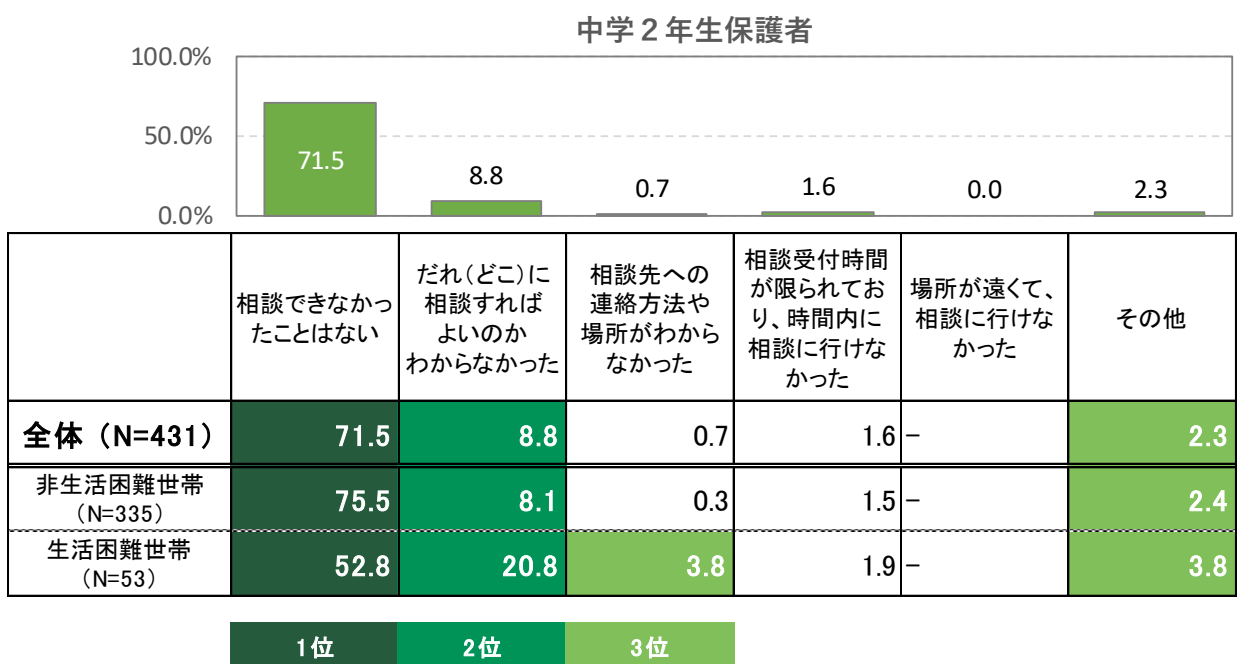
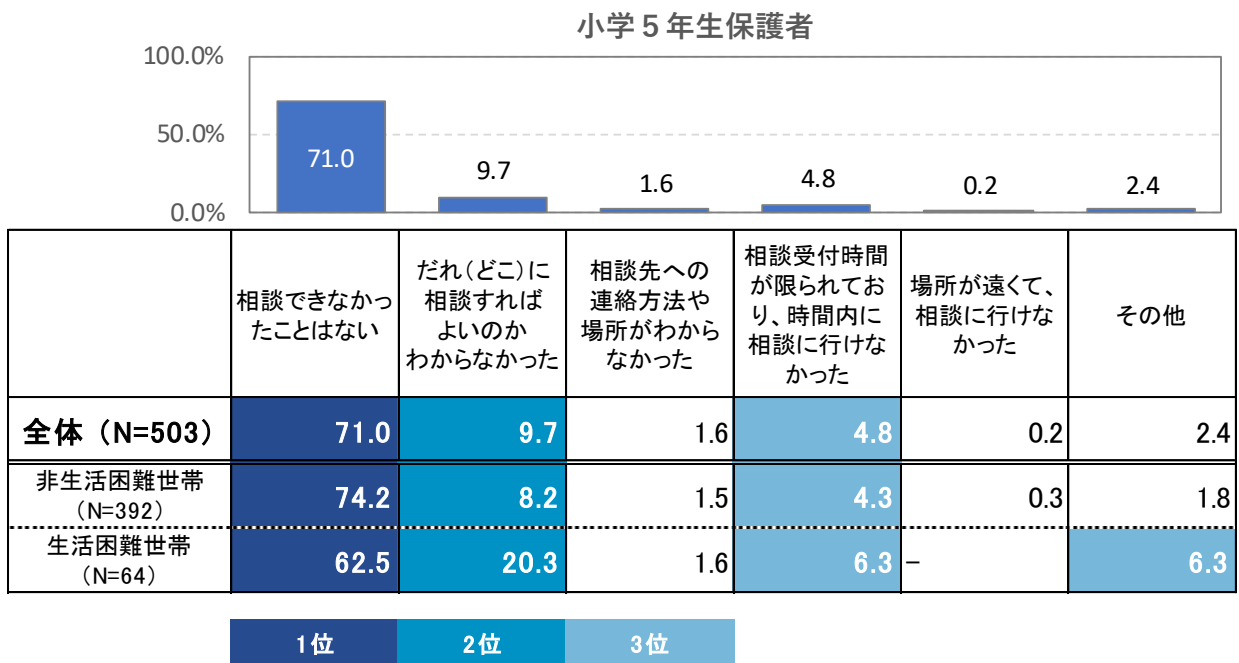


子育てのことで相談したいと思ったが、相談できなかったことはありますか。ある場合、相談できなかった理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）【問 27】

子育てのことで相談したいと思ったことの有無をみると、小学5年生の保護者・中学2年生の保護者ともに「相談できなかったことはない」が約7割で最も多く、ある場合の理由では、「だれ（どこ）に相談すればよいのかわからなかった」が約1割で最も多くなっています。

また、小学5年生の保護者では中学2年生の保護者に比べ、「相談受付時間が限られており、時間内に相談に行けなかった」がやや多くなっています。

世帯別にみると、生活困難世帯では非生活困難世帯に比べて、「相談できなかったことはない」が10ポイント以上低く、「だれ（どこ）に相談すればよいのかわからなかった」は10ポイント以上高くなっています。

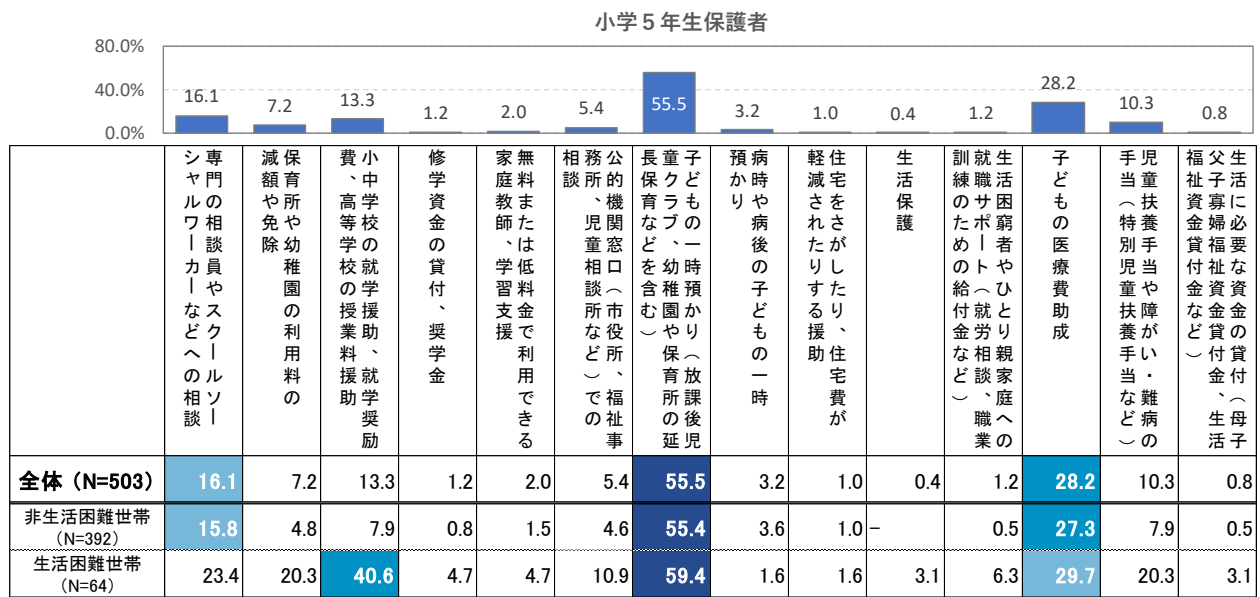


あなたは、次のものについて、これまでに実際に利用したことがありますか。

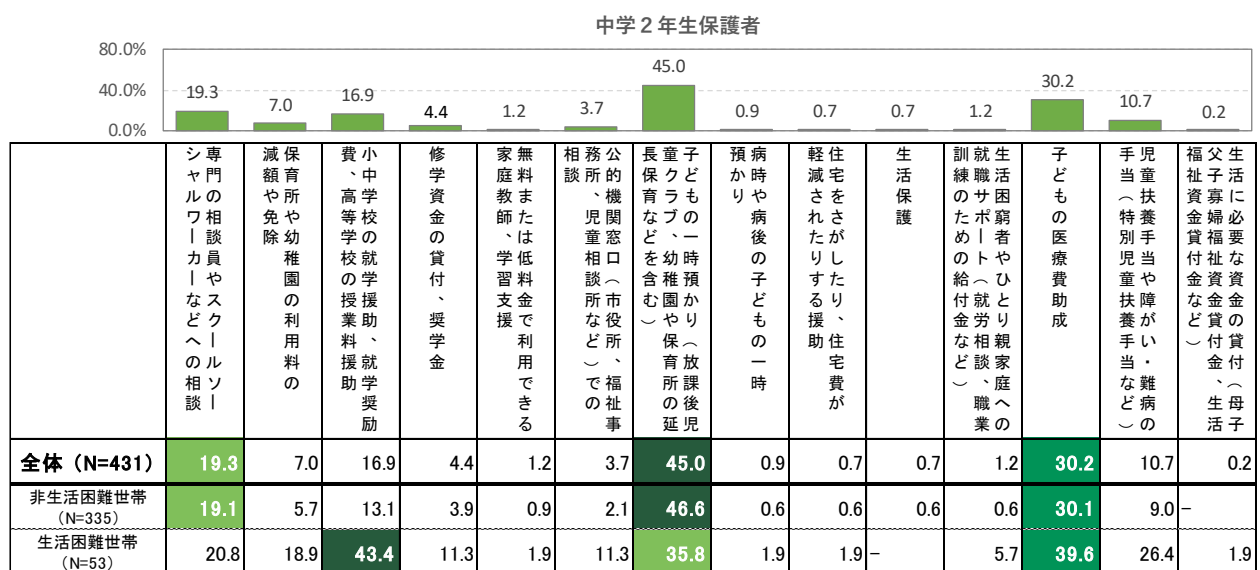
(あてはまる番号すべてに○) 【問 28】

これまでに実際に利用したことがあるものをみると、小学5年生の保護者・中学2年生の保護者ともに「子どもの一時預かり（放課後児童クラブ、幼稚園や保育所の延長保育などを含む）」が最も多く、次いで、「子どもの医療費助成」「専門の相談員やスクールソーシャルワーカーなどへの相談」となっています。

世帯別にみると、生活困難世帯では小学5年生の保護者・中学2年生の保護者ともに「小中学校の就学援助、就学奨励費、高等学校の授業料援助」が非生活困難世帯に比べて多くなっています。



1位 2位 3位

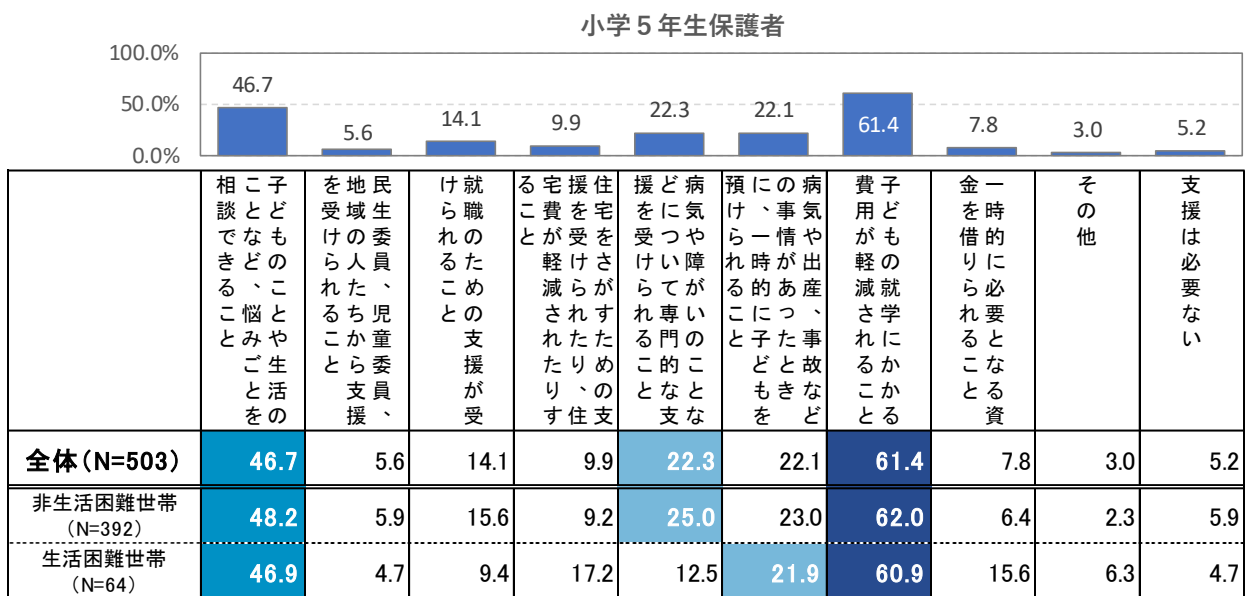


1位 2位 3位

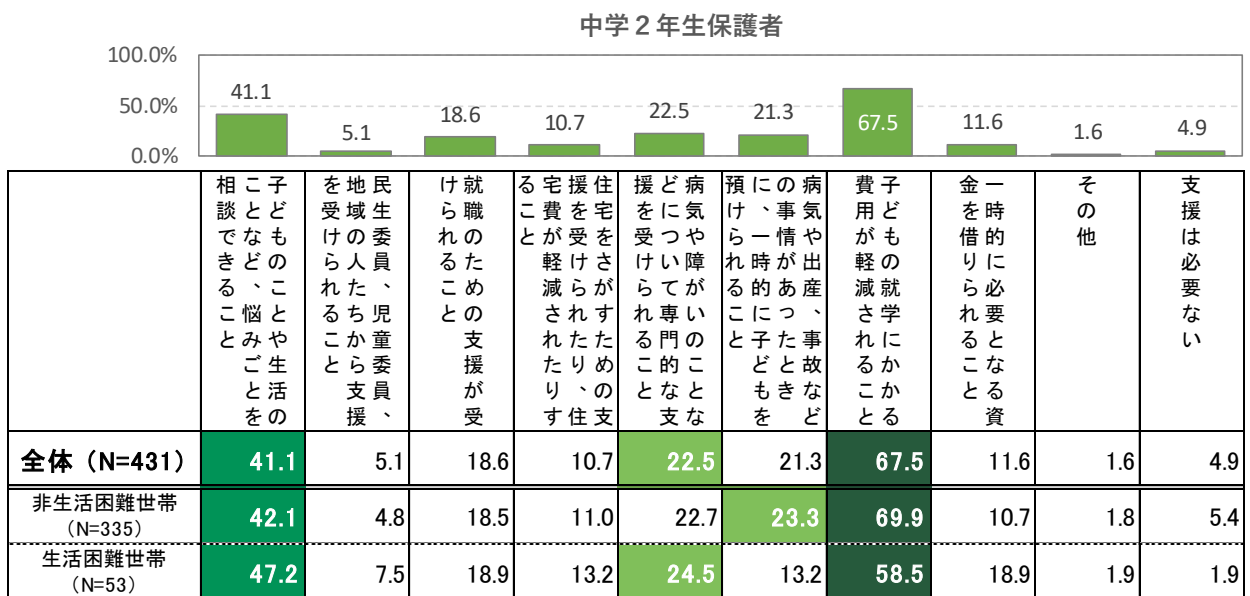
あなたが子育てをするうえで必要としていること、重要だと思う支援はどのようなものですか。
 (あてはまる番号すべてに○) 【問 29】

子育てをするうえで必要としていること、重要だと思う支援をみると、小学5年生の保護者・
 中学2年生の保護者ともに「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」が最も多く、6割を
 超えています。次いで、「子どものことや生活のことなど、悩みごとを相談できること」が多くな
 っています。

世帯別にみると、小学5年生の保護者・中学2年生の保護者ともに「住宅をさがすための支援
 を受けられたり、住宅費が軽減されたりすること」「一時的に必要な資金を借りられること」
 は非生活困難世帯より生活困難世帯に多くなっています。



1位 2位 3位



1位 2位 3位

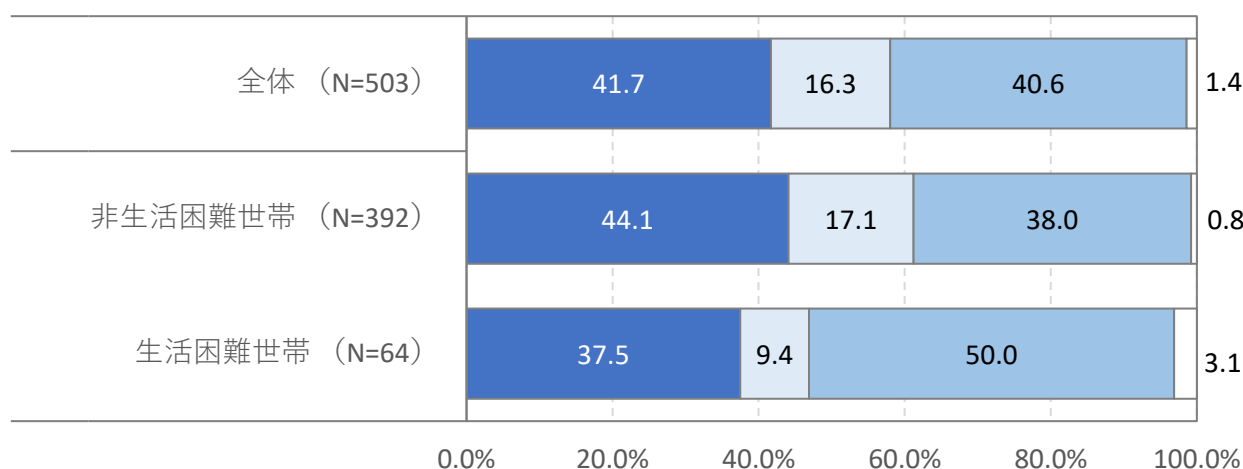
(9) ヤングケアラーについて

ヤングケアラーという言葉を知っていますか。(あてはまる番号1つに○)【問30(1)】

ヤングケアラーという言葉の認知度をみると、小学5年生の保護者は「聞いたことがあり、内容も知っている」、中学2年生の保護者は「聞いたことはない」が最も多くなっていますが、いずれも知っている方と知らない方が4割程度となっています。

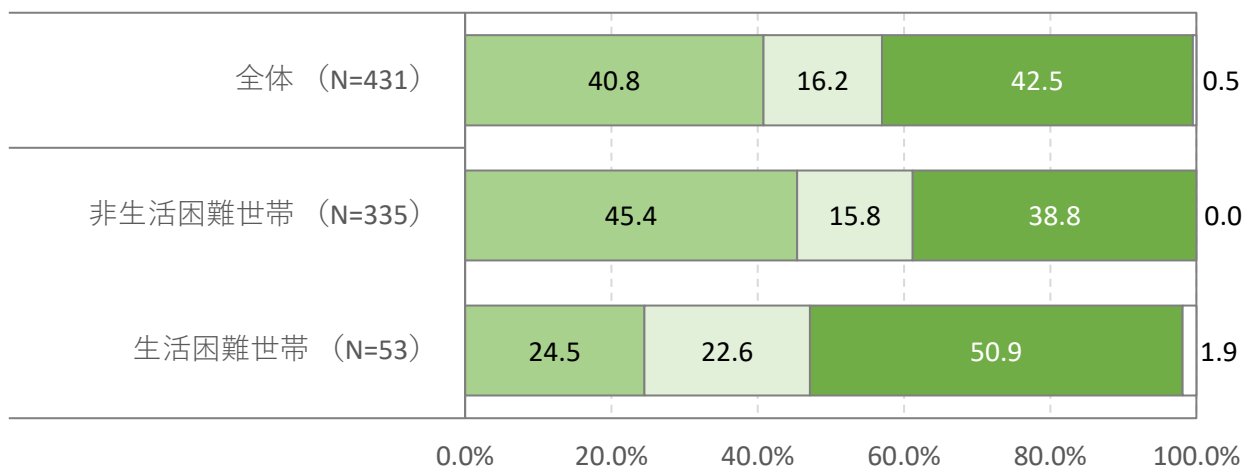
世帯別では、小学5年生の保護者・中学2年生の保護者ともに生活困難世帯より非生活困難世帯の認知度が高くなっており、生活困難世帯の過半数が「聞いたことはない」と答えています。

小学5年生保護者



■ 聞いたことがあり、内容も知っている □ 聞いたことはあるが、よく知らない
 ■ 聞いたことはない □ 無回答

中学2年生保護者



■ 聞いたことがあり、内容も知っている □ 聞いたことはあるが、よく知らない
 ■ 聞いたことはない □ 無回答

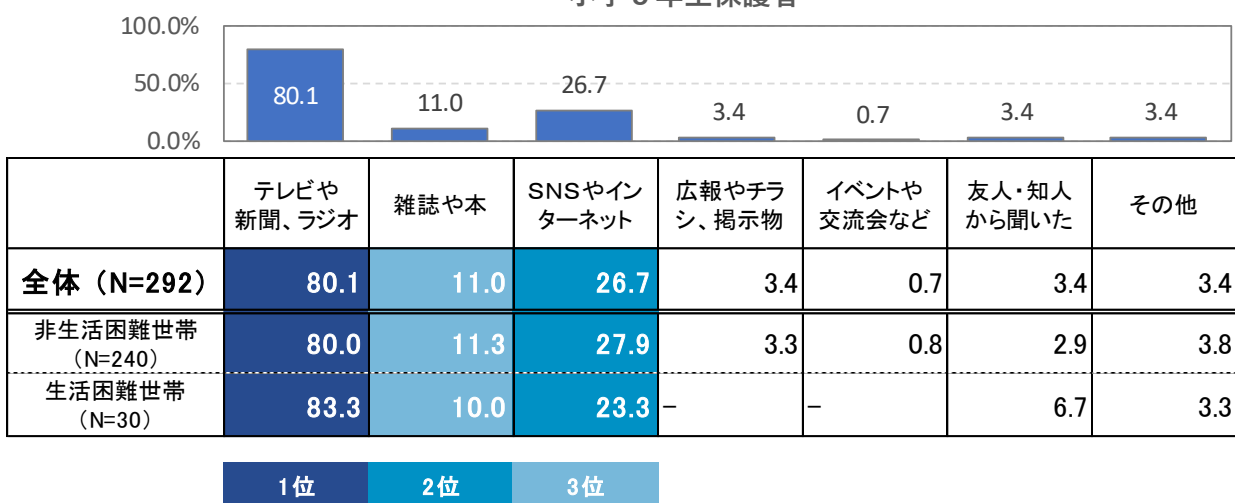
問 30 (1) で「1. 聞いたことがあり、内容も知っている」・「2. 聞いたことはあるが、よく知らない」を選んだ方にうかがいます。

ヤングケアラーという言葉を知ったきっかけは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

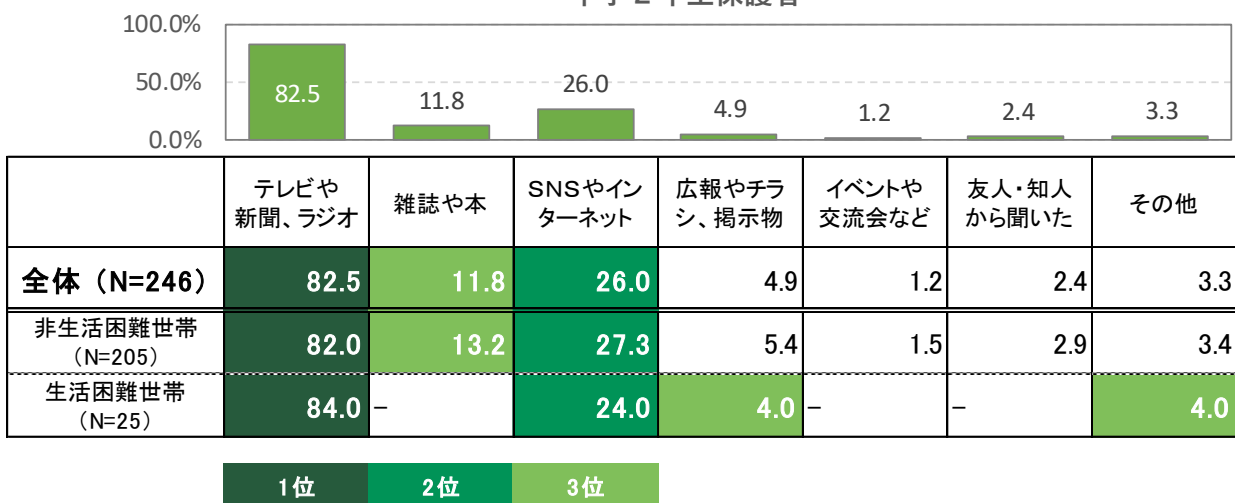
【問 30 (2)】

ヤングケアラーという言葉「聞いたことがあり、内容も知っている」または「聞いたことはあるが、よく知らない」と答えた方に、ヤングケアラーという言葉を知ったきっかけをたずねると、小学5年生の保護者・中学2年生の保護者ともに「テレビや新聞、ラジオ」が最も多くなっています。

小学5年生保護者



中学2年生保護者



(10) その他

市の子育て支援に希望することや、子育てで困っていることなどがありましたら、ご自由にご記入ください。【問 31】

① 小学5年生の保護者

カテゴリー	件数
市に対する意見等 ・三豊市は子育てや福祉が充実しているので助かっている ・平日の日中以外も子育ての困りごとを相談できるようにしてほしい ・ひとり親以外の多子世帯や普通世帯に対する支援も検討してほしい ・市の子育て支援について周知を充実してほしい など	22
奨学金や補助金、手当について ・無償で借りられる奨学金があればいいと思う ・大学でのお金の負担が大きいので、大学生対象の支援金があるとよい ・幼稚園の給食費無料化等はとてもありがたい など	18
子育てサービスの充実について ・共働き家庭のため、ファミリーサポートセンターの利用対象を中3まで延長してほしい ・小学生や中学生でも病後児の預かりをしてほしい ・放課後デイサービスの充実度が地域によって差がある など	11
制服・スクール用品に対する助成について ・学校の制服などをリサイクルしてくれる場があると助かる ・帽子やヘルメット等の一部をクーポンなどで市から援助してほしい ・学期途中の転校では就学援助費が使えないが、補助が少しでもあると助かる など	9
子どもの遊び場・集いの場について ・公園が少なく混雑するため、低年齢の子どもを遊ばせるときに危ないと感じる ・親に頼れないような子どもの居場所となる場所があるとよい など	8
保育所・幼稚園・学校・教員等への意見 ・PTA活動がなくても運営可能な規模の学校行事にしてほしい ・学校の先生の、発達障害に対する理解が少ない など	8
子育てに関する不安や心配事について ・通学が心配なのでキッズケータイ等を持たせたい ・子どものゲームの時間のコントロールが難しい など	8
道路（歩道・街灯）の整備や公共交通機関への意見等 ・歩道のある道が少なく、登下校時に危険な場所が多い ・土日勤務のある家庭では週末の部活動の送迎が困難なのでコミュニティバスを増便してほしい など	7
学力や学習環境について ・放課後に空き教室を自習室として利用できるとよい ・無料で勉強を教えてもらえる場所があるといいなと思う など	7

カテゴリー	件数
不登校・引きこもり・いじめ・フリースクール等について ・子どもが学校に行きたがらず困っている ・子どもが自由に安心して過ごせるフリースクールがあるとよいと思う ・いじめについて、いじめた側が反省できるようなケアを検討してほしい など	7
生活や金銭面についての苦悩 ・塾や習い事の費用が高く、行かせることができない など	5
医療費の無料化について ・子ども医療費助成事業を15歳から18歳までのばしてほしい など	4

② 中学2年生の保護者

カテゴリー	件数
市に対する意見等 ・三豊市でヤングケアラーの子どもがいたらぜひ支援を行ってほしい ・親や教育に関わる人々が子ども達の目線で活動できる場を積極的に作ってほしい ・市の職員による訪問相談が嬉しかった ・三豊市は子育て支援が充実していてありがたい など	14
奨学金や補助金、手当について ・オンライン教育用のタブレットやPCを買うための補助金があればありがたい ・子どもが小さい時は補助金額が大きい、子どもが大きくなってからの方がお金がかかる など	13
保育所・幼稚園・学校・教員等への意見 ・PTAを廃止してほしい ・部活動の顧問は先生に限らず、経験者を置いてほしい ・子どもの自主性を発揮できるような学校にしてほしい など	9
医療費の無料化について ・高校生の間も子どもの医療費の助成をしてほしい ・学校でマスクを配布してほしい など	9
子どもの遊び場・集いの場について ・学童や児童館の先生に専門的な資格を持った人が少ないのではないかと ・休日の小学校の運動場や体育館を自由に使えるようにしてほしい など	6
学力や学習環境について ・病気などの理由で長期間学校に行けなくなった生徒に寄り添って関わる環境やシステムを整えてほしい ・中学校周辺に学習スペースがあるとよいと思う など	5
相談先について ・就活などの専門的な相談がしづらい ・土日祝日も、午前中だけでよいので相談できるとありがたい など	5
生活や金銭面についての苦悩 ・学習塾に通わせたいが家計が苦しく通わせられない ・義務教育後の教育費が高い など	5

カテゴリー	件数
子育てに関する不安や心配事について ・中学生になって反抗的な態度をとることが多くどのような対応をすればよいか悩む ・勉強に興味がなく将来や進学のこと考えられないと言っており、困っている など	5
子育てサービスの充実について ・支援学級のように、発達がゆっくりな児童の居場所が幼稚園にもあるとよい ・緊急時など、ファミサポはまだ利用しづらく利用できていない など	4
その他 ・小・中・高の入学式が同じ日だとひとり親家庭では参加できないので日をずらしてほしい ・家の近くに高校がなくて悲しい など	4

第2期みとよ子ども未来応援計画 アンケート調査結果報告書

発行年月 令和4年3月

発行 三豊市 健康福祉部 福祉事務所 子育て支援課

〒767-8585 香川県三豊市高瀬町下勝間 2373 番地 1

TEL 0875-73-3016 FAX 0875-73-3023

URL <https://www.city.mitoyo.lg.jp/>